

AQUOS *K*

SHF34

User Guide 取扱説明書 詳細版

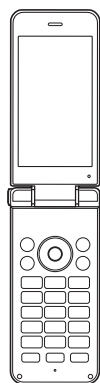


ごあいさつ

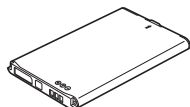
このたびは、「AQUOS K SHF34」(以下、「SHF34」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本体付属の「取扱説明書」「設定ガイド」または本書をお読みいただき、正しくお使いください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体



電池パック
(SHF34UAA)

- 取扱説明書
- 設定ガイド

以下のものは同梱されていません。

- 卓上ホルダ
- microSDメモ리카ード
- ACアダプタ
- イヤホン
- microUSB-3.5φ変換ケーブル
- microUSBケーブル

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。

◎本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

■「取扱説明書」「設定ガイド」

主な機能の主な操作のみ説明しています。

■「取扱説明書 詳細版」(本書)

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した「取扱説明書 詳細版」は、auホームページでご確認できます。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>



■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の取扱説明書が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual and Setting Guide from the au website (available from approximately one month after the product is released).

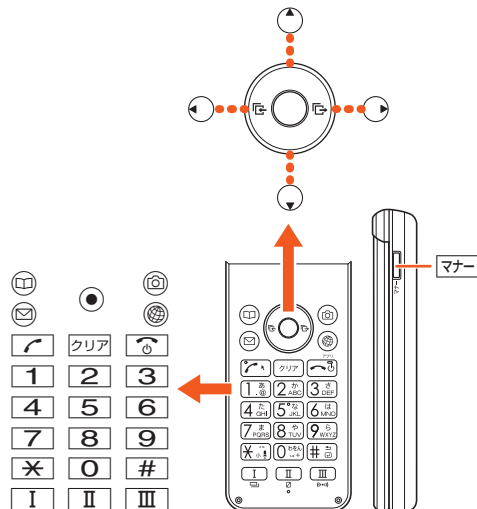
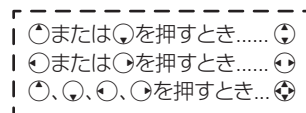
『取扱説明書(英語版)』『設定ガイド(英語版)』をauホームページに掲載していません(発売約1ヶ月後から)。

Download URL:<https://www.au.com/english/support/manual/>

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



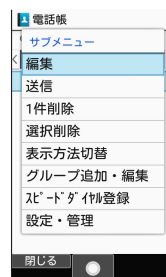
■項目/アイコン/ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書で[]囲みしている箇所は、やでメニューの項目/アイコン/画面上のボタンなどを選択して (OK/選択/設定/決定/確定)を押すまでの操作を省略して表記しています。

例:電話帳の連絡先を編集する場合

1 待受画面で[編集]→[サブメニュー]→[編集]

「編集」をで選択して、で決定する操作を表しています。



◎ キー操作について詳しくは、「基本的なキー操作を覚えよう」(▶P.30)をご参照ください。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書はau Nano IC Card O4 LEを取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。
記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。
また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



- ◎ 本書では本体カラー「ロイヤルグリーン」の表示を例に説明しています。
- ◎ 画面最下行に表示された内容を○/Ⓜ/Ⓜ/Ⓜ/Ⓜを押して実行する場合、Ⓜ(サブメニュー)のようにカッコ内に内容を表記します。
※ ただし、○(OK)/○(選択)/○(設定)/○(決定)/○(確定)の場合は省略して○のみ表記しています。
- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- ◎ 本書では「au Nano IC Card O4 LE」の名称を「au ICカード」と表記しています。
- ◎ 本書では「microSD™メモリーカード(市販品)」および「microSDHC™メモリーカード(市販品)」の名称を「microSDメモリーカード」もしくは「microSD」と省略しています。
- ◎ 本書に表記されている金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。
- ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

目次

ごあいさつ	1
同梱品一覧	1
取扱説明書について	1
本書の表記方法について	1
目次	3
注意事項	7
注意事項	8
本製品のご利用について	8
安全上のご注意(必ずお守りください)	8
材質一覧	11
取り扱い上のお願	12
防水・防塵・耐衝撃性能に関するご注意	14
本製品の防水・防塵・耐衝撃性能	14
使用時のご注意	14
防水・防塵性能を維持するために	14
充電時のご注意	14
本製品の洗いかた	14
水抜きのかた	15
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い	15
Bluetooth®についてのお願い	15
無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い	15
周波数帯について	15
電波障害自主規制について	16
各種暗証番号/PINコードについて	16
各種暗証番号について	16
PINコードについて	16
データ通信料についてのご注意	16
アプリケーションについて	16
マナーも携帯する	16
ご利用の準備	17
ご利用の準備	18
各部の名称と機能	18
電池パックを取り付ける/取り外す	19
電池パックを取り付ける	19
電池パックを取り外す	19
au ICカードについて	19
au ICカードを取り付ける/取り外す	20
au ICカードを取り付ける	20
au ICカードを取り外す	20
充電する	21
充電について	21
指定のACアダプタ(別売)を使って充電する	21
卓上ホルダ(別売)と指定のACアダプタ(別売)を使って充電する	21
パソコンを使って充電する	22
電源を入れる/切る	22
電源を入れる	22
電源を切る	22
初期設定を行う	22
基本操作	23
基本操作	24
タッチクルーザーEXを利用する	24
タッチクルーザーEXの操作について	24
拡大鏡を利用する	24
待受画面を利用する	25
お気に入りを利用する	25
待受画面の通知アイコン/ショートカットを利用する	25
インフォメーションを利用する	25
本製品の状態を知る	25
アイコンについて	25
お知らせ/ステータスパネルを利用する	26
充電/着信ランプについて	26
サブディスプレイを利用する	26
ホームメニューを利用する	27
アプリについて	28
シンプルメニューを利用する	28
クイック起動キーを利用する	29
クイック起動キーに登録する	29
クイック起動キーに登録した機能を利用する	29
アプリ履歴画面を利用する	30
共通の操作を覚える	30
基本的なキー操作を覚えよう	30
チェックボックスを利用する	30
文字入力	31
文字入力の方法を覚える	31
文字入力の方法	32

ひらがな/漢字/カタカナ/英数字の入力	32
文字の修正	32
予測変換機能	32
** (ワイルドカード)入力	32
絵文字/D絵文字/記号/顔文字の入力	32
2タッチ入力を利用する	32
文字入力のサブメニューを利用する	33
文字をコピー/切り取りしてから貼り付ける	33
その他の文字入力サブメニュー	33
文字入力について設定する	33
ユーザー辞書に登録する	33

電話・電話帳

電話	36
電話をかける	36
電話番号を入力して電話をかける	36
発信メニューを利用する	36
ダイヤル画面のサブメニューを利用する	36
通話中画面のサブメニューを利用する	36
履歴を利用して電話をかける	37
スピードダイヤルで電話をかける	37
かんたん発信(音声認識)で電話をかける	37
ペア機能で電話をかける	37
au電話から海外へかける(au国際電話サービス)	38
電話を受ける	38
電話に出る	38
着信を拒否する	38
着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る	38
着信中のサブメニューを利用する	38
あやしい電話に代理応答する	38
自分の電話番号を確認する	38
プロフィールを確認する	38
プロフィールを編集する	38
通話に関する設定をする	39
通話の設定をする	39
伝言メモ/音声メモを再生する	39
着信拒否の設定をする	39
電話帳	40
電話帳に登録する	40
グループを設定する	40
電話帳の一覧を利用する	40
電話帳一覧画面を表示する	40
電話帳一覧画面/グループ一覧画面のサブメニューを利用する	40
電話帳を設定・管理する	40
電話帳の登録内容を利用する	40

メール

Eメール	42
Eメールを確認する	42
Eメールを送る	43
Eメールを送信する	43
Eメールにデータを添付する	44
Eメールを受け取る	44
Eメールを受信する	44
添付データを受信・再生する	44
添付画像を保存する	44
差出人/宛先/件名/電話番号/メールアドレス/URLを利用する	44
新着メールを問い合わせで受信する	45
Eメールを検索する	45
Eメールのメニューを利用する	45
フォルダ一覧画面のメニューを利用する	45
Eメール一覧画面のメニューを利用する	45
Eメール詳細表示画面のメニューを利用する	45
フォルダを利用する	46
フォルダを作成する	46
フォルダを編集する	46
Eメールを設定する	46
Eメール設定をする	46
受信・表示に関する設定をする	47
送信・作成に関する設定をする	47
通知に関する設定をする	47
個別の通知に関する設定をする	47
Eメールアドレスを変更する	47
転送先を設定する	47
バックアップしたEメールを復元する	48
メールデータを復元する	48
迷惑メールフィルターを設定する	48
SMS	49
SMSを送信する	49
SMSを受信する	49
電話番号/メールアドレス/URLを利用する	49
SMSを返信/転送する	49
SMSを保護/保護解除する	49

SMSの電話番号を電話帳に登録する	49
SMSを検索する	50
SMSを削除する	50
SMSを設定する	50
受信フィルターを設定する	50
PCメール	50
PCメールのアカウントを設定する	50
アカウントを登録する	50
アカウントの設定を変更する	50
PCメールを送信する	50
PCメールを受信する	50
PCメール内容表示画面の見かた	50

インターネット..... 51

インターネット	52
インターネットに接続する	52
データ通信を利用する	52
ブラウザ	52
ブラウザを利用する	52
ブラウザメニューを利用する	52
ブラウザ画面の表示/文字サイズの拡大/縮小をする	53
ブラウザ画面のサブメニューを利用する	53
Webページの文字をコピーする	53
タッチクルーザーEXで操作する	53

アプリ・サービス..... 55

カメラ	56
カメラをご利用になる前に	56
静止画/動画を撮影する	56
カメラの機能を利用する	57
カメラを設定する	57
カメラの詳細設定をする	58
バーコードリーダーを利用する	58
データフォルダ	58
データフォルダを利用する	58
データを表示/再生する	58
データを移動/コピーする	59
データ保存先の表示を変更する	59
コンテンツ表示画面のサブメニューを利用する	59
ユーザーフォルダのサブメニューを利用する	59
画像を編集する	59
SHSHOW	60
SHSHOWを利用する	60
auナビウォーク	60
auナビウォークを利用する	60
セルフチェック	60
セルフチェックを利用する	60
My au (au お客さまサポート)	60
My auを利用する	60
auスマートサポート	60
auスマートサポートでできること	60
位置検索サポート	60
お客さまセンターに電話して位置検索・遠隔ロックをかける/解除する	60
位置検索の設定を切り替える	60
遠隔ロックご利用にあたっての注意	60
遠隔ロックによる制限内容	60
遠隔操作サポート	61
遠隔操作サポートを利用する	61
あんしんフィルター for au	61
あんしんフィルター for auを利用する	61
管理者情報を登録する	61
管理者ページを利用する	61
auスマートパス	62
auスマートパスを利用する	62
データお預かり	62
データお預かりを利用する	62
テレビde写真	62
テレビde写真を利用する	62
モバイルSuica	62
モバイルSuicaを利用する	62

ツール..... 63

テレビ	64
テレビについて	64
テレビの初期設定をする	64
テレビ番組を見る	64
テレビ番組を視聴する	64
テレビ視聴画面のサブメニューを利用する	64
番組表を利用する	64
チャンネルリストを切り替える	65

テレビの設定をする	65
TVリンクを利用する	65
スクリーンショット	65
スクリーンショットを撮影する	65
メモ帳	65
メモ帳を登録する	65
メモ帳を確認する	65
カレンダー	66
カレンダーを表示する	66
予定を新規登録する	66
カレンダー画面のサブメニューを利用する	66
アラーム	66
アラームを利用する	66
世界時計	67
世界時計を利用する	67
ストップウォッチ	67
ストップウォッチを利用する	67
タイマー	67
タイマーを利用する	67
歩数計	67
歩数計を利用する	67
歩数の履歴を表示する	67
歩数計画面のサブメニューを利用する	67
電卓	68
電卓で計算する	68
ボイスレコーダー	68
ボイスレコーダーを利用する	68
au Wi-Fi接続ツール	68
au Wi-Fi接続ツールを利用する	68
auシェアリンク	68
auシェアリンクを利用する	68
LINE	68
LINEを利用する	68
LISMO	68
LISMOを利用する	68
mamorino Watchナビ	68
mamorino Watchナビを利用する	68

ファイル管理..... 69

ファイル管理	70
本製品の保存領域について	70
microSDメモリカードを利用する	70
microSDメモリカードについて	70
microSDメモリカードを取り付ける	70
microSDメモリカードを取り外す	71
ストレージに関する設定をする	71
ストレージの設定をする	71
microSDメモリカードをフォーマットする	71
パソコンと接続する	72
USB接続モードを設定する	72
メモリカードリーダー/ライターとして使う	72
MTPモードでパソコンと接続する	72

データ通信..... 73

無線LAN(Wi-Fi®)機能	74
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	74
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する	74
無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする	74
Wi-Fi®ネットワークに接続する	74
アクセスポイントとの接続を切る	74
Wi-Fi®設定画面のサブメニューを利用する	74
アクセスポイントを登録する	75
アクセスポイントを手動で登録する	75
アクセスポイントを自動で登録する	75
Wi-Fi Direct®を利用する	75
テザリング機能	75
テザリングについて	75
USBテザリング機能を利用する	75
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	75
Bluetooth®テザリング機能を利用する	75
赤外線通信	76
赤外線送受信のご利用にあたって	76
データを1件受信する	76
データを一括して受信する	76
データを1件ずつ送信する	76
データを選んで送信する	76
データを一括して送信する	76
Bluetooth®機能	77
Bluetooth®機能の利用について	77
Bluetooth®を利用する	77
Bluetooth®を起動する	77

Bluetooth®機器と接続する	77
Bluetooth®でデータを送受信する	78
Bluetooth®でデータを受信する	78
Bluetooth®でデータを送信する	78
NFC/おサイフケータイ®	78
おサイフケータイ®とは	78
おサイフケータイ®で利用にあたって	78
リーダー/ライターとデータをやりとりする	79
他の携帯電話とデータをやりとりする	79
おサイフケータイ®を設定する	79
おサイフケータイ®の機能をロックする	79
NFCを利用する	79
Reader/Writer、P2P機能を有効にする	79
Androidビームでデータを送受信する	79
FeliCaに対応したサービスを利用する	80
タップ&ペイを利用する	80

端末設定 81

端末設定	82
設定メニューを表示する	82
壁紙・ディスプレイの設定をする	82
文字サイズ・フォントの設定をする	82
マナー・音・バイブの設定をする	82
マナーモードを設定する	82
au IDの設定をする	82
省エネ・電池	83
長エネスイッチの設定をする	83
セキュリティの設定をする	83
シークレット設定をする	83
ネットワークの設定をする	83
機内モードを設定する	84
位置情報の設定をする	84
その他の設定をする	84
日付と時刻の設定をする	84
使用する言語や文字入力の設定をする	84
端末情報の設定をする	84
本製品を初期化する	84

auネットワークサービス 85

auのネットワークサービスを利用する	86
auのネットワークサービスについて	86
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	86
着信お知らせサービスについて	86
着信転送サービスを利用する(標準サービス)	86
着信転送サービスについて	86
応答できない電話を転送する(無応答転送)	86
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)	86
応答できない電話を転送する(圏外転送)	86
手動で転送する(選択転送)	86
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)	86
着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)	86
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	87
発信番号表示サービスについて	87
電話番号を通知する	87
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	87
番号通知リクエストサービスについて	87
番号通知リクエストサービスを開始する	87
番号通知リクエストサービスを停止する	87
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	88
お留守番サービスEXについて	88
お留守番サービス総合案内(141)を利用する	88
応答できない電話を転送する(無応答転送)	88
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)	88
応答できない電話を転送する(圏外転送)	88
手動で転送する(選択転送)	88
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)	88
電話をかけてきた方が伝言を録音する	88
ボイスメールを録音する	88
伝言お知らせについて	89
伝言・ボイスメールを聞く	89
伝言の蓄積を停止する(不在通知)	89
伝言の蓄積停止を解除する	89
応答メッセージの録音/確認/変更をする	89
お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)	89
英語ガイドンスへ切り替える	89
日本語ガイドンスへ切り替える	89
三者通話サービスを利用する(オプションサービス)	90
割込通話サービスを利用する(オプションサービス)	90
割込通話サービスについて	90
割込通話サービスを開始する	90
割込通話サービスを停止する	90
割込通話を受ける	90
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)	90
迷惑電話撃退サービスについて	90

撃退する電話番号を登録する	90
登録した電話番号を全件削除する	90
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)	90

海外利用 91

海外利用	92
au世界サービスについて	92
海外利用に関する設定を行う	92
データ通信を利用する	92
データサービス・メッセージサービスの通信料	92
渡航先で電話をかける	92
渡航先で電話を受ける	93
お問い合わせ方法	93
海外からのお問い合わせ	93
サービスエリアと海外でのご利用料金	93
海外で安心してご利用いただくために	93
海外でのご利用上のご注意	93

付録・索引 95

付録	96
ソフトウェアを更新する	96
故障とお考えになる前に	96
アフターサービスについて	97
SIMロック解除について	98
周辺機器のご紹介	98
スイッチ付イヤホンマイク/イヤホンマイク/イヤホンを使用する	98
利用できるデータの種類	99
主な仕様	99
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	99
Regulatory information	100
FCC Notice	101
輸出管理規制	101
おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意	101
知的財産権について	102
索引	105

注意事項

注意事項.....	8
本製品のご利用について.....	8
安全上のご注意(必ずお守りください).....	8
取り扱い上のお願い.....	12
防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意.....	14
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い.....	15
電波障害自主規制について.....	16
各種暗証番号/PINコードについて.....	16
データ通信料についてのご注意.....	16
アプリケーションについて.....	16
マナーも携帯する.....	16

注意事項

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。

故障とお考えになる前に、本書の「故障とお考えになる前に」で症状をご確認ください。または、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。

<https://www.au.com/trouble-check/>

・サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。

・本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください。(ただし、LTE/GSM/UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)

・日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。

・本製品はau世界サービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは地域やサービス内容によって異なります。

・本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。

・「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。

・海外でご利用される場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。

・地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

・本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。

・本書の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

・本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

・大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

・本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。

・本製品はメインディスプレイに液晶を使用しております。そのため、偏光特性を持ったサングラスをかけてディスプレイを見ると、サングラスの特性や見る角度によっては暗くなったりゆがんで見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。

・本製品はメインディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。

・本製品で使用しているメインディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

・サブディスプレイに長時間同じ画像を表示させると残像が発生することがありますが故障ではありません。

・撮影などした静止画/動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。

・通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元:シャープ株式会社

◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
◎ OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能が削除や使用不可となる場合があります。

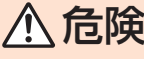


◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

■ ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。







	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷*1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷*1を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷*2を負う可能性が想定される場合および物的損害*3の発生が想定される」内容です。

*1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。


*3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。


■ 禁止・強制の絵表示の説明


	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。


■ 本体、電池パック、背面カバー、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通


危険

 高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


 電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


 砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水・防塵性能については以下をご参照ください。▶P.14「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」

 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水性能については以下をご参照ください。▶P.14「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」

 本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶついたり、物に挟んだりしないでください。電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意ください
・スボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける

 分解、改造をしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水性能については以下をご参照ください。▶P.14「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」



充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

水濡れ
禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

▶P.14「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」



オプション品は、auが指定したものを使用してください。

指示

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用中や充電中に、布団などでおおったり、包んだりしないでください。

禁止

火災、やけどなどの原因となります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

指示

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

指示

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®をご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。

(おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)



使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

指示

・電源プラグをコンセントから抜く。

・本製品の電源を切る。

・電池パックを本製品から取り外す。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



破損したまま使用しないでください。

禁止

火災、やけど、けがなどの原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレタ設定中は特にご注意ください。

禁止

落下して、けがなどの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

禁止

火災、やけど、感電などの原因となります。

防水/防塵については以下をご参照ください。

▶P.14「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」



子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

禁止

けがなどの原因となります。



乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

禁止

誤飲、けが、感電などの原因となります。



本製品を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

指示

アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本製品や電池パック(指定の充電用機器(別売))の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

危険



火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

禁止

火災、やけど、けがなどの原因となります。



釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

禁止

火災、やけど、けがなどの原因となります。



本製品内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

指示

本製品内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。

禁止

目に悪影響を及ぼすなどの原因となります。



赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

禁止

赤外線装置の誤動作により、事故などの原因となります。



点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

禁止

けいれんや意識喪失などの原因となります。



本製品内のau ICカードスロットやmicroSDメモリスロットに水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

禁止

また、au ICカードスロットやmicroSDメモリスロットの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。

禁止

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。

指示

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

指示

使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。

指示

また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



心臓の弱い方は、着信パイプレタ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

指示

突然の着信パイプレタ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

指示

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。

指示

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたディスプレイ部/レンズや露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

⚠️ 注意



ストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止



モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止



ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止



背面カバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。
背面カバーが破損し、けがなどの原因となります。

禁止



背面カバーを取り付けるときは、指などの体の一部を挟まないでください。
けがなどの原因となります。

禁止



背面カバーを外したまま使用しないでください。
やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止



自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示



本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.11)をご参照ください。

指示



本製品を開閉する際は、指などの体の一部を挟まないようご注意ください。
すき間に挟まれると、けがなどの原因となります。

指示



本製品の受話口(レシーバー)/スピーカー部を含む本機上部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。

指示



ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

指示

■ 電池パックについて

⚠️ 危険



金属片(ネックレスやヘアピンなど)や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止



電池パックを本製品にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。また、電池パックを本製品からうまく取り外せない場合は、無理に取り外さないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
電池パックの取り付け方、取り外し方については以下をご参照ください。
▶P.19「電池パックを取り付ける」
▶P.19「電池パックを取り外す」

禁止



火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止



釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止



電池パックを本製品に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめてください。
誤った向きで取り付けると、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
電池パックの取り付け方については以下をご参照ください。
▶P.19「電池パックを取り付ける」

指示



電池パック内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
電池パック内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

指示

⚠️ 警告



異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止



電池パック内部の物質などが漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

指示



ペットなどが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

⚠️ 注意



電池パック内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止



一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからauショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

禁止





濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。


禁止


■ 充電用機器について


警告


- 


指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。
 禁止 火災、やけど、感電などの原因となります。
- 


指定の充電用機器(別売)や卓上ホルダ(別売)は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
 禁止 火災、やけど、感電などの原因となります。
- 


雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。
 禁止 感電などの原因となります。
- 


コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
 禁止 火災、やけど、感電などの原因となります。
- 


指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
 禁止 火災、やけど、感電などの原因となります。
- 


コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
 禁止 火災、やけど、感電などの原因となります。
- 


指定の充電用機器(別売)に海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。
 禁止 発火、発熱、感電などの原因となります。
- 


本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
 禁止 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 


濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグ、卓上ホルダ(別売)に触れないでください。
 濡れ手 禁止 火災、やけど、感電などの原因となります。
- 


指定の電源、電圧で使用してください。
 また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。
 指示 誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
 ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
 海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
- 


電源プラグについたほごりは、拭き取ってください。
 指示 ほごりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
- 


指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
 指示 確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。
- 

電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、指定の充電用機器(別売)本体を持って抜いてください。
 指示 指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。
- 

本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
 指示 正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 


充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
 指示 充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 

使用しない場合は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。
 電源プラグ 電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
 電源プラグ 付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。
- 

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
 電源プラグ 抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。


注意

- 

コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に長時間触れないでください。
 禁止 やけどなどの原因となります。

■ au ICカードについて


注意


- 


au ICカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
 指示 切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。


■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

警告

- 

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
 指示 電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- 

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
 指示 電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- 

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。
 指示 付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- 

医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
 指示 電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■ 材質一覧

■ 本体(SHF34)

使用箇所	材質/表面処理
外装(メインディスプレイ面)	アクリル樹脂+PC樹脂/ハードコート
外装(サブディスプレイ面)	アクリル樹脂/ハードコート
外装(ディスプレイ面の側面)	PA樹脂(ガラス入り)/塗装、ハードコート
外装(キー面)	PET樹脂/UV硬化樹脂
外装(キー面の側面)	PA樹脂(ガラス入り)/塗装、ハードコート
外装(ヒンジ部)	上側: PA樹脂(ガラス入り)/塗装、ハードコート 下側: PC樹脂+ABS樹脂/塗装、ハードコート
外装(ヒンジ部の側面)	PC樹脂+ABS樹脂/塗装、ハードコート
外装(アンテナ部)	PC樹脂+ABS樹脂(ガラス入り)/金メッキ
外装(ネジ)	ステンレス
外装(電池収納面シール)	PET樹脂
外装(電池収納面金属部)	洋白
カメラパネル	アクリル樹脂/ハードコート
操作キー(飾りを含む)	UV硬化樹脂
サイドキー	PC樹脂/塗装、ハードコート
クイックオープンボタン	樹脂部: PC樹脂 金属部: アルミニウム/アルマイト処理
充電端子(金属部)	ステンレス/金メッキ
充電端子(樹脂部)	ABS樹脂
外部接続端子(樹脂部)	PA樹脂
外部接続端子(金属部)	ステンレス+銅合金/錫メッキ、金メッキ
赤外線ポート	アクリル樹脂
microSDカードスロット(金属部)	カバー: ステンレス 端子: 銅合金/金メッキ
microSDカードスロット(樹脂部)	LCP樹脂
au ICカードスロット	カバー: ステンレス 端子: 銅合金/金メッキ 樹脂部: LCP樹脂
電池端子(コネクタ本体)	PA4T
電池端子	銅合金/金メッキ
当たりカバー	UV硬化樹脂
外装(電池収納部)	PA樹脂(ガラス入り)
水濡れシート	紙/印刷
規格銘板	ポリエステル樹脂/印刷
背面カバー(本体)	PC樹脂(ガラス入り)/塗装、ハードコート、印刷
背面カバー(パッキン)	シリコンゴム
背面カバー(電池蓋スベーター)	PET樹脂
背面カバー(電池蓋上スベーター)	PC樹脂

使用箇所	材質/表面処理
背面カバー(フェリカアンテナ)	フェライト+アルミニウム+PET樹脂+接着剤

■ 電池パック

使用箇所	材質/表面処理
電池パック本体	PC樹脂
端子部	銅合金/金メッキ
水濡れシール	上質紙/PET樹脂
ラベル	PET樹脂/マットニス印刷

取り扱い上のお願

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、電池パック、背面カバー、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかけられないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れて、中で重いものの下になつたりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
- また、外部機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水/防塵性能(IPX5、IPX8、IP5X相当)を発揮するために、指定の背面カバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
- ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に液体や粉塵などの異物を入れたり、電池パックや充電用機器、オプション品に液体や粉塵などの異物を付着させたりしないでください。雨の中や水滴がついたまま背面カバーの取り付け/取り外しは行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
- 調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃~35℃、湿度35%~85%の範囲内でご使用ください。)
 - ・ 充電用機器
 - ・ 周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃~35℃、湿度35%~85%の範囲内でご使用ください。)
 - ・ SHF34本体
 - ・ 電池パック・au ICカード(SHF34本体装着状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障の原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反となります。
- 接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などでおわれた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やパイプルータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。

- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。
- 使用中、本製品が温かくなった場合、画面の明るさや一部機能を制限する場合があります。

■ 本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 本製品のキー部分(タッチエリア)を指で触れることでタッチパッドのように操作できますが(タッチクルーザーEX)、以下の場合はタッチエリアに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 手袋をしたままでの操作
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面に寄せたままでの操作
 - ・ シールなどを貼った操作
 - ・ 水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・ 濡れた指または汗で濡った指での操作
 - ・ 水中での操作
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「[適マーク]」が本製品の電子銘板に表示されています。電子銘板は、次の手順でご確認いただけます。
待受画面で◎→[設定]→[その他]→[端末情報]→[認証]
本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下での使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモリーカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷つける場合があります。
- microSDメモリーカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 背面カバー内側の黒いシートは、はがさないでください。シートをはがすと、おサイフケータイ®の読み書きができなくなる場合があります。
- 受話口(レシーバー)/スピーカー部、送話口(マイク)、空気抜き穴をシールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。
- ディスプレイが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- メインディスプレイやキーのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、本製品が損傷するおそれがあります。
- 本製品の開閉の際に指などを挟まないようにご注意ください。
- 本製品に磁気を帯びたものや金属製のストラップなどを近づけると受話口(レシーバー)/スピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。
- 背面カバーを外したまま使用しないでください。また、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。
- 本製品内のau ICカードスロットやmicroSDメモリーカードスロットに液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口/スピーカー部、送話口などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると故障の原因となります。

■ 有機ELディスプレイについて

- 本製品はサブディスプレイ部に有機ELディスプレイを採用しています。有機ELディスプレイは、同じ画像を長く表示したり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちる場合がありますが、有機ELディスプレイの特性によるもので故障ではありません。
- 有機ELディスプレイは非常に高度な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素などが存在することがあります。また見る方向によってすじ状の明るさのむらが見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 有機ELディスプレイに直射日光を当てたままにすると故障の原因となります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

■ 電池パックについて



(本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。)

電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間で使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 長時間使用しない場合は、本製品から電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 電池パックはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。故障の原因となる場合があります。
- 電池パックを水などで濡らさないでください。電池パックが濡れると故障の原因となります。誤って水などに落とすときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

■ au ICカードについて

- au ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。
- au ICカードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ カメラ機能について

- カメラレンズが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- 大切な撮影などををするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意

正しくお使いいただくために、「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」の内容をよくお読みください。正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、液体や粉塵が入る原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となります。

すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」に記載されている内容を守らずにご使用になった場合など、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

本製品の防水／防塵／耐衝撃性能

本製品は背面カバーが完全に装着された状態で保護等級(JIS C 0920)IPX5相当*1、IPX8相当*2の防水性能およびIP5X相当*3の防塵性能を有しております(当社試験方法による)。

また、MIL規格準拠*4の耐衝撃性能を実現しております(当社試験方法による)。

*1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

*2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに本製品を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

*3 IP5Xとは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れ、攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。(塵埃(じんあい)の侵入を完全に防止するわけではありません。)

*4 MIL規格準拠
米国防務省が制定したMIL-STD-810G Method 516.7: Shock-Procedure IV に準拠した規格において、高さ1.22mから合板(ラワン材)に製品を26方向で落下させる試験を実施しています。

※ すべての衝撃に対して保証するものではありません。日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

■ 本製品が有する防水／防塵性能でできること

- ・ プールサイドで使用できます。ただし、プールの水などの水道水以外の水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- ・ 弱めの水流(6リットル/分以下)で常温(5℃~35℃)の水道水を使って本製品を洗うことができます。

■ 本製品のお取り扱いについて

- ・ 背面カバーを確実に取り付けてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。接触面に微細なゴミ(髪の毛、砂粒、微細な繊維など)が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- ・ 背面カバーを取り外している状態で水などの液体がかかった場合、感電や故障の原因となります。そのまま使用しないで、電源を切り、お近くのauショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- ・ 本製品が濡れているときは、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- ・ 手や本製品が濡れているときには、背面カバーの取り付け/取り外しは絶対しないでください。
- ・ 常温(5℃~35℃)の真水・水道水にのみ対応しています。常温の真水・水道水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の真水・水道水で洗ってください。
- ・ 外部接続端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水／防塵性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどによる火災、やけど、故障の原因となります。

■ 本製品の防塵性能について

- ・ 本製品の防塵性能はIP5X相当の保護度合いを保証するものであり、砂浜などの砂の上に直接置くなどの利用方法に対して保証するものではありません。
- ・ 塵埃が本製品に付着したときは、直ちに水で洗い流すなどして完全に塵埃を除去してからご使用ください。

使用時のご注意

- ・ 水道水以外の液体(海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など)に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。
- ・ かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- ・ 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。
- ・ 乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- ・ 砂や泥がきれいに洗い流せていない状態で使用すると、本製品に傷が付いたり、破損するなど故障の原因となります。
- ・ 湯船やプールなどににつけないでください。また、水中で使用しないでください。(キー操作を含む。)
- ・ 本製品は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水(6リットル/分を超える)を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- ・ 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。本製品は耐熱設計ではありません。
- ・ 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かい場所へ移動するときは本製品が常温になってから持ち込んでください。
- ・ 万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- ・ お風呂場、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- ・ 本製品は水に浮きません。
- ・ 受話口/スピーカー、送話口の穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなる場合があります。十分に水抜きと乾燥を行ったうえでご使用ください。
- ・ 砂浜、砂場などの砂の上や、泥の上に直接置かないでください。受話口、スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- ・ 背面カバーに劣化、破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。

■ 防水／防塵性能を維持するために

■ ゴムパッキンについて

- 背面カバーのゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するために重要な部品です。次のことにご注意ください。
- ・ はがしたり、傷付けたりしないでください。
 - ・ 背面カバーを取り付けるときは、ゴムパッキンを挟まないように注意してください。また、背面カバーの隙間や外部接続端子部に、先の尖ったものを差し込まないでください。
 - ・ ゴムパッキンが傷付き、液体や粉塵が入る原因となることがあります。
 - ・ 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回部品を交換することをおすすめします(有償)。部品の交換につきましては、お近くのauショップまでご連絡ください。

■ 充電時のご注意

- 電池パック、卓上ホルダ(別売)、指定の充電用機器(別売)やオプション品は、防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。
- ・ 本製品に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れた後は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子にmicroUSBプラグを差し込んでください。
 - ・ 本製品または充電用機器(別売)に水滴や異物が付着している状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。
 - ・ 本製品は防水／防塵性能を有しておりますが、充電用機器(別売)は防水／防塵性能を有していません。濡れたり汚れたりしている状態でmicroUSBプラグを挿入すると、本製品やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、感電や回路のショート、腐食による異常発熱、焼損、火災、やけど、故障の原因となります。
 - ・ 濡れた手で卓上ホルダ(別売)や指定の充電用機器(別売)に触れないでください。感電の原因となります。
 - ・ 電池パック、卓上ホルダ(別売)、指定の充電用機器(別売)およびオプション品は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。

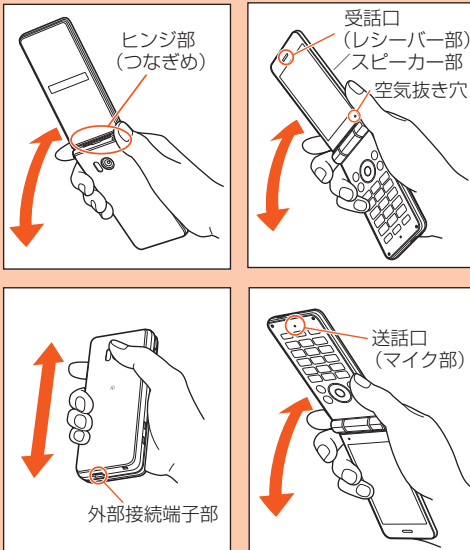
■ 本製品の洗いかた

- 本製品の表面に汚れ、ほこり、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流(6リットル/分以下)で常温(5℃~35℃)の水道水を使い、蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。
- 背面カバーに隙間が開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください。
- ・ 背面カバーがきちんと取り付けられていることを確認してから、洗ってください。
 - ・ 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
 - ・ 外部接続端子部は、特にほこりや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようにしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は、十分に乾燥したことを確認したうえでご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障の原因となります。
 - ・ 外部接続端子部を洗うときは、綿棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水／防塵性能が損なわれるなど、火災、やけど、故障の原因となります。
 - ・ 乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本製品を発熱・発煙・発火させたり、回路部品を破壊させる原因となります。
 - ・ 乾燥のために、ドライヤーの温風をあてたり、高温環境に放置しないでください。本製品の变形・変色・故障などの原因となります。

水抜きのみかた

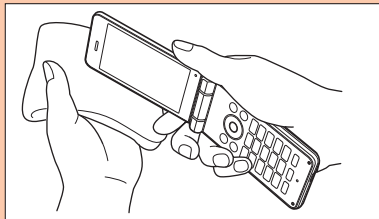
水に濡れた後は、必ず外部接続端子部、受話口(レシーバー部)/スピーカー部、送話口(マイク部)、キー部、ヒンジ部(つなぎめ)、空気抜き穴などの水抜きをしてください。

- 1 本製品表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る
ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。
- 2 本製品のヒンジ部(つなぎめ)をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る
周囲の安全を確認して、本製品を落とさないようにしっかり握って振ってください。



- 3 各部の隙間に入った水分を、乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当てて拭き取る

各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出し、水や異物が入っていないことを確認してください。



- 4 乾いた布などを下に敷き、2~3時間程度常温で放置し、乾燥させる

水を拭き取った後に本製品内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

隙間に溜まった水を、綿棒などで直接拭き取らないでください。

■ 水抜き後のご注意

水滴が付着したまま使用しないでください。

- 通話不良となったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。
- 外部接続端子などがショートし、火災、故障の原因となるおそれがあります。
- 寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い

Bluetooth®についてのお願い

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国/地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い

- 本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国/地域では無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

周波数帯について

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能(2.4GHz帯)は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。本製品で以下の操作を行うことで、周波数帯に関する情報をご確認いただくことができます。

待受画面で◎→【設定】→【その他】→【端末情報】→【認証】

- Bluetooth®機能: 2.4FH1/XX4

2.4FH1/XX4

本製品は2.4GHz帯を使用します。

FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は約10m以下です。

XX4は其他方式を採用し、干渉距離は約40m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- 無線LAN(Wi-Fi®)機能: 2.4DS/OF4

2.4DS/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。

変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。干渉距離は約40m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。

本製品の2.4GHz帯の無線LAN(Wi-Fi®)で使用できるチャンネルは、1~13です。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth®機能ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

■ 2.4GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用周波数は、2.4GHz帯です。2.4GHzの周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

電波障害自主規制について

本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電池パックを外したところに貼ってある銘板シールに表示しています。

各種暗証番号/PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■ 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■ ロックNo.(おサイフケータイロック)

使用例	おサイフケータイロックを利用する場合
初期値	1234

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- ・お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4~8桁のお好きな番号、入力可否は「入力必要」に変更できます。「入力必要」で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- ・PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- ・PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- ・PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPiもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- ・「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

◎ PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のため本製品が再起動することがあります。

データ通信料についてのご注意

- ・本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ・本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
※ 無線LAN(Wi-Fi®)の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- ・アプリケーションのダウンロードについてはau IDを設定のうえ、auスマートパスより行ってください。au IDの設定については「設定ガイド」をご参照ください。
- ・本製品ではGoogle Play™やEZwebのご利用はできません。
- ・アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- ・万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ・アプリケーションによっては、microSDメモリーカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- ・アプリケーションの中には動作中に画面が消灯しなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- ・本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、「取扱説明書」「設定ガイド」「取扱説明書 詳細版」記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止!

- ・自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ(ワンセグ)を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

- ・映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- ・街中では、通行の邪魔にならない場所で使しましょう。
- ・携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっても通話や操作は控えましょう。
- ・新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- ・通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- ・電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- ・携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- ・カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- ・満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- ・病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

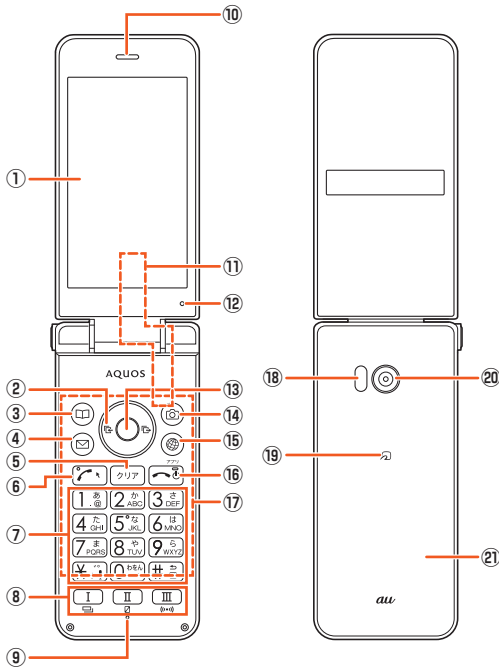
ご利用の準備

ご利用の準備	18
各部の名称と機能	18
電池パックを取り付ける／取り外す	19
au ICカードについて	19
au ICカードを取り付ける／取り外す	20
充電する	21
電源を入れる／切る	22
初期設定を行う	22

ご利用の準備

各部の名称と機能

■ 前面／背面



- ① メインディスプレイ
- ② カールキー
 - 左キー／着信履歴
 - 右キー／発信履歴
 - 上キー
 - 下キー
- ③ 電話帳キー
- ④ メールキー
- ⑤ クリアキー
- ⑥ 発信キー

電話番号を入力して[☎]を押すと、入力した電話番号に発信します。待受画面で電話番号を入力せずに[☎]を押すとペア登録確認画面が表示され、ペア相手を登録するとペア機能を利用できます。(▶P.37)
- ⑦ [0]～[9]、[*]、[#]ダイヤルキー
- ⑧ [I]、[II]、[III]クイック起動キー

よく使う電話番号やお気に入りの機能を登録し、キーを押すだけですばやく起動することができます。また、長押しするとアプリ履歴やのぞき見防止、Wi-Fiテザリング機能のON/OFF切り替えを利用できます。(▶P.29)
- ⑨ 送話口(マイク)

通話中の相手の方にごこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。
- ⑩ 受話口(レシーバー)／スピーカー

通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音、着信音やアラーム音などが聞こえます。
- ⑪ テレビアンテナ

テレビ(ワンセグ)を視聴するためのアンテナを内蔵しています。
- ⑫ 空気抜き穴

性能を保つための穴です。
- ⑬ センターキー
- ⑭ カメラキー
- ⑮ ブラウザ／アプリキー

ブラウザメニューを表示します。また、長押しするとアプリ・サービス一覧を表示します。
- ⑯ 電源／終話キー

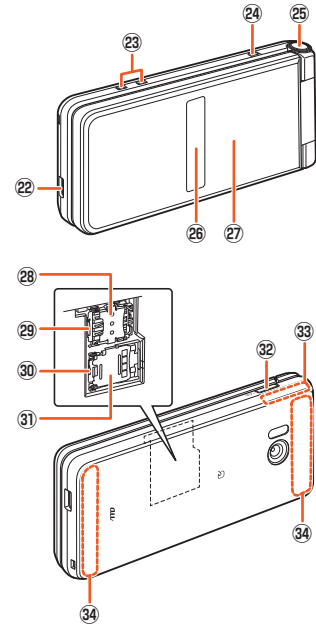
操作中は通話や各機能を終了します。長押しすると電源を入れる、または電源メニューを表示させて電源を切る／再起動などの操作ができます。
- ⑰ タッチエリア(タッチクルーザーEX)

本製品のタッチエリアを指で触れることでタッチパッドのように操作できます。(▶P.24)
- ⑱ 赤外線ポート

赤外線通信で、データの送受信を行います。
- ⑲ マーク

おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。
- ⑳ カメラ(レンズ部)
- ㉑ 背面カバー

■ 折りたたみ時(前面／背面／側面)



- ㉒ 外部接続端子

共通ACアダプタ05(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)、周辺機器接続用USBケーブル(市販品)などの接続時に使用します。
- ㉓ 充電端子

卓上ホルダ(別売)を使用して充電するときの端子です。
- ㉔ ストラップ取付部

ストラップを取り付ける場合は、背面カバーを取り外してから(▶P.19)、ストラップのひもをストラップ取付部から通し、ストラップ取付フックに確実に引っ掛けてから、外側へ引っ張ってください。
- ㉕ クイックオープンボタン
- ㉖ サブディスプレイ

着信時、メール受信時、アラーム鳴動時などに情報を表示してお知らせします。
- ㉗ 充電／着信ランプ

充電中は電池残量によって赤色／緑色で点灯します。
着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。
- ㉘ au ICカードスロットカバー
- ㉙ au ICカードスロット
- ㉚ microSDカードスロット
- ㉛ microSDカードスロットカバー
- ㉜ マナーキー
- ㉝ GPS／Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ
- ㉞ 内蔵アンテナ

通話時、インターネット利用時、4G(LTE)利用時に使用します。

内蔵アンテナ、GPS／Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ、テレビアンテナについて

○ アンテナは本製品に内蔵されています。通話中や通信中はアンテナを手でおおわないでください。また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通話／通信品質が悪くなる場合があります。

受話口(レシーバー)／スピーカー、送話口(マイク)、空気抜き穴について

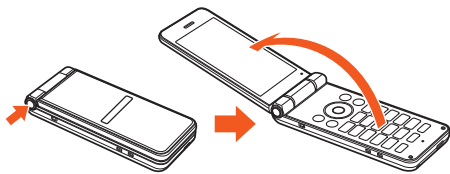
- 本製品は受話口とスピーカーを兼用しています。ハンズフリー通話に切り替えたときや通話が終了したときに、耳元でスピーカーから大きな音が鳴らないよう、徐々に設定した音量まで上がります。
- 受話口(レシーバー)／スピーカー、送話口(マイク)、空気抜き穴をシールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。

IMEIについて

- IMEI(端末識別番号)は端末1台ずつに割り当てられた固有の識別番号です。電池パックを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシールで本製品のIMEIを確認できます。
- IMEIは修理依頼やアフターサービスなどで必要な情報ですので、IMEIの印刷されたシールは、はがさないでください。
- 本製品を操作してIMEIを確認することもできます。待受画面で[設定]→[その他]→[端末情報]→[端末の状態]と操作して、IMEI欄を確認

■ クイックオープンボタン

ボタンを押すと本製品を開くことができます。
・ボタンを使用しないで開くこともできます。



- ◎ 本製品を手に持って操作してください。本製品を開くときに自分の顔、人や物などの近くで開かないでください。また、開くときの反動で本製品を落としたりしないようにご注意ください。
- ◎ 本製品の向きによっては、クイックオープンボタンを押しても完全に開かない場合があります。
- ◎ 本製品を閉じるときは手で閉じてください。閉じられない場合は、本製品を完全に開いた状態にしてから、もう一度閉じてください。

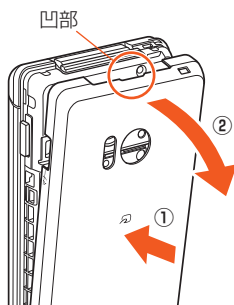
電池パックを取り付ける／取り外す

電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
・本製品専用の電池パックをご利用ください。

電池パックを取り付ける

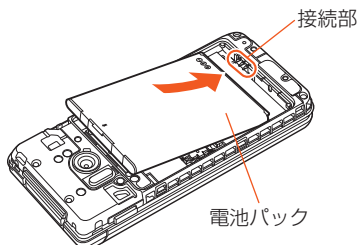
1 背面カバーを取り外す

背面カバーの中央部を押さえながら①凹部に指先(爪など)をかけ、矢印の方向②に引いて背面カバーを取り外します。
取り外しにくい場合は本体と背面カバーの隙間に指先などをかけて背面カバーを持ち上げ、隙間を広げてから取り外してください。



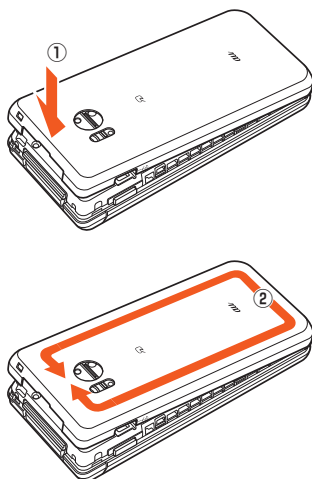
2 電池パックを取り付ける

本体の接続部の位置を確かめて、電池パックを矢印の方向へ確実に押し込みます。



3 背面カバーを取り付ける

背面カバーを本体に合わせて置き①、矢印の方向②に指でしっかり押さえて装着します。



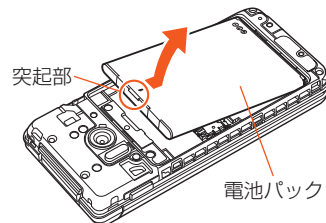
- ◎ au ICカードが確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。
- ◎ 防水／防塵性能を保つために、背面カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。
- ◎ 間違った取り付けかたをすると、電池パックおよび背面カバー破損の原因となります。

電池パックを取り外す

1 本体裏面の背面カバーを取り外す

2 電池パックを取り外す

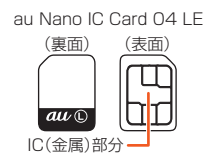
電池パックの突起部に指先(爪など)をかけて、矢印の方向に持ち上げて取り外します。



3 背面カバーを取り付ける

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Nano IC Card O4 LEに対応しております。



- ◎ au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ au ICカードのIC(金属)部分には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ au ICカードを正しく取り付けていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

■ au ICカードが挿入されていない場合

au ICカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。

- ・ 電話をかける※／受ける
 - ・ SMSの送受信
 - ・ Eメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定および送受信
 - ・ SIMカードロック設定
 - ・ 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認
- 上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

※ 110番(警察)・119番(消防機関)・118番(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、海外では発信可能な場合があります(緊急通報番号は国によって異なるため、発信してもつながらない場合もあります)。

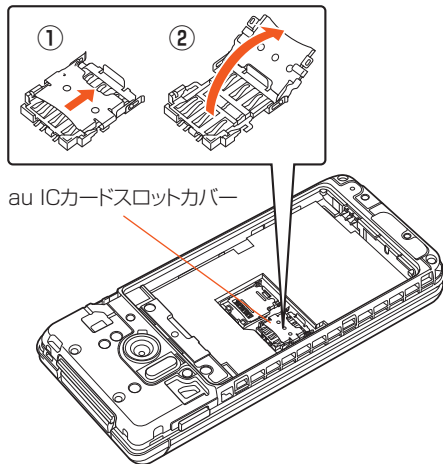
au ICカードを取り付ける／取り外す

au ICカードを取り付ける

au ICカードの取り付けは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

1 au ICカードスロットカバーを下に軽く押しながらスライドさせてロックを外し(①)、開く(②)

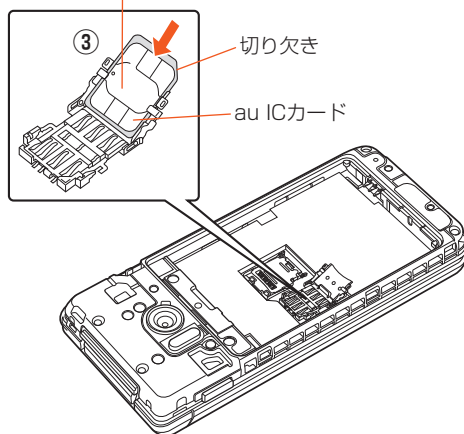
カチッと音がするまで、au ICカードスロットカバーをスライドさせてください。



2 au ICカードのIC(金色)面を上に向けてゆっくりと挿入する(③)

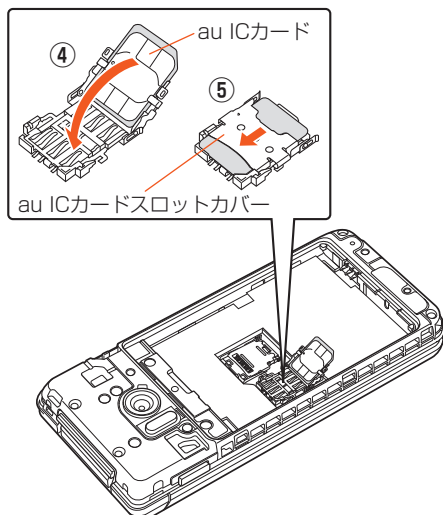
切り欠きの方向にご注意ください。

IC(金属)部分を上に



3 au ICカードスロットカバーを閉じ(④)、下に軽く押しながらスライドさせてロックする(⑤)

カチッと音がするまで、au ICカードスロットカバーをスライドさせてください。

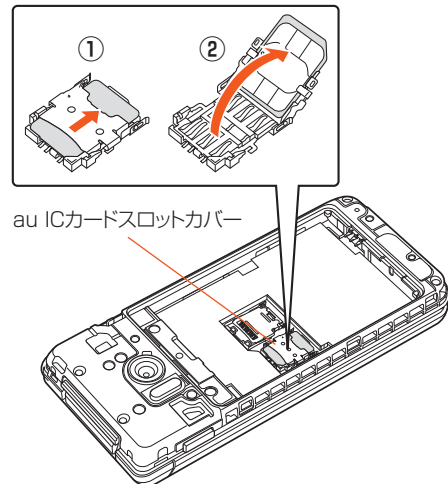


4 電池パックを取り付け、背面カバーを装着する(▶P.19)

au ICカードを取り外す

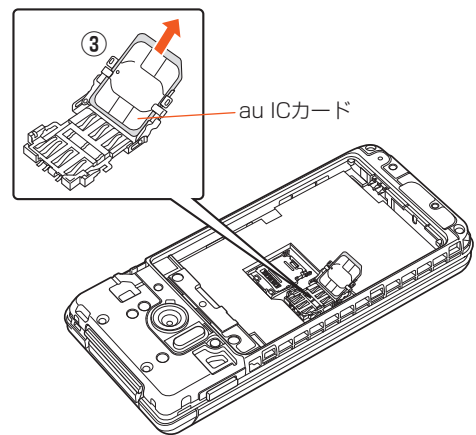
au ICカードの取り外しは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

1 au ICカードスロットカバーを下に軽く押しながらスライドさせてロックを外し(①)、開く(②)

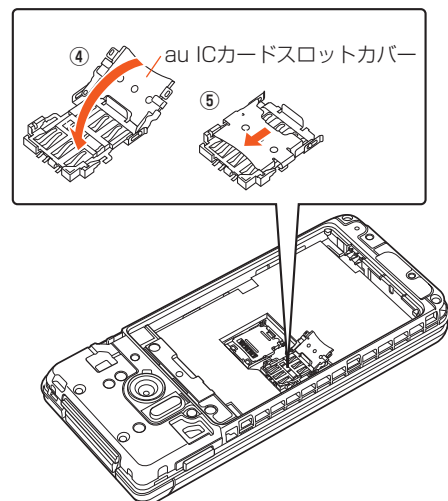


2 au ICカードを取り外す(③)

ゆっくりとまっすぐに取り外してください。



3 au ICカードスロットカバーを閉じ(④)、下に軽く押しながらスライドさせてロックする(⑤)




4 電池パックを取り付け、背面カバーを装着する(▶P.19)

充電する

充電について

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

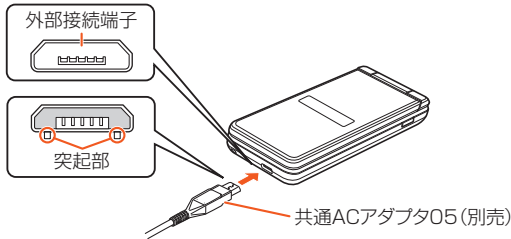
・充電中は充電／着信ランプが赤色に点灯し、電池マークに⚡が重なって表示されます。約95%まで充電されると充電／着信ランプが緑色に点灯します。充電が完了すると、充電／着信ランプが消灯します。

- ◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ 操作方法や使用環境によっては、本製品の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際、安全のため充電が停止することがあります。
- ◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
- ◎ 指定の充電用機器（別売）を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、電池パックの寿命が短くなります。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。
- ◎ 充電／着信ランプが赤色に点滅したときは、電池パックの取り付け（▶P.19）、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- ◎ 充電中、充電／着信ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。

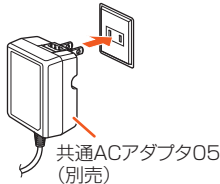
指定のACアダプタ（別売）を使って充電する

共通ACアダプタ05（別売）を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ（別売）については、「周辺機器のご紹介」（▶P.98）をご参照ください。

1 本製品の外部接続端子に共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBプラグを、向きを確認して矢印の方向に差し込む



2 共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む



3 充電が終わったら、本製品の外部接続端子から共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く

4 共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

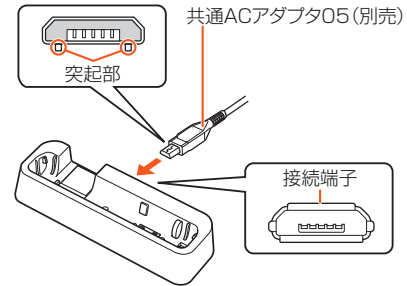
◎ 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。

卓上ホルダ（別売）と指定のACアダプタ（別売）を使って充電する

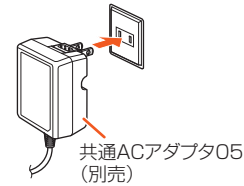
卓上ホルダ（別売）と共通ACアダプタ05（別売）を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ（別売）については、「周辺機器のご紹介」（▶P.98）をご参照ください。

1 卓上ホルダ（別売）の接続端子に共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBプラグを差し込む

microUSBプラグの向きを確認して、矢印の方向に差し込んでください。

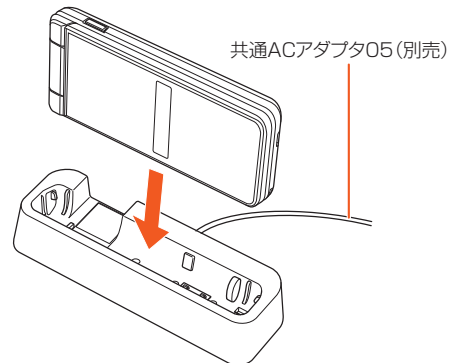


2 共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む



3 本製品を卓上ホルダ（別売）に取り付ける

本製品を開いて図のように取り付けてください。



4 充電が終わったら、本製品を卓上ホルダ（別売）から取り外し、共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

卓上ホルダ（別売）から本製品を取り外すときは、卓上ホルダ（別売）を押さえながら外してください。

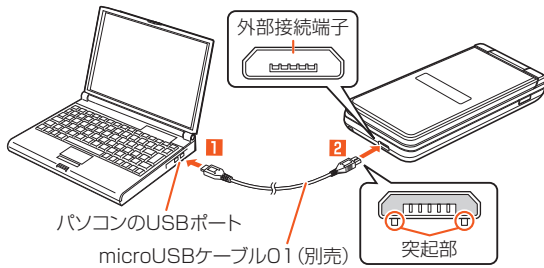
卓上ホルダ（別売）から共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBプラグを取り外すときは、まっすぐ引き抜きます。

◎ 卓上ホルダ（別売）をご利用の際は、必ず指定の充電用機器（別売）を接続してください。パソコンやポータブル充電器など、指定以外のものを卓上ホルダ（別売）に直接接続すると故障の原因になりますので、接続しないでください。

パソコンを使って充電する

本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

- 1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01(別売)をパソコンのUSBポートに接続
- 2 microUSBケーブル01(別売)を本製品に接続



- ◎ USB充電を行った場合、指定のACアダプタ(別売)での充電と比べて時間が長くなる場合があります。
- ◎ 本製品の外部接続端子にmicroUSBプラグを差し込む場合は、突起部を下にしてまっすぐに差し込んでください。microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本製品の外部接続端子が破損することがあります。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電/着信ランプが点灯しない場合があります。その場合は、指定のACアダプタ(別売)を使用して充電してください。

電源を入れる/切る

電源を入れる

- 1 電源が切れた状態で \square (2秒以上長押し)

電源を切る

- 1 \square (2秒以上長押し)

- 2 [電源を切る]

再起動する

本製品の電源をいったん切り、再度起動します。

- 1 \square (2秒以上長押し)

- 2 [再起動]

強制的に電源を切る

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切ることができます。

- 1 \square (8秒以上長押し)

パイプレータが振動した後、手を離すと電源が切れます。

- ◎ 強制的に電源を切ると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

セーフモードで起動する

本製品の電源をいったん切り、お買い上げ時に近い状態で起動します。本製品の動作が不安定になった場合、お買い上げ後にインストールしたアプリケーションが原因の可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合、インストールしたアプリケーションをアンインストールすると症状が改善されることがあります。

- 1 \square (2秒以上長押し)

- 2 「電源を切る」を選択→ \odot (長押し)→[OK]

セーフモードで起動すると、画面下部に「セーフモード」と表示されます。

セーフモードを終了するには再起動してください。

- ・セルフチェック(▶P.60)のトップ画面で \odot (セーフモード)→[OK]と操作しても、セーフモードで再起動できます。

- ◎ 電源が切れているときは、 \square (2秒以上長押し)で電源を入れ、起動中の画面で待受画面が表示されるまで \square を押す続けると、セーフモードで起動することができます。

- ◎ セーフモードで起動する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。

- ◎ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合はセーフモードを終了してください。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行います。

詳しくは、本製品同梱の「設定ガイド」をご参照ください。

- 1 文字サイズを選択→ \odot →着信中に本製品を開いたときの動作について確認→ \odot (次へ)→内容を確認→ \odot (次へ)

- 2 内容を確認→[OK]→[同意して次へ]

以降の操作は画面の指示に従ってください。

基本操作

基本操作	24
タッチクルーザーEXを利用する	24
拡大鏡を利用する	24
待受画面を利用する	25
本製品の状態を知る	25
充電／着信ランプについて	26
サブディスプレイを利用する	26
ノーマルメニューを利用する	27
シンプルメニューを利用する	28
クイック起動キーを利用する	29
アプリ履歴画面を利用する	30
共通の操作を覚える	30
文字入力	31
文字入力の方法を覚える	31
文字入力の方法	32
2タッチ入力を利用する	32
文字入力のサブメニューを利用する	33
文字入力について設定する	33







基本操作

タッチクルーザーEXを利用する

本製品のタッチエリアを指で触れることでタッチパッドのように操作できます(タッチクルーザーEX)。タッチクルーザーEXに対応した機能/アプリを起動してタッチクルーザーEXを有効にすると、画面に表示されるポインタを操作できるようになります。

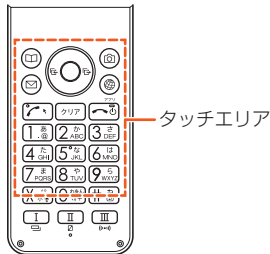
1 タッチクルーザーEXに対応した機能/アプリを起動

2 (2秒以上長押し)

- タッチクルーザーEXが有効になり「」(ポインタ)が表示されます。
- 機能/アプリによっては、起動すると自動的にタッチクルーザーEXが有効になります。
 - タッチクルーザーEXの操作説明画面が表示された場合は、を押してください。「今後表示しない」にチェックマークを入れてを押すと、次回以降の起動時に操作説明画面を表示しないようにできます。
 - を長押しすることによりタッチクルーザーEXの有効/無効を切り替えられます。
 - 有効にするとステータスバーにが表示されます(無効の場合は)。タッチクルーザーEXを無効にしたまま機能/アプリを終了すると、再度タッチクルーザーEXに対応した機能/アプリを起動してもタッチクルーザーEXは有効になりません。
 - タッチクルーザーEXに対応した機能/アプリを終了するとタッチクルーザーEXは無効になります。
 - タッチクルーザーEXが有効の場合でも、キー操作は可能です(一部のアプリを除く)。

タッチクルーザーEXの操作について

ブラウザやLINEなどを操作するとき画面のポインタをマウスのように操作できます。






■ タップ/ダブルタップ

タッチエリアに軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

- ポインタが重なっている項目やアイコンを選択します。静止画表示中などにダブルタップすると、画面を拡大/縮小します。拡大/縮小の操作は画面に表示されているポインタを起点に行われます。あらかじめ拡大/縮小したい位置にポインタを移動してから操作してください。





■ ロングタッチ

タッチエリアに軽く触れて、指を離さない状態を保ちます。「」の表示が「」に変わります。タッチエリアをタップするか、指を離して数秒間操作をしないと「」に戻ります。

- メニューの表示などを行います。





■ スライド

タッチエリアをロングタッチして「」を「」にします。タッチエリアに指を軽く触れたまま、目的の方向や位置へなぞります。

- 目的の方向へなぞって画面のスクロールやページの切り替えを行います。



■ フリック

タッチエリアをロングタッチして「」を「」にします。タッチエリア上で指をすばやく上下左右にはらうように操作します。

- 目的の方向へはらって画面のすばやきスクロールやページの切り替えなどを行います。




■ ピンチ

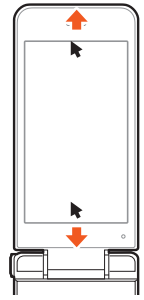
2本の指でタッチエリアに触れたまま指を開いたり(ピンチアウト)、閉じたり(ピンチイン)します。

- ブラウザなどで画面を拡大/縮小します。



■ 自動スクロール

「」を画面端まで移動させた状態で、さらに外側方向へ指をなぞる(スライド)と、自動で画面がスクロールし、指を離すとスクロールが止まります。自動スクロール中に画面のスクロール方向に指をなぞる(スライド)と、スクロールが速くなります。





- タッチエリアは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先のとがったもの(ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチエリアに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・手袋をしたままでの操作
 - ・爪の先での操作
 - ・異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・シールなどを貼った状態での操作
 - ・水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・濡れた指または汗で湿った指での操作
 - ・水中での操作

■ 拡大鏡を利用する

画面の一部を大きく表示することができます。

1 各アプリケーションの画面で→タッチエリア部分を指でなぞって拡大鏡を移動

- ・拡大鏡の操作説明画面が表示された場合は、を押してください。「今後表示しない」にチェックマークを入れてを押すと、次回以降の起動時に操作説明画面を表示しないようにできます。

■ 拡大鏡を終了する

1 拡大鏡利用中に

- 待受画面や一部のアプリケーションでは利用できません。

待受画面を利用する

待受画面では、本製品の状態を確認できます。

■ 待受画面の見かた



《待受画面》

- ① ステータスバー
- ② 時計
- ③ カレンダー
- ④ 通知アイコン
不在着信通知や未読のEメール/SMS、お知らせ通知が表示されます。
- ⑤ かんたん発信アイコン
表示中はかんたん発信(音声認識)で電話をかけることができます。(▶P.37)
- ⑥ 歩数
- ⑦ ショートカット
「お気に入り」の1~4に登録したアプリがショートカットとして表示されます。(▶P.25)
- ⑧ クイック起動キーの登録内容

■ お気に入りを利用する

よく使うアプリやブックマークなどを登録して、待受画面からすばやく起動できます。お気に入りは最大10件まで登録できます。

- 1 待受画面で(+)→(+) (編集)
お気に入り一覧画面が表示されます。
- 2 お気に入りを選択→(○)
選択したアプリが起動/ブックマークのサイトを表示します。

■ お気に入りに登録する

- 1 お気に入り一覧画面で登録する番号を選択
・「未登録」を選択すると新しく登録できます。すでにお気に入りが登録されている場合は新しいものに置き換わります。
- 2 (+) (サブメニュー)→[登録]
- 3 登録するアプリやブックマークを選択→(○)

■ お気に入りから解除する

- 1 お気に入り一覧画面で解除するアプリやブックマークを選択
- 2 (+) (サブメニュー)→[解除]→[はい]

■ 待受画面の通知アイコン/ショートカットを利用する

待受画面に表示された通知アイコンやショートカットからアプリを利用できます。

- 1 待受画面で(+)→項目を選択→(○)
・通知アイコンを選択すると通知内容が吹き出しで表示されます。
・待受画面のカレンダーや歩数計も同様の操作で選択し、利用できます。

■ インフォメーションを利用する

不在着信通知や未読のEメール/SMS、お知らせ通知があると、待受画面の下部にインフォメーションが表示されます。



- 1 通知を選択→(○)
通知内容に対応するアプリケーションが起動します。
・(+) (閉じる) / [戻る] / [ホーム] を押すとインフォメーションを閉じます。

本製品の状態を知る

■ アイコンについて

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせするお知らせアイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主なお知らせアイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり
	アラーム鳴動中、スヌーズ中
	カレンダーの予定通知あり
	ワンセグの電波の強さ ◻~◻: レベル表示
	音楽再生中
	発信中、通話中、着信中
	auのVoLTE対応機種と高音質通話中
	通話保留中
	伝言メモあり
	本体メモリの空き容量低下
	USBデザリング利用中
	Wi-Fi®デザリング利用中
	Bluetooth®ファイル受信リクエストあり
	データのアップロード/ダウンロード、送受信など ↑: データのアップロード、送信時 ↓: データのダウンロード、受信時
	ソフトウェア更新情報あり
	まとめられたアイコンあり
	タッチクルーザーEX起動中/無効
	テレビde写真起動中

◎ アイコンによっては件数が重なって表示されます。

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
	時刻
	アラーム設定あり
	電池レベル状態 ◻~◻: 残量表示 ◻~◻: 残量なし ・充電中は電池マークに⚡が重なって表示されます。
	機内モード設定中
	電波の強さ(受信電界) ◻~◻: レベル表示 ◻: 圏外 ・ネットワークを示すアイコンが左上に表示されます。 ◻: 4G(LTE)使用可能 ◻: ローミング中 ・通信中は⚡が重なって表示されます。
	文字種 かな入力方式 あ: 漢字入力 AB: 半角英字入力 12: 半角数字入力 あ: 半角カタカナ入力 A: 全角英字入力 1: 全角数字入力 あ: 全角カタカナ入力 区: 区点コード入力 2タッチ(ボケベル)方式 あ: 全角入力(大文字モード) あ: 全角入力(小文字モード) あ: 半角入力(大文字モード) あ: 半角入力(小文字モード) あ: 半角英字入力 12: 半角数字入力 A: 全角英字入力 1: 全角数字入力
	マナーモード状態 ◻: 通常マナー ◻: ドライブマナー ◻: サイレントマナー
	ハンズフリーで通話中
	着信音量を「サイレント」に設定中
	通話中のマイクを「ミュート」に設定中
	Wi-Fi®の電波の強さ ◻~◻: レベル表示 ・通信中は⚡が重なって表示されます。
	Bluetooth®利用中 ◻: 待機中 ◻: 接続中
	伝言メモ設定中 ◻: 伝言メモなし ◻: 伝言メモあり(1~29件) ◻: 伝言メモがいっぱい(30件)
	位置情報をGPSで測位中
	おサイフケータイ®機能をロック中

お知らせ／ステータスパネルを利用する

お知らせ／ステータスパネルでは、お知らせアイコンやステータスアイコンの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。また、マナーモードを設定している場合は、モードの変更や伝言メモの確認ができます。

1 待受画面で(1)→ステータスバーを選択→(2)

2 お知らせを選択→(3)

お知らせ内容に対応するアプリケーションが起動されます。

■ お知らせ／ステータスパネルの見かた



《お知らせ／ステータスパネル》

① ミュージックコントローラ

LISMOで音楽再生時に表示されます。

② お知らせエリア

本製品の状態やお知らせの内容を確認できます。

■ お知らせを操作する

1 お知らせ／ステータスパネル画面で操作したいお知らせを選択→(1)

お知らせの内容にあった操作項目が表示されます。

2 操作項目を選択→(2)

お知らせに対応したアプリケーションを起動したりできます。

■ お知らせを1件削除する

1 お知らせ／ステータスパネル画面で削除したいお知らせを選択→(3) (サブメニュー)→[通知1件消去]

■ お知らせを全件削除する

1 お知らせ／ステータスパネル画面で(4) (サブメニュー)→[通知全件消去]

・電池残量表示や電波強度表示など、削除ができない通知もあります。

充電／着信ランプについて

充電／着信ランプの点灯／点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。

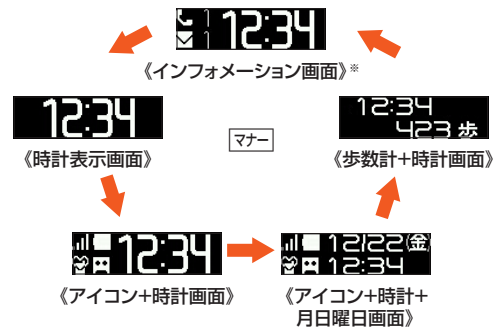
ランプの色と動作	通知内容
赤の点灯	充電中
緑の点灯	約95%まで充電完了
緑の点滅*	着信時
青の点滅*	不在着信、通知メッセージあり

* お買い上げ時の設定です。「マナー・音・バイブの設定をする」(▶P.82)で設定を変更できます。

サブディスプレイを利用する

サブディスプレイは、マナーモードや電池残量などの端末の状態、日付・時間、着信相手などの情報を表示してお知らせします。
(5)を押すと表示の切り替えができます。

■ サブディスプレイの見かた



* 不在着信や新着メールなどの通知がある場合に表示されます。

■ 主なアイコン

アイコン	概要
	電波の強さ(受信電界) ■強/■中/■弱/■微弱/■圏外 ※ 機内モード設定時には表示されません。
	電池レベル表示 □~■:残量表示 □:残量なし ・充電中は電池マークに(6)が重なって表示されます。
	不在着信 ・着信件数が表示されます。
	☑:新着メール(Eメール/SMS) ・新着件数が表示されます。
	伝言メモ設定中 ・未確認の伝言メモ件数が表示されます。
	アラーム鳴動中
	機内モード設定中

■ 各種情報表示

	状態	表示
音声着信中	電話帳登録あり	「着信中」 登録名*
	電話帳登録なし	「着信中」 電話番号*
	伝言メモ	応答中:「伝言メモガイダンス中」 録音中:「伝言メモ録音中」
通話中	通話中	「通話中」
	音声メモ	「音声メモ録音中」
メール受信	電話帳登録あり	「メール受信」 登録名*
	電話帳登録なし	「メール受信」 メールアドレス*または 差出人名称*
SMS受信		「メッセージ受信」 「新着SMS(O件)」*
アラーム	アラーム鳴動時	アラーム時刻 アラーム名
	スヌーズ作動中	アラーム時刻 「スヌーズ中」
緊急速報		「緊急速報」
マナーモード	設定時:通常マナー	「通常マナーを設定しました」
	設定時:ドライブマナー	「ドライブマナーを設定しました」
	設定時:サイレントマナー	「サイレントマナーを設定しました」
	解除時:通常マナー	「通常マナーを解除しました」
	解除時:ドライブマナー	「ドライブマナーを解除しました」
LINEアプリ通知		LINEアプリから通知されるメッセージが表示されます。

* サブディスプレイの「着信相手表示」を「表示しない」に設定した場合は表示されません。

ノーマルメニューを利用する

ノーマルメニューでは、アプリケーションがメニューごとに表示されます。メニューを選択してから項目を選択すると、アプリケーションを起動できます。

1 待受画面で○

ノーマルメニューが表示されます。

2 メニューを選択→○

メニューはダイヤルキー(0)~(9)、[*]、[#]に対応しており、各キーを押してメニューを選択することもできます。

3 アプリケーションを選択→○

■ ノーマルメニューの見かた



◀(ノーマルメニュー)

◎ お買い上げ時のノーマルメニューは「タイル表示」に設定されています。リスト表示に切り替えるには、ノーマルメニューで◎(表示切替)→[リスト表示]と操作します。

■ ノーマルメニュー一覧

メニュー	概要
auスマートバス	最新ニュースや乗換案内などのデイリーツールはもちろん、「auスマートバス」を最大限活用するためのポータルアプリです。アプリ取り放題、お得なクーポンやプレゼント、データのお預かりサービスやセキュリティソフトなど、携帯電話を安心・快適にご利用いただけます。(▶P.62) auスマートバスのアプリ取り放題に対応したアプリを取得できます。
安心 安全	
My au	auのご利用料金、データ通信量、ご契約内容、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種お手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。
au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報、特別警報)、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができます。
データお預かり	写真やアドレス帳など携帯電話に保存されている様々なデータをauのサーバに預けたり、SDカードに保存したりするアプリです。機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用いただけます。(▶P.62)
遠隔操作サポート	「スマートフォン」「タブレット」「携帯電話」などの操作で困ったとき、お客様の端末の画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。(▶P.61)
あんしんフィルター for au	お子さまが「スマートフォン」「タブレット」「携帯電話」などを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。(▶P.61)
au WALLETT	au WALLETTをより便利に使いこなすためのアプリです。 au WALLETTプリペイドカードへのチャージやカード残高の確認、au WALLETTクレジットカードの請求額の確認、auかんたん決済の情報の確認、ポイントの残高・お買い物履歴・特典の確認などをご利用いただけます。
カメラ	
カメラ	静止画を撮影できます。(▶P.56)
ビデオカメラ	動画を撮影できます。(▶P.57)
バーコードリーダー	バーコードにカメラをかざして情報を読み取ることができます。(▶P.58)
データフォルダ	撮影した静止画/動画、ダウンロードしたファイルなどを確認できます。
ブラウザ	パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。(▶P.52)

メニュー	概要
アプリ サービス	
LISMO	端末内の楽曲の再生や、Music Storeの楽曲の試聴、購入した楽曲のダウンロードができるアプリです。(▶P.68)
Music Store	たくさんの最新曲や人気曲、アルバム、ビデオクリップが揃い、試聴を楽しめ、かんたんに購入できるアプリです。
au WALLETT Market	au WALLETT Marketは、日常生活をより豊かにする「こだわりのもの」をお店でもネットでも気軽にご購入いただける、「お買い物上手」なショッピングサービスです。
ウイルスバスター for au	不正アプリのインストールを防止したり、不適切なサイトへのアクセスをブロックできるアプリです。
うたパス	最新J-POPやカラオケ人気曲、アニソン、洋楽など3000以上のプレイリストが聴き放題、いつでも、どんな気分でもピッタリな楽曲と出会えるラジオ型音楽サービスです。
au助手席ナビ	最新のVICS渋滞情報や交通状況を考慮して、目的地までの最適ルートを案内するカーナビゲーションアプリです。
Wowma!	日用品・グルメ・ファッションから家電まで2800万品の品ぞろえからお買い物を楽しめるau公式のショッピングアプリです。
auナビウォーク	乗物・徒歩を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。
テレビde写真	テレビde写真受信機(別売)をテレビに接続して、本製品に保存されている写真などをワイヤレスでテレビに映すことができます。
モバオク	オークションサイト「モバオク」に接続します。
モバイルSuica	モバイルSuicaは、携帯情報端末で電車に乗れる、買いたいものができるサービスです。(▶P.62)
楽天Edyアプリ	お買い物のお支払で使える電子マネーです。
どこから電話 for au	公共施設やお店・企業からの着信のとき、ホームページなどの情報をもとに自動で名前を表示します。また、振り込め詐欺や悪質な勧誘などの迷惑電話の着信に対して警告を表示させたり、自動で着信を拒否することができますので、知らない番号でも安心して電話に出られます。
SHSHOW	コンテンツのダウンロードや閲覧などができます。(▶P.60)
ツール	
アラーム	アラームを利用できます。(▶P.66)
カレンダー	カレンダーを利用できます。(▶P.66)
メモ帳	メモ帳を利用できます。(▶P.65)
電卓	電卓を利用できます。(▶P.68)
歩数計	歩数計を利用できます。(▶P.67)
赤外線	本製品と赤外線通信機能を持つ相手側の機器との間でデータを送受信できます。(▶P.76)
ボイスレコーダー	ボイスレコーダーを利用できます。(▶P.68)
おサイフケータイ	おサイフケータイ®対応サービスを利用できます。(▶P.78)
テレビ	モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを見ることができます。(▶P.64)
タイマー	タイマーを利用できます。(▶P.67)
ストップウォッチ	ストップウォッチを利用できます。(▶P.67)
au Wi-Fi接続ツール	auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。(▶P.68)
auシェアリンク	携帯電話とタブレットを便利に使えるようにするアプリです。携帯電話への電話着信やEメール(@ezweb.ne.jp)などの通知をタブレットに表示したり、携帯電話をタブレット画面から操作するといった使いかたが可能です。(▶P.68)
安心ナビ(探される)	お子さまの居場所を確認できるようにするためのアプリです。保護者の方の端末からパートナー登録を行うことでご利用いただけます。
mamorino Watch ナビ	mamorino WatchとBluetooth®で接続(ペア登録)することで、アプリからの電話発信・SMS(メッセージ)送信・mamorino Watchの各種設定などを行うことができます。(▶P.68)
世界時計	世界時計を利用できます。(▶P.67)
PCメール	普段パソコンなどで利用しているメールアカウントでメールを送受信できます。(▶P.50)
タッチクルーザーEX 操作ガイド	タッチクルーザーEXの操作方法を表示します。(▶P.24)
ウィジェットシート	ウィジェットを貼り付けて利用できます。
LINE	LINEはいつでも、どこでも、好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。(▶P.68)

メニュー	概要
電話 メール	
着信／発信履歴	着信や発信の履歴画面を閲覧できます。(▶P.37)
電話帳	電話帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用できます。(▶P.40)
音声・伝言メモ	音声・伝言メモを再生します。(▶P.39)
お留守番サービス再生	伝言・ボイスメールを再生します。(▶P.88)
通話設定	通話に関する設定をします。(▶P.39)
ペア機能	ペア機能を利用できます。(▶P.37)
スピードダイヤル	スピードダイヤルの一覧を表示します。(▶P.37)
かんたん発信(音声認識)	かんたん発信(音声認識)の設定ができます。(▶P.37)
Eメール	Eメール(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができます。(▶P.42)
SMS	電話番号を宛先としてSMSの送受信ができます。(▶P.49)
プロフィール	プロフィールの確認や編集ができます。(▶P.38)
設定	設定メニューから各種機能を設定、管理します。(▶P.81)

※追加でダウンロードしたアプリは「アプリ取り放題」(▶P.28)に表示されます。

- ◎ アプリケーションを起動してそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- ◎ アプリケーションのバージョンアップなどによって、本製品に搭載されるアプリケーションやアイコンなどのデザインが本書の記載と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◎ 本製品を初期化しても、プリセットされているアプリケーションは削除されません。

アプリについて

「アプリ・サービス」では本製品をお買い上げ時にインストール済みのアプリと追加でダウンロードしたアプリケーションを使用できます。

- 1 待受画面で◎→[アプリ サービス]
アプリ・サービス一覧画面が表示されます。

タブを切り替える

- 1 アプリ・サービス一覧画面で◎
「プリセット」/「アプリ取り放題」タブが切り替わります。

アプリを検索する

- 1 アプリ・サービス一覧画面で◎(アプリ検索)
auスマートパスのサイトが表示されますので、画面に従ってアプリを検索、ダウンロードしてください。

シンプルメニューを利用する

電話やメール、カメラなどよく使う機能をまとめたメニューを利用できます。

- 1 ノーマルメニューで◎(表示切替)→[シンプルメニュー]→[はい]→[はい]
シンプルメニューに切り替わります。文字サイズが「最大」になります。
- 2 メニューを選択→◎
- 3 アプリケーションを選択→◎

ノーマルメニューに戻す

- 1 シンプルメニューで◎(表示切替)→[タイトル表示]/[リスト表示]→[はい]→[はい]
ノーマルメニューに切り替わります。文字サイズが「中」になります。

シンプルメニューの見かた



〈シンプルメニュー〉

シンプルメニュー一覧

メニュー	概要
電話	
電話帳	電話帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用できます。(▶P.40)
着信／発信履歴	着信や発信の履歴画面を閲覧できます。(▶P.37)
音声・伝言メモ	音声・伝言メモを再生します。(▶P.39)
お留守番サービス再生	お留守番サービスを再生します。(▶P.88)
ペア機能	ペア機能を利用できます。(▶P.37)
自分の電話番号	自分の電話番号などを表示します。(▶P.38)
メール	
Eメールの作成	Eメール(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送信ができます。(▶P.43)
Eメール	受信したEメールを確認できます。(▶P.44)
SMSの作成	電話番号を宛先としてSMSの送信ができます。(▶P.49)
SMS	受信したSMSを確認できます。(▶P.49)
ブラウザ	パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。(▶P.52)
カメラ	
写真を撮る	静止画を撮影できます。(▶P.56)
写真を見る	撮影した静止画を確認できます。(▶P.58)

メニュー	概要
便利ツール	
LINE	LINEはいつでも、どこでも、好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。(▶P.68)
アラーム	アラームを利用できます。(▶P.66)
カレンダー	カレンダーを利用できます。(▶P.66)
メモ帳	メモ帳を利用できます。(▶P.65)
電卓	電卓を利用できます。(▶P.68)
歩数計	歩数計を利用できます。(▶P.67)
赤外線	本製品と赤外線通信機能を持つ相手側の機器との間でデータを送受信できます。(▶P.76)
ボイスレコーダー	ボイスレコーダーを利用できます。(▶P.68)
バーコードリーダー	バーコードにカメラをかざして情報を読み取ることができます。(▶P.58)
おサイフケータイ	おサイフケータイを利用できます。(▶P.78)
テレビ	モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを見ることができます。(▶P.64)
au Wi-Fi接続ツール	auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。(▶P.68)
auシェアリンク	携帯電話とタブレットを便利に使えるようにするアプリです。携帯電話への電話着信やEメール(@ezweb.ne.jp)などの通知をタブレットに表示したり、携帯電話をタブレット画面から操作するといった使いかたが可能です。(▶P.68)
安心ナビ(探される)	お子さまの居場所を確認できるようにするためのアプリです。保護者の方の端末からパートナー登録を行うことでご利用いただけます。
mamorino Watch ナビ	mamorino WatchとBluetooth®で接続(ペア登録)することで、アプリからの電話発信・SMS(メッセージ)送信・mamorino Watchの各種設定などを行うことができます。(▶P.68)
My au	auのご利用料金、データ通信量、ご契約内容、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種お手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。
au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報、特別警報)、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができます。
データお預かり	写真やアドレス帳など携帯電話に保存されている様々なデータをauのサーバに預けたり、SDカードに保存したりするアプリです。機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。(▶P.62)
遠隔操作サポート	「スマートフォン」「タブレット」「携帯電話」などの操作で困ったとき、お客様の端末の画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。(▶P.61)
あんしんフィルター for au	お子さまが「スマートフォン」「タブレット」「携帯電話」などを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。(▶P.61)
どこから電話 for au	公共施設やお店・企業からの着信のとき、ホームページなどの情報をもとに自動で名前を表示します。また、振り込め詐欺や悪質な勧誘などの迷惑電話の着信に対して警告を表示させたり、自動で着信を拒否することができますので、知らない番号でも安心して電話に出られます。
auスマートパス	最新ニュースや乗換案内などのデ일리ーツールはもちろん、「auスマートパス」を最大限活用するためのポータルアプリです。アプリ取り放題、お得なクーポンやプレゼント、データのお預かりサービスやセキュリティソフトなど、携帯電話を安心・快適にご利用いただけます。(▶P.62)
au WALLETT	au WALLETTをより便利に使いこなすためのアプリです。au WALLETTプリペイドカードへのチャージやカード残高の確認、au WALLETTクレジットカードの請求額の確認、auかんたん決済の情報の確認、ポイントの残高・お買い物履歴・特典の確認などをご利用いただけます。
タッチクルーザーEX 操作ガイド	タッチクルーザーEXの操作方法を表示します。(▶P.24)
アプリ・サービス	「アプリ サービス」メニュー(▶P.27)から各種アプリやサービスを利用できます。
設定	設定メニューから各種機能を設定、管理します。(▶P.81)

クイック起動キーを利用する

よく使う電話番号やお気に入りの機能をクイック起動キーに登録し、キーを押すだけですばやく起動することができます。

クイック起動キーに登録する

1 待受画面で◎→[設定]→[クイック起動キー]

2 登録するキーを選択→◎(編集)→機能を選択

- 登録を解除するには、解除するキーを選択→◎(サブメニュー)→[解除]→[はい]と操作します。

クイック起動キーに登録した機能を利用する

1 I / II / III

- 押し下げるキーに機能が登録されていない場合は、登録確認画面が表示されます。
- クイック起動キーを長押しすると、以下の機能を利用できます。
 - I: アプリ履歴を表示(▶P.30)
 - II: のぞき見防止のON/OFF切り替え(▶P.82)
 - III: Wi-FiテザリングのON/OFF切り替え(▶P.75)

アプリ履歴画面を利用する

起動したアプリの履歴を表示し、アプリを切り替えながら操作できます。

- 1 **I** (1秒以上長押し)
アプリ履歴画面が表示されます。

■ アプリ履歴画面の見かた



- 1 アプリの履歴
- 2 Wi-Fi®/Bluetooth®アイコン
 - Wi-Fi®がON
 - Wi-Fi®がOFF
 - Bluetooth®がON
 - Bluetooth®がOFF

- 複数のアプリケーションを起動している場合、実行用メモリを効率的に使用するため、バックグラウンドのアプリケーションを自動的に終了する場合があります。
- バックグラウンドのアプリケーションによっては、連続待受時間が短くなったり、動作が遅くなったりする場合があります。
- ◎ (アプリ一覧) を押すと、アプリ一覧が表示されます。◎ (待ち受け) を押すと、待受画面が表示されます。

■ アプリケーションを切り替える

- 1 **アプリ履歴画面で切り替えるアプリケーションを選択**→◎
◎ (お気に入り) →アプリケーションを選択→◎と操作するとお気に入りに登録したアプリケーションを起動できます。(▶P.25)

■ アプリケーションを履歴から削除する

- 1 **アプリ履歴画面で削除するアプリケーションを選択**→◎ (サブメニュー) → [1件削除]

■ Wi-Fi®/Bluetooth®のON/OFFを切り替える

- 1 **アプリ履歴画面でWi-Fi®/Bluetooth®アイコンを選択**→◎
◎を押すたびにON/OFFが切り替わります。

共通の操作を覚える

■ 基本的なキー操作を覚えよう

■ 画面の最下行に表示された内容を実行するには

画面の最下行に表示された内容を実行するには、対応するキーを押します。



- 1 「完了」は、◎を押します。
- 2 「サブメニュー」は、◎を押します。
- 3 「あA1」は、◎を押します。
- 4 「絵・記・顔」は、◎を押します。
- 5 「範囲選択」は、◎を押します。

■ 項目を選択するには

表示された項目を選択するには、①や②で項目を選択して◎を押します。メニューに[○]~[9]、[✕]、[#]などが表示されている場合は、対応するダイヤルキーを押しても選択できます。

- ◎を押しても、項目を選択できる場合があります。

■ 1つ前の画面に戻るには

- ◎を押すと、1つ前の画面に戻ることができます。
- ◎/◎/◎を押しても、戻ることができる場合があります。

■ 待受画面に戻るには

- 各機能から待受画面に戻るには、◎を押します。
- 一定時間キー操作をしないと、自動的に待受画面に戻る場合があります。
- 通話中に各機能を呼び出している場合は、通話が切れることがあります。
- 操作中の機能やアプリケーションが終了します。

■ 数字を入力するには

- [○]~[9]を押すと、数字を入力できます。
- 数字を入力する欄の上下に「▲」と「▼」が表示されている場合は、◎を押すことで、数を増減できます。

■ 前後のデータへ移動するには

- メール表示中などに、◎を押すと次のデータへ、◎を押すと前のデータへ移動できます。

■ ページスクロールするには

- Webページのブラウジング中や、メール一覧画面、メール内容表示画面、データ一覧画面(リスト表示)などでは、◎を押すと上に、◎を押すと下にページスクロールできます。

■ チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、項目またはチェックボックスを選択することで設定の有効/無効を切り替えることができます。また、データの「選択移動」「選択保存」「選択削除」などをする際は、チェックボックスを選択することで項目の選択/選択解除を切り替えることができます。

アイコン例	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	設定が有効/項目が選択されている状態です。
<input type="checkbox"/>	設定が無効/項目が選択されていない状態です。

文字入力

文字入力の方法を覚える

■ 文字入力時の各キーの割り当て一覧

文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)		
[1]	▶ あいうえおあいうえお	▶ .@/_-~1	1		
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力		
	▶ アイウエオアイウエオ	▶ .@/_-1	1		
[2]	▶ かきくけこ	▶ a b c A B C 2	2		
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力		
	▶ カキクケコ	▶ abcABC2]*	2		
[3]	▶ さしすせそ	▶ d e f D E F 3	3		
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力		
	▶ サシスセソ	▶ defDEF3]*	3		
[4]	▶ たちつてとっ	▶ g h i G H I 4	4		
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力		
	▶ タチツテトツ	▶ ghiGHI4]*	4		
[5]	▶ なにぬねの	▶ j k l J K L 5	5		
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力		
	▶ ナニヌネノ	▶ jklJKL5]*	5		
[6]	▶ はひふへほ	▶ m n o M N O 6	6		
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力		
	▶ ハヒフヘホ	▶ mnoMNO6]*	6		
[7]	▶ まみむめも	▶ p q r s P Q R S 7	7		
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力		
	▶ マミムメモ	▶ pqrPQRS7]*	7		
[8]	▶ やゆよやゆよ	▶ t u v T U V 8	8		
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力		
	▶ ヤユヨヤユヨ	▶ tuvTUV8]*	8		
[9]	▶ らりるれろ	▶ w x y z W X Y Z 9	9		
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力		
	▶ ラリルレロ	▶ wxyzWXYZ9]*	9		
[0]	▶ わをんわー、。、 ?!・空白(ｽﾊﾟｰｽ)	▶ 0 - 空白(ｽﾊﾟｰｽ)	0		
	カナ(全角/半角)	英字(半角)	ダイヤル入力		
	<table border="1"> <tr> <td>全角 ▶ ワランワ ー 空白(ｽﾊﾟｰｽ)</td> <td>半角 ▶ ワラン ー</td> </tr> </table>	全角 ▶ ワランワ ー 空白(ｽﾊﾟｰｽ)	半角 ▶ ワラン ー	▶ 0- 空白(ｽﾊﾟｰｽ)!*# \$%&'()*+,-./:; <=>?@[^\]^-_ { }~	0
全角 ▶ ワランワ ー 空白(ｽﾊﾟｰｽ)	半角 ▶ ワラン ー				

※ 行頭に入力する場合は大文字が先に表示されます。

文字種	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小/全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
[*]	短押しし...小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ) * (濁点)や* (半濁点)を付加(可能な文字のみ) ▶、。?!・ 空白(ｽﾊﾟｰｽ)	短押しし...小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ) 全角 ▶、。?!・ - & () ¥ 空白(ｽﾊﾟｰｽ) 半角 ▶、。?!・&()\ 空白(ｽﾊﾟｰｽ)		短押しし... (小数点)	*
	長押しし...直近でコピー/切り取りした文字列を貼り付け				
[#]	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小/全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	文字入力時は、1つ前の文字を表示(バック機能) 文字入力中ではない場合は、改行				#
[⊕]	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小/全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	サブメニューから機能引用、定型文などの呼び出し 全角/半角記号一覧の切り替え 顔文字編集画面を表示(顔文字一覧画面で履歴以外のカテゴリを表示中の場合のみ) 通常変換時、文節範囲縮小(文字種が「あ漢」で文字入力中の場合のみ) 範囲選択のキャンセル				-
[⊖]	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小/全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	絵文字→D絵文字→全角記号(半角記号)→顔文字の一覧を表示 (D絵文字はEメール本文入力時のみ) 予測変換候補と通常変換候補の切り替え(予測変換を「ON」に設定時、文字種が「あ漢」で文字入力中の場合のみ) 通常変換時、文節範囲拡大(文字種が「あ漢」で文字入力中の場合のみ) 選択範囲の全選択(範囲選択中の場合のみ)				-
[⊗]	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小/全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	文字種の切り替え カナ英数変換(文字種が「あ漢」で文字入力中の場合のみ) 文字種を「あ漢」に変更(文字種が「あ漢」[Abc](半角)[123](半角)以外の場合のみ) ページ/カテゴリの切り替え(絵文字/記号/顔文字/変換候補選択中の場合のみ)				-
[⊙]	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小/全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	範囲選択を開始 ページ/カテゴリの切り替え(絵文字/記号/顔文字/変換候補選択中の場合のみ)				-
[↶]	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小/全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	文字を確定直前の状態に戻す 削除した文字の復帰(連続5回分まで) ブラウザで変換候補を検索/他のアプリで変換候補を引用/学習した変換候補を削除(文字種が「あ漢」および「Abc」(半角)で変換候補選択中の場合のみ)				-
[←]	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小/全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	カーソルの左移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲縮小 ** (ワイルドカード)入力の[*]を1文字削除				-
[→]	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小/全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	カーソルの右移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲拡大 未確定文字入力中に** (ワイルドカード)入力の[*]を1文字入力(文字種が「あ漢」および「Abc」(半角)で予測変換を「ON」に設定している場合のみ) カーソルが文末にある場合は、半角の空白(スペース)を入力				-
[↑]	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小/全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	カーソルの上移動 変換候補の選択				-
[↓]	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小/全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	カーソルの下移動 変換候補の選択 カーソルが文末にある場合は、改行				-
[⌫]	漢字	カナ(全角/半角)	英字(大/小/全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
	短押しし...カーソル右側の文字を1文字削除 カーソル右側に文字がない場合は、カーソル左側の文字を1文字削除 変換の中止(文字入力画面に戻る)				短押しし... 1桁削除
	長押しし...カーソル右側の文字をすべて削除 カーソルが文頭または文末にある場合は、文字をすべて削除				長押しし... 待受画面に戻る

◎ 文字入力時は待受画面で◎→[設定]→[その他]→[ソフトウェア]の「現在のキーボード」で「S-Shoin」が選択されていることをご確認ください。Androidキーボード(AOSP)は日本語入力に対応しておらず、文字が入力できないことがあります。

文字入力の方法

選択している文字種のアイコンが表示されます。



- 選択できる文字種は、入力画面によって異なります。
- 「自動カーソル移動」(▶P.27)を「OFF」に設定している場合、「あい」などのように同じキーで続けて文字を入力するには、最初の文字を入力し、Ⓞでカーソルを移動してから次の文字を入力します。
- 他機種やパソコンから、Eメールや赤外線通信、ケーブル接続で受信したテキストデータの場合、本製品にない文字(一部の漢字など)があると、その箇所が空白(スペース)など別の文字に置き換えられます。

ひらがな／漢字／カタカナ／英数字の入力

■カタカナ／英数字の入力について

ひらがなを入力してⓄ(カナ英数)を押すと、入力時に押したダイヤルキーに対応したカタカナ／英字／数字／記号および予測される日付や時間の変換候補一覧が表示されます。文字種が「あ漢」のまま英数字・カタカナや月日、時間などを入力するときに便利です。
例:「かきく」を入力してⓄ(カナ英数)を押すと、「ABC」などの変換候補が表示されます。

■変換機能について

「予測変換」(▶P.33)を有効に設定している場合は、ひらがな／半角英字の入力時に予測変換候補が表示されます。変換候補選択中にⓄ(変換／予測)を押して予測変換候補と通常変換候補の一覧を切り替えることができます。「予測変換」を無効に設定している場合は、ひらがなの入力時にⓄ(変換)を押すと通常変換候補が表示されます。
Ⓞ: 確定する前に押すと、変換を解除します。

文字の修正

■バック機能について

文字入力時にキーを押すすぎて入力したい文字を行きすぎた場合でも、Ⓞを押すと前の文字に戻すことができます。
例:「き」を入力したかったのに「く」になってしまったとき、Ⓞを押すと、「き」に戻ります。

■戻す機能について

Ⓞを押すと、直前の確定を解除できます。
文字を削除した後では、直前に削除した文字を5回分元に戻すことができます。

予測変換機能

「予測変換」(▶P.33)を有効に設定すると、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節が変換候補として挙げられます。(半角英字入力時にも同様に交換できます。)また、入力中の文章の流れによって変換候補を予測し、優先して予測変換候補に表示する「AI予測」や、連続して入力した言葉を組み合わせ1つの複合語として学習し、次から予測変換候補に表示する「複合語予測学習機能」に対応しています。

- 例:「か」と入力するだけで、「彼」などの予測変換の候補が表示され、Ⓞを押すと選択できます。(予測変換)
- 例:「冬は」と入力したあとに「さ」と入力すると、「寒い」などの予測変換の候補が優先して表示されます。(AI予測)
- 例:「パーソナル」と「コンピュータ」を続けて入力すると、次に「ぱーそなる」と入力したとき、予測変換候補に「パーソナルコンピュータ」と表示されます。(複合語予測学習機能)

- 表示される予測変換の候補は、過去に変換・確定を行った状況によって、異なります。
- 予測変換利用時に、入力したい文字が予測変換の候補にない場合は、Ⓞ(変換)を押して通常変換に切り替えてください。
- 変換候補を選択中にⓄを押すと、選択した変換候補をブラウザで検索したり、他のアプリで変換候補を検索して結果を引用したり、学習した変換候補を削除できます。
- ユーザー辞書やダウンロード辞書を登録すると、予測変換／通常変換の候補として表示されるようになります。

** (ワイルドカード)入力

** (ワイルドカード)入力を利用すると、文字入力中にⓄで文字数を設定して変換できます。
例:「パソコン」と入力したい場合、「ぱ」を入力してⓄを3回押すと「ぱ***」と表示され、予測変換候補リストに「パソコン」が表示されます。
・「ワイルドカード予測」を有効に設定している場合に操作できます。

絵文字／D絵文字／記号／顔文字の入力

絵文字／D絵文字／記号／顔文字一覧を表示して文字入力画面に入力します。一覧の表示方法は文字入力画面に変換対象がない場合にⓄ(絵・記・顔)を押します。
Ⓞを押すたびに、絵文字→D絵文字→記号(全角／半角)→顔文字の順に切り替わります。

- 異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、絵文字が正しく表示されないことがあります。
- 絵文字／D絵文字／顔文字の一覧を表示中にⓄ/Ⓞを押すとカテゴリを切り替えます。記号一覧画面ではⓄで全角／半角を切り替えます。
- 「顔文字(履歴)」以外の一覧で顔文字を選択してⓄ(編集)を押すと、顔文字を編集できます。
- D絵文字はEメール作成時のみ表示されます。

2タッチ入力を利用する

「入力方式」(▶P.33)を「2タッチ(ポケベル)」に設定すると、2桁の数字で文字を入力できます。1桁目を入力すると数字が表示され、2桁目を入力すると対象の文字が入力されます。

■2タッチ入力時の各キーの割り当て一覧

■全角入力の場合

上段:大文字モード 下段:小文字モード

2桁目に押すキー

キー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
	あ	い	う	え	お	a	b	c	d	e
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
	か	き	く	け	こ	f	g	h	i	j
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
	さ	し	す	せ	そ	k	l	m	n	o
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
	た	ち	つ	て	と	p	q	r	s	t
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
	な	に	ぬ	ね	の	u	v	w	x	y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	-	/
	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	-	/
7	ま	み	む	め	も	¥	&	☎	☎	☎
	ま	み	む	め	も	¥	&	☎	☎	☎
8	や	(ゆ)	よ	*	#	Ⓞ(スペース)	♥	*
	や	(ゆ)	よ	*	#	Ⓞ(スペース)	♥	*
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	-	。	6	7	8	9	0
	わ	を	ん	-	。	6	7	8	9	0

* 大文字モード(上段)と小文字モード(下段)が切り替わります。

■半角入力の場合

上段:大文字モード 下段:小文字モード

2桁目に押すキー

キー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ア	イ	ウ	エ	オ	A	B	C	D	E
	ア	イ	ウ	エ	オ	a	b	c	d	e
2	カ	キ	ク	ケ	コ	F	G	H	I	J
	カ	キ	ク	ケ	コ	f	g	h	i	j
3	サ	シ	ス	セ	ソ	K	L	M	N	O
	サ	シ	ス	セ	ソ	k	l	m	n	o
4	タ	チ	ツ	テ	ト	P	Q	R	S	T
	タ	チ	ツ	テ	ト	p	q	r	s	t
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	U	V	W	X	Y
	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	u	v	w	x	y
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	Z	?	!	-	/
	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	Z	?	!	-	/
7	マ	ミ	ム	メ	モ	¥	&	☎	☎	☎
	マ	ミ	ム	メ	モ	¥	&	☎	☎	☎
8	ヤ	(ユ)	ヨ	*	#	Ⓞ(スペース)	♥	*
	ヤ	(ユ)	ヨ	*	#	Ⓞ(スペース)	♥	*
9	ラ	リ	ル	レ	ロ	1	2	3	4	5
	ラ	リ	ル	レ	ロ	1	2	3	4	5
0	ワ	ヲ	ン	-	。	.ne.jp	.co.jp	.ac.jp	6	7
	ワ	ヲ	ン	-	。	6	7	8	9	0

* 大文字モード(上段)と小文字モード(下段)が切り替わります。

- 2タッチ入力中でもⓄ(※)を押すと、大文字と小文字を切り替えたり、*(濁点) / ^ (半濁点)を付加できます(可能な文字のみ)。

文字入力のサブメニューを利用する

サブメニューから文字のコピー／貼り付けや入力設定の変更ができます。

文字をコピー／切り取りしてから貼り付ける

- 1 文字入力画面でⓂ(サブメニュー)→[コピー他(範囲選択)]
- 2 Ⓜで開始位置にカーソルを移動→Ⓜ(開始)→Ⓜで範囲を指定→Ⓜ
- 3 [コピー]／[切り取り]
- 4 Ⓜで貼り付ける位置へカーソルを移動→Ⓜ(サブメニュー)→[貼り付け]
貼り付けデータが表示されます。

- 「コピー他(範囲選択)」は、文字入力画面でⓂ(範囲選択)を押しても利用できます。
- コピー／切り取りした文は最大10件までコピー履歴に記憶されます。10件を超えた場合は、最も古い文から削除されます。
- コピー履歴を利用して貼り付けられる文字数は、全角／半角1,024文字までです。
- [✕]を長押しすると、直近でコピー／切り取りした文字列を貼り付けることができます。
- 文字入力画面でⓂ(サブメニュー)→[貼り付け(履歴)]→Ⓜ(サブメニュー)→[1件削除]／[全削除]と操作すると、貼り付けデータを削除できます。

その他の文字入力サブメニュー

- 1 文字入力画面でⓂ(サブメニュー)
- 2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

コピー他(範囲選択)	文字列を選択後、以下の操作を行います。 「コピー」: 選択した文字列をコピーします。 「切り取り」: 選択した文字列を切り取ります。 「貼り付け」: コピー／切り取りした文字列を貼り付けます。 「ユーザー辞書登録」: 文字入力画面から文字列を選択して、ユーザー辞書に登録します。 「引用・連携」: 選択した文字列を、別のアプリケーションで使用します。
貼り付け	コピーした文字列を貼り付けます。
貼り付け(履歴)	コピーした文字列の履歴を選択して貼り付けます。履歴を削除することもできます。
文字種変更	文字種を切り替えます。 ・切り替えたい文字種をⓂで選択してⓂを押します。
定型文入力	定型文を入力します。 ・定型文の言語を選択して、用意された定型文を選択できます。
ユーザー辞書登録(日)／ユーザー辞書登録(英)	単語をユーザー辞書に登録します。 ・文字入力画面に入力した文字列を選択して、単語に登録することもできます。「ユーザー辞書に登録する」(▶P.25)をご参照ください。
引用・連携	コピー履歴 コピーした内容の履歴を入力します。 バーコードリーダー バーコードリーダーで読み取った内容を入力します。 プロフィール プロフィールの登録内容を入力します。 メモ帳 メモ帳に登録されている内容を入力します。 位置情報 現在位置の情報を取得して入力します。 定型文入力 定型文を入力します。 電話帳 電話帳の登録内容を入力します。 Google検索 Google™で検索します。
入力方式	かな かな入力方式で入力します。 2タッチ(ポケベル) 2タッチ入力方式で入力します。(▶P.32)
入力設定	▶P.33「文字入力について設定する」
編集キャンセル	編集内容を削除して前の画面に戻ります。

文字入力について設定する

1 文字入力画面でⓂ(サブメニュー)→[入力設定]

入力補助・変換	予測変換 文字入力時に予測変換機能を利用するかどうかを設定します。 つながり予測 入力確定直後につながり予測候補を表示します。 ワイルドカード予測 未確定文字数から予測変換候補を推測します。 自動カーソル移動 文字の入力方式が「かな方式」の場合、一定時間キー操作を行わないときにカーソルが1つ右に移動する速さを設定します。 ・カーソル移動後でも、` (濁点) / ` (半濁点) の付加など、[✕]や[#]の操作を行うことができます。
辞書	ユーザー辞書 ▶P.25「ユーザー辞書に登録する」 ダウンロード辞書 サイトからダウンロードした辞書を、通常変換や予測変換に利用できるように設定します。 電話帳名前データと連携 電話帳に登録されている名前を学習辞書に登録したり、電話帳から登録した名前を辞書から削除したりできます。
各種リセット	設定リセット S-Shoinの設定をリセットします。 学習辞書リセット 学習辞書の内容をリセットします。 顔文字リセット 顔文字リストの内容をリセットします。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの表記と読みを、日本語と英語をそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 文字入力画面でⓂ(サブメニュー)→[入力設定]→[辞書]→[ユーザー辞書]

ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。
Ⓜで日本語用／英語用ユーザー辞書を切り替えることができます。

2 Ⓜ(サブメニュー)→[新規登録]

3 読み／単語を入力→[登録]

ユーザー辞書単語一覧画面のサブメニューを利用する

1 ユーザー辞書単語一覧画面でⓂ(サブメニュー)

新規登録	単語をユーザー辞書に登録します。
編集	選択している単語を編集します。
1件削除	選択している単語を削除します。
全件削除	登録した単語をすべて削除します。



電話・電話帳

電話	36
電話をかける	36
電話を受ける	38
自分の電話番号を確認する	38
通話に関する設定をする	39
電話帳	40
電話帳に登録する	40
グループを設定する	40
電話帳の一覧を利用する	40
電話帳の登録内容を利用する	40

電話

電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力

ダイヤル画面が表示され電話番号が入力されます。

- ☎:カーソルの位置を移動
 - ☎☎:カーソルの左側の数字を削除
 - ☎☎(長押し):待受画面に戻る
 - ☎(電話帳):電話帳を表示(▶P.40)
 - ☎☎:前回発信した番号に再度発信(リダイヤル)*
- * 電話番号未入力時のみ利用できます。

2 ☎☎→通話

- ☎(スピーカー/OFF):ハンズフリー通話ON/OFF
 - ☎(ミュート/ミュート解除):ミュートON/OFF
 - ☎(電話帳):電話帳を表示(▶P.40)
 - ☎(プロフィール):プロフィールを表示(▶P.38)
 - ☎:通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節
 - ☎:くっきりトークON/OFF
 - ☎☎(保留):通話を保留*
- * ☎☎(保留解除)を押すと保留を解除できます。

3 ☎☎

「電話帳に登録」を選択すると、発信した電話番号を電話帳に登録できます。
・本製品を閉じても通話を終了できます。

- ☎「電卓」/「タイマー」/「スケジュール」(カレンダー)/「アラーム」などの機能でダイヤル画面で入力した数字を引用することもできます。数字入力後に画面の表示に従って操作してください。利用できる機能は入力した数字により異なります。
- ☎「通話中」と表示されている場合でも、相手の方が電話を受けていないことがあります。相手の方が受けていることを確認してからお話しください。
- ☎送話口(マイク)をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
- ☎「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号(110、119、118)へは電話をかけることができます。
- ☎通話中にダイヤルキーを押すと、入力した番号のプッシュ信号を送信できます。
- ☎通話中に他のアプリケーションを起動したとき、通話中画面に戻りたい場合は☎☎を押して起動中のアプリを終了してください。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

- ☎警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- ☎本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけません。
- ☎日本国内の緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- ☎日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- ☎GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- ☎GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- ☎警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- ☎緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
- ☎着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に約2時間解除されます。

■ P(ポーズ)ダイヤルで電話をかける

送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておき、通話中に「はい」を選択すると、プッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

例:[03-0001-XXXX(銀行の電話番号)]に電話をかけて、店番号「22X」口座番号「123XX」を送信する場合

1 銀行の電話番号「030001XXXX」を入力

2 ☎(発信等)→[特番付加]→[P付加]→店番号「22X」を入力

3 ☎(発信等)→[特番付加]→[P付加]→口座番号「123XX」を入力

P(ポーズ)を間に入力すれば、複数のプッシュ信号をつなげて入力できます。

4 ☎☎→「はい」→「はい」

送信先が電話を受けると、確認画面が表示されます。「はい」を選択して☎☎を押すごとにプッシュ信号を送信します。

■ 発信メニューを利用する

1 電話番号を入力→☎(発信等)

2 発信	音声電話をかけます。
特番付加	電話番号に特番を付加します。
SMS作成	▶P.49「SMSを送る」

☎ 0~99の番号を入力して☎(発信等)を押した場合は登録済みのスピードダイヤルへの発信やスピードダイヤルへの登録ができます。(▶P.37)

■ ダイヤル画面のサブメニューを利用する

1 ダイヤル画面で☎(サブメニュー)

2 電話帳に登録	入力した電話番号を電話帳に登録できます。
履歴参照	発信履歴/着信履歴を表示できます。
SMS作成	▶P.49「SMSを送る」
特番付加	電話番号に特番を付加します。
音声発信制限設定	電話の発信を制限するかどうかを設定します。 ・音声発信制限中でも、緊急通報番号や157(お客さまセンター)への発信は可能です。緊急通報番号へはローミング中でも発信が可能です。
設定	通話に関する設定をします。 ・詳しくは、「通話の設定をする」(▶P.39)をご参照ください。

■ 通話中画面のサブメニューを利用する

1 通話中画面で☎(サブメニュー)

2 音声メモ	通話中の相手の方の音声と自分の音声を録音します。 ・録音できるのは、1件あたり約60分間で、30件までです。30件を超えると古いものから順に削除されますが、すべて保護されている場合は録音できません。
Bluetooth ON/ Bluetooth OFF	別売のBluetooth®ヘッドセットと接続/解除します。 ・ヘッドセットと接続状態のときに設定できます。ヘッドセットとの接続について詳しくは、「Bluetooth®機器と接続する」(▶P.77)をご参照ください。
履歴参照	発信履歴/着信履歴一覧画面を表示します。
通話を追加	通話の追加ができます。

履歴を利用して電話をかける

1 待受画面で(発信履歴) / (着信履歴)

☰を押すと、発信履歴 / 着信履歴を切り替えられます。

2 履歴から電話をかける相手を選択→☎

発信履歴 / 着信履歴詳細画面が表示されます。

・発信回数が表示されている履歴を選択して☎(切替)を押すと、まとめられている発信履歴 / 着信履歴の情報を表示します。

3 ☑

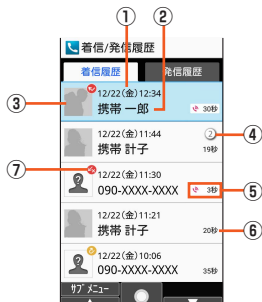
発信履歴 / 着信履歴一覧画面で電話をかける相手を選択して☑を押しても発信できます。

☎ 発信履歴 / 着信履歴はそれぞれ最大100件まで保存され、100件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

■ 発信履歴 / 着信履歴一覧画面の見かた



《発信履歴一覧画面》



《着信履歴一覧画面》

- ① 発信日時
- ② 名前 / 電話番号 / 非通知着信の理由 / ネットワークサービスの内容
- ③ 電話帳に登録している顔写真
- ④ 発信回数
同じ相手の発信履歴 / 着信履歴が連続した場合は着信 / 発信回数を表示します。
- ⑤ 呼び出し時間
呼び出し時間であることを示すアイコンが表示されます。
※ 約3秒以内に切れた不在着信は、お客様に折り返し電話させ、悪質な有料番組につなげる行為の可能性がありますのでご注意ください(ワン切り)。
- ⑥ 通話時間
- ⑦ 着信状態アイコン
 - 🟢: 不在着信
 - 🔴: 着信拒否
 - 🟡: 代理応答
 - 🟠: 応答拒否

☎ 電話帳に登録していない番号から着信があった場合は、電話番号が表示されます。着信履歴詳細画面では「未登録の番号」と表示されます。

■ 発信履歴 / 着信履歴画面のサブメニューを利用する

1 発信履歴 / 着信履歴一覧画面または履歴の詳細画面→☎(サブメニュー)

2 ※ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

メール作成	▶P.43「Eメールを送る」
SMS作成	▶P.49「SMSを送る」
編集して発信	履歴の電話番号を編集して発信します。
特番付加	履歴の電話番号に特番を付加して発信します。
電話帳に登録	電話帳に履歴の電話番号を登録します。
着信拒否登録	着信拒否リストに履歴の電話番号を登録します。
削除	表示中の履歴を削除します。
1件削除	選択中の履歴を削除します。
選択削除	履歴を選択して削除します。
全件削除	履歴をすべて削除します。
電話帳	電話帳を表示します。
設定	通話に関する設定をします。 ・詳しくは、「通話の設定をする」(▶P.39)をご参照ください。

■ スピードダイヤルで電話をかける

スピードダイヤルに登録した連絡先にすばやく電話をかけることができます。

■ スピードダイヤルに登録する

1 待受画面で☎→[電話 メール]→[スピードダイヤル]

2 登録したい番号の<未登録>を選択→☎(登録)

・連絡先が登録済みの番号を選択した場合は、発信などの操作ができます。

3 登録する連絡先を選択→☎

■ スピードダイヤルで発信する

1 待受画面でスピードダイヤルの番号(0~99)を入力

2 ☑

☎ 未登録のスピードダイヤル番号を入力して☑を押した場合は、スピードダイヤルの一覧画面が表示されます。スピードダイヤルの一覧から発信したり、新規にスピードダイヤルを登録できます。

☎ スピードダイヤルに登録された連絡先にメールアドレスが登録されている場合は、スピードダイヤルの番号を入力して☎(メール)を押すとメールの作成ができます。

■ かんたん発信(音声認識)で電話をかける

かんたん発信(音声認識)を利用すると、スピードダイヤルに登録した連絡先にダイヤルキーを操作せずに音声で電話をかけることができます。

・スピードダイヤルへの登録方法は「スピードダイヤルに登録する」(▶P.37)をご参照ください。

1 本製品を開く / 待受画面で☑(長押し)

メインディスプレイに☎(音声で発信)が表示されます。

2 本製品に向かって電話したい宛先を話す

電話したい連絡先の名前を話します。

3 表示された連絡先を確認→[はい]

■ かんたん発信(音声認識)の設定をする

1 待受画面で☎→[電話 メール]

2 [かんたん発信(音声認識)]

3	かんたん発信設定	かんたん発信のON/OFFを設定します。
	認識対象の登録(スピードダイヤル)	スピードダイヤルに登録されている連絡先がかんたん発信での音声認識の対象となります。スピードダイヤルの一覧を表示し、登録、削除などの操作ができます。
	音声認識の使い方	かんたん発信の使い方を表示します。

■ ペア機能で電話をかける

ペアに登録した相手にすばやく電話をかけることができます。

■ ペア相手を登録する

1 待受画面で☑→☎で登録したい番号を選択

■ 電話帳から登録する場合

2 [電話帳から登録]→登録相手を選択→☎→[登録する]

■ 直接入力して登録する場合

2 [直接入力して登録]→必要な項目を設定→☎(保存)→[登録する]

☎ ペア相手が登録されているペア機能画面で☎(サブメニュー)→[登録内容を変更] / [登録解除]と操作すると、登録内容の変更 / 解除ができます。

■ ペアに登録した相手に発信する

1 待受画面で☑→☎でペア相手を選択→[電話する]

☎ ペア相手を選択→[SMS作成]と操作すると、SMSを作成できます。また、ペア相手のメールアドレスを登録している場合は、[Eメール作成]でメールを作成できます。

au電話から海外へかける (au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例:本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 国際アクセスコード「010」を入力

待受画面で「0」(長押し)と操作すると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。

2 アメリカの国番号「1」を入力

3 市外局番「212」を入力

市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります)。

4 相手の方の電話番号「123XXXX」を入力→

- ◎ 電話番号の入力中に◎(サブメニュー)→[特番付加]→[国際電話]と操作しても国番号を入力できます。
- ◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
- ◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
- ◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
- ◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ:
au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)
一般電話から☎0077-7-111(通話料無料)
受付時間 毎日9:00~20:00

電話を受ける

電話に出る

お買い上げ時は、着信すると次の内容が表示されます。

- ◎ 相手の方から電話番号の通知があると、メインディスプレイに電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。
- ◎ 相手の方から電話番号の通知がないと、メインディスプレイに理由が表示されます。
「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能*」
* 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

1 着信中に☑/◎(応答)

- ◎(サイレント)を押すと、着信音を止めます。
- ☑を押すと着信音量を変更できます。

2 通話

通話を終了する場合は☐を押します。

- ◎ LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、待受画面で◎→[設定]→[その他]→[ネットワーク]→[データ通信設定]→[データ使用量]→◎(サブメニュー)と操作し、「モバイルデータ」を無効にご利用ください。
- ◎ 電話帳やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度使用していた機能のご利用が可能となります。

着信を拒否する

着信を拒否すると、かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

1 着信中に◎(着信拒否)

着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る

クイック返信すると、かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

1 着信中に◎(サブメニュー)→[クイック返信]

2 送信するメッセージを選択→◎

- ◎ 送信するメッセージで「カスタム返信を作成...」を選択すると、SMSを作成してメッセージを送ることができます。
- ◎ 送信するメッセージを、あらかじめ「通話設定」の「クイック返信」で編集できます。
- ◎ 相手の方の電話番号が通知されない場合はクイック返信できません。また、通信環境によってはクイック返信できない場合があります。
- ◎ 送信するメッセージを選択するまでは、相手の方には呼出音が流れます。SMSを送信する前に伝言メモが応答する場合があります。

着信中のサブメニューを利用する

1 着信中に◎(サブメニュー)

クイック返信	▶P.38「着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る」
伝言メモ	伝言メモのメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。 ・伝言メモ録音中に◎(受話ON/受話OFF)と操作すると、相手の方の音声のON/OFFを切り替えます。
着信転送	かかってきた電話に出ずに、転送先の電話番号、またはお留守番サービスへ転送します。 ・あらかじめ、「転送・お留守番サービス設定」で転送先を設定しておいてください。

あやしい電話に代理応答する

知らない電話番号や電話に出たくない相手から電話がかかってきた場合に、音声メッセージで自動応答して通話を録音できます。

1 着信中に◎(代理応答)

- ◎ 迷惑電話防止のために自動で応答していること、通話が録音されることを相手にお知らせします。
- ・録音中に◎(応答)を押すと電話に出ることができます。
- ・録音中に◎(応答拒否)を押すと、電話を受けることができない旨のメッセージが相手に流れた後、録音を停止し、通話を終了します。

◎ 録音した会話は音声メモリスト(▶P.39)から再生できます。

自分の電話番号を確認する

プロフィールを確認する

1 待受画面で◎→[プロフィール]

プロフィールを編集する

1 待受画面で◎→[プロフィール]→◎(編集)

プロフィール編集画面が表示されます。

2 必要な項目を入力

3 ㊟(保存)

◎プロフィール編集についての注意事項は、電話帳登録と同様です。詳しくは、「電話帳に登録する」(▶P.40)をご参照ください。

通話に関する設定をする

通話の設定をする

1 待受画面で◎→[電話 メール]→[通話設定]

2	通話時間	前回通話・累積の通話時間の目安、前回リセットした日時を表示します。 ・次の操作で表示されている時間をリセットできます。 [通話時間] / [通話時間(海外)] → ◎ (サブメニュー) → [リセット] → ロックを解除
	クイックサイレント	着信時に本製品を裏返す / 閉じた状態で[マ]を押すことで着信音が消音になり、バイブレータや充電 / 着信ランプが停止して、着信表示のみになる機能を有効にするかどうかを設定します。
	オープン時動作	着信時に本製品を開くと電話に回答にするかどうかを設定します。
	未登録番号追加	電話帳に未登録の電話番号との通話終了時に、電話帳への登録確認画面を表示するかどうかを設定します。
	オートアンサー	オートアンサー イヤホン接続中に着信があった場合、自動で応答するかどうかを設定します。 着信時間 オートアンサーで応答するまでの時間を設定します。
	通話中表示設定	電話帳写真表示 相手の方が電話帳に登録されている場合、発信中 / 着信中 / 通話中に電話帳に登録されている画像を表示するかどうかを設定します。
	発信者番号通知	▶P.87「電話番号を通知する」
	エニーキーアンサー	[マ] / ◎以外のキーを押しても電話に回答するかどうかを設定します。
	国際発信設定	ユーザーリスト 国際電話をかける場合に利用する国番号のリストを表示します。 ・国名を選択して編集 / 削除することができます。 ダイヤルアシスト機能 海外からの発信時に、発信方法を選択できるようにするかどうかを設定します。
	転送・お留守番サービス設定	着信転送サービス、お留守番サービスについて設定します。 ・詳しくは、「着信転送サービスについて」(▶P.86)、「お留守番サービスEXについて」(▶P.88)をご参照ください。
	ガイド言語設定	ガイドランスの言語を切り替えます。 ・詳しくは、「英語ガイドランスへ切り替える」(▶P.89)、「日本語ガイドランスへ切り替える」(▶P.89)をご参照ください。
	割込通話設定	割込通話サービスについて設定します。 ・詳しくは、「割込通話サービスについて」(▶P.90)をご参照ください。
	着信拒否	着信拒否について設定します。 ・詳しくは、「着信拒否の設定をする」(▶P.39)、「番号通知リクエストサービスについて」(▶P.87)、「迷惑電話撃退サービスについて」(▶P.90)をご参照ください。
	クイック返信	着信画面で送信するSMSのメッセージを編集します。 ・編集するメッセージを選択 → ◎ → メッセージを編集 → ◎ (完了) と操作すると、メッセージを編集できます。
	番号付加設定	プレフィックス自動付加 国際電話番号や市外局番、電話会社の選別番号などを登録します。電話をかけるときに登録した番号を付加して発信できます。 市外局番メモリ よくかける地域の市外局番を設定します。電話番号を市内局番から入力するだけで、設定した市外局番を自動的に追加して電話をかけることができます。
	オプションサービス申込	オプションサービスの申し込みを行います。
	auサポート	auホームページの「サポート」に接続したり、157(お客さまセンター)に発信したりします。

通話時間について

◎表示される通話時間は、自分から発信したときの通話時間になります。
◎通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されない場合があります。

伝言メモ / 音声メモを再生する

1 待受画面で◎→[電話 メール]→[音声・伝言メモ]→[伝言メモリスト] / [音声メモリスト]

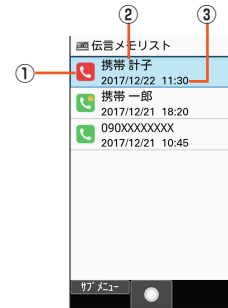
伝言メモリスト画面 / 音声メモリスト画面が表示されます。
・待受画面で[マ]を押しても伝言メモリスト画面を表示できます。

2 再生する伝言メモ / 音声メモを選択

伝言メモ / 音声メモが再生されます。

- ◎(停止) : 再生を停止
- ㊟(スピーカー / OFF) : スピーカーのON / OFF
- ◎ : 前の伝言メモ / 音声メモを再生
- ◎ : 次の伝言メモ / 音声メモを再生

■ 伝言メモリスト画面の見かた



《伝言メモリスト画面》

① 伝言メモの再生状態を示すアイコン

- 🔴 : 未再生の伝言メモ (赤色)
 - 🟢 : 再生済みの伝言メモ (緑色)
- 保護された伝言メモのアイコンには🔒が付きます。

② 相手の方の名前 / 電話番号 / 非通知着信の理由

③ 伝言メモが録音された日時

■ 伝言メモの設定をする

伝言メモを設定すると、お留守番サービスEXを契約していない場合でも、電話に回答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。

1 待受画面で◎→[電話 メール]→[音声・伝言メモ]

2	空き容量確認	伝言メモ / 音声メモの残り録音可能容量を表示します。
	伝言メモ設定	電話に出ることができないとき、応答メッセージを流して相手の方の伝言を録音するかどうかを設定します。 ・待受画面で[マ] (長押し) と操作しても、伝言メモの設定を変更することができます。
	応答メッセージ設定	伝言メモで応答したときに流れるメッセージを設定します。 ・項目を選択して㊟(再生)と操作すると、メッセージを再生します。
	応答時間設定	伝言メモで応答するまでの時間を設定します。

伝言メモについて

- ◎ 伝言メモとオートアンサーの応答時間を同じ時間に設定した場合は、伝言メモが優先されます。
- ◎ 録音できるのは、1件あたり約60分間で、30件までです。30件録音されている場合は、再生済みで保護されていない伝言メモが、古いものから順に削除されます。すべて未再生または保護されている場合、伝言メモで応答しません。

■ 着信拒否の設定をする

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 待受画面で◎→[電話 メール]→[通話設定]→[着信拒否]

2 ロックを解除→[着信拒否設定]

3	指定番号	指定した電話番号からの着信を拒否します。 ・◎(番号編集)→[新規登録]と操作すると、着信を拒否する番号を登録できます。 ・登録済みの項目を選択→◎→[変更] / [1件削除] / [全件削除] → [はい] と操作すると、登録した内容を変更 / 削除できます。
	非通知	電話番号を通知しない着信を拒否します。
	公衆電話	公衆電話からの着信を拒否します。
	通知不可能	電話番号を通知できない着信を拒否します。
	電話帳登録外	電話帳に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。
	海外ローミング中全拒否	ローミング中のすべての着信を拒否します。
	着信履歴保存	拒否した着信を着信履歴に保存するかどうかを設定します。

電話帳

電話帳に登録する

連絡先の電話番号やメールアドレスなどの情報を電話帳に登録できます。連絡先ごとに着信音やバイブレータなどを設定することもできます。

1 待受画面でⓂ(長押し)

電話帳登録画面が表示されます。

2 必要な項目を設定

3 Ⓜ(保存)

- 電話帳一覧画面(▶P.40)でⓂ(新規登録)を押しても電話帳を新規登録できません。
- 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- 名前に半角英数字が含まれる場合、電話帳では名、姓の順に表示されることがあります。
- GPS情報を登録するには、あらかじめ「位置情報」を「ON」に設定する必要があります。
- 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信音設定」は動作しません。
- 電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

グループを設定する

グループごとに名前、アイコン、着信音や充電/着信ランプなどを設定できます。

1 待受画面でⓂ→Ⓜ(サブメニュー)→[グループ追加・編集]

グループ追加・編集画面が表示されます。

2 Ⓜ(サブメニュー)

3 追加	グループを追加します。
削除	グループを削除します。
並べ替え	グループの表示位置を変更します。 ・移動したいグループを選択→○→○で移動→○→○(確定)と操作すると並び順を変更できます。

- グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。
- 相手の方から電話番号の通知がない場合は、グループの音声着信の設定は動作しません。
- 個別の連絡先に「着信音設定」が設定されている場合は、そちらが優先されます。
- 1つの連絡先が複数のグループに登録されている場合は、グループ追加・編集画面で上に表示されているグループの設定が優先されます。

グループを編集する

1 グループ追加・編集画面でグループを選択→Ⓜ

2 グループ編集	グループの設定内容を変更します。
メンバー登録	グループに連絡先を登録します。
グループ削除	グループを削除します。

電話帳の一覧を利用する

電話帳一覧画面を表示する

1 待受画面でⓂ

電話帳一覧画面の表示方法が「グループ」の場合はグループ一覧画面が表示されます。グループを選択すると、選択したグループに登録されている電話帳一覧画面が表示されます。

電話帳一覧画面の見かた



《電話帳一覧画面(名前順)》

① ダイヤルキーで検索

電話帳一覧画面でダイヤルキーを押すと、よみがなを入力して連絡先を検索できます。ESCキーを押してよみがなを削除すると検索を解除します。

② 連絡先

選択したタブに登録されている連絡先が表示されます。

③ タブ

④ 顔写真

登録している場合は、顔写真が表示されます。

○を押してタブを切り替えられます。

電話帳一覧画面/グループ一覧画面のサブメニューを利用する

1 待受画面でⓂ

電話帳一覧画面の表示方法が「グループ」の場合はグループ一覧画面が表示されます。グループを選択すると、選択したグループに登録されている電話帳一覧画面が表示されます。

2 Ⓜ(サブメニュー)

※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

編集	連絡先を編集します。
送信	連絡先を他の機器に送信します。
1件削除	連絡先を1件削除します。
選択削除	連絡先を複数選択して削除します。
表示方法切替	画面の表示方法を切り替えます。
グループ追加・編集	▶P.40「グループを設定する」
スピードダイヤル登録	連絡先をスピードダイヤルに登録します。
設定・管理	▶P.36「電話帳を設定・管理する」

電話帳を設定・管理する

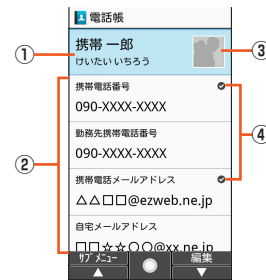
1 待受画面でⓂ→Ⓜ(サブメニュー)→[設定・管理]

2 検索設定	「ダイヤルキーで検索」での検索方法を設定します。
複数削除時暗証番号	連絡先を選択削除/全件削除するときに、セキュリティキーを入力するかどうかを設定します。
メモリ登録件数	表示している電話帳の連絡先登録件数を表示します。

電話帳の登録内容を利用する

1 待受画面でⓂ→連絡先を選択→Ⓜ

電話帳詳細画面の見かた



《電話帳詳細画面》

① 名前

② 登録内容

③ 顔写真

④ メインの電話番号/メインのメールアドレス

○登録内容を選択して○を押すと電話の発信、メールの作成などができます。

○複数の電話番号やメールアドレスを登録しているときは、電話番号/メールアドレスを選択して○→[メインの電話番号に設定]/[メインのアドレスに設定]と操作すると、メインの電話番号/メールアドレスに設定できます。

○Ⓜ(編集)を押すと、登録内容を編集できます。

Eメール	42
Eメールを確認する.....	42
Eメールを送る	43
Eメールを受け取る.....	44
新着メールを問い合わせで受信する	45
Eメールを検索する.....	45
Eメールのメニューを利用する	45
フォルダを利用する	46
Eメールを設定する.....	46
バックアップしたEメールを復元する.....	48
迷惑メールフィルターを設定する	48
SMS	49
SMSを送信する	49
SMSを受信する	49
SMSを返信／転送する.....	49
SMSを保護／保護解除する.....	49
SMSの電話番号を電話帳に登録する.....	49
SMSを検索する	50
SMSを削除する	50
SMSを設定する	50
PCメール	50
PCメールのアカウントを設定する	50
PCメールを送信する	50
PCメールを受信する	50
PCメール内容表示画面の見かた	50

Eメール

- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

Eメールの初期設定について

- Eメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、本製品同梱の「設定ガイド」をご参照ください。
- 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行くと、正しく設定されない場合があります。Wi-Fi[®]通信では初期設定ができません。
- 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。

- ◎ Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
- ◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかることがあります。
- ◎ 待受画面で①→[設定]→[その他]→[アプリケーション]で「Eメール」アプリを選択して②を押し、「データを消去」を行った場合、保存されたEメールのデータや設定情報がすべて削除されます。事前にバックアップを行ってください。
- ◎ Eメールアドレスを変更する操作については、「Eメールアドレスを変更する」(▶P.47)をご参照ください。
- ◎ Eメールの文字サイズを変更可能です。待受画面で③→[設定]→[文字サイズ・フォント]でサイズを変更ください。

Eメールを確認する

受信したEメールは、「受信ボックス」に保存されます。送信済みのEメールは「送信ボックス」に保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振り分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは「未送信ボックス」に保存されます。

1 待受画面で①

フォルダ一覧画面が表示されます。

2 [受信ボックス] / [送信ボックス] / [未送信ボックス] / フォルダを選択→②

Eメール一覧画面が表示されます。

- ②(2行切替 / 3行切替): Eメール一覧の表示を切り替えます。

3 Eメールを選択→③

Eメール詳細表示画面が表示されます。

- ③(前): 前のEメールを表示
- ③(次): 次のEメールを表示

- ◎ 「受信ボックス」の容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
- ◎ 「受信ボックス」のすべてのメールが未読の状態では「受信ボックス」の容量を超えると、新着メールを受信できません。
- ◎ 「送信ボックス」 / 「未送信ボックス」の容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたメールは削除されません。

■ フォルダ一覧画面の見かた

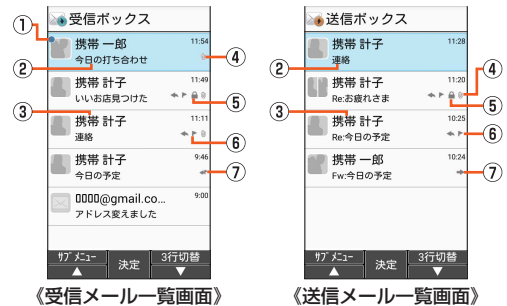
フォルダ一覧画面には、「受信ボックス」や「送信ボックス」、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」を選択してフォルダを作成すると表示されます。

- 「受信ボックス」に新着メールがある場合は①(赤色、数字は件数)が表示されます。受信メール一覧画面で新着メールを確認すると②(青色、数字は未読件数)が表示されます。未読メールがない場合は、アイコンは表示されません。
- 「未送信ボックス」にEメールがある場合は、③(青色、数字は件数)が表示されます。送信に失敗したEメールがある場合は、アイコンが赤色で表示されます。



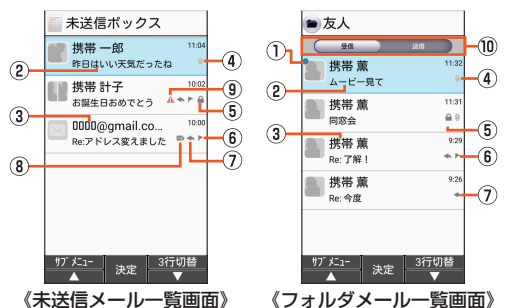
- ① 新規作成
- ② 受信ボックス
- ③ インフォボックス
インフォボックスメールを表示できます。
- ④ 送信ボックス
- ⑤ 未送信ボックス
- ⑥ 作成したフォルダ
- ⑦ フォルダ作成
- ⑧ 未読・未送信メール件数

■ Eメール一覧画面の見かた



《受信メール一覧画面》

《送信メール一覧画面》

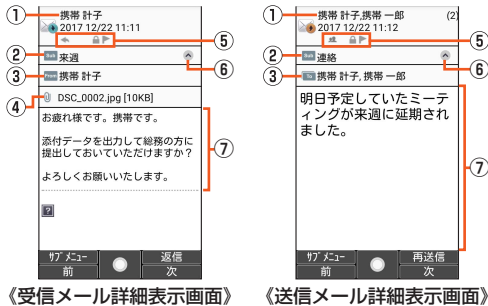


《未送信メール一覧画面》

《フォルダメール一覧画面》

- ① ●: 未読のEメール
○: 本文を未受信のEメール
- ② 件名
- ③ 宛先 / 差出人の名前またはEメールアドレス
電話帳に登録があるEメールアドレスの場合には、登録された画像 / 名前が表示されます。未登録のEメールアドレスの場合にはEメールアドレスが表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
 - 電話帳にEメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。
 - 宛先が複数の場合は、登録された画像が分割されて表示されます。5つ以上宛先がある場合は、5つ目以降の宛先の画像は表示されません。
- ④ 添付データあり
- ⑤ 保護されたEメール
- ⑥ フラグ設定Eメール
- ⑦ ◀: 返信したEメール / 返信のEメール
▶: 転送したEメール / 転送のEメール
↔: 返信 / 転送したEメール
- ⑧ 自動再送信するEメール
- ⑨ サーバにメールがなく本文を受信できないEメール / 送信に失敗したEメール
- ⑩ 受信 / 送信切替スライダー
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

■ Eメール詳細表示画面の見かた



《受信メール詳細表示画面》 《送信メール詳細表示画面》

- ① 宛先 / 差出人の名前またはEメールアドレス
- ② Sub: 件名
- ③ From: 差出人の名前またはEメールアドレス
To / Cc: 宛先の名前またはEメールアドレス
- ④ 添付データの種類:
 - 📎: 保存された添付データ
 - 📎: 保存に失敗した添付データ
 - 📎: 保存されたインライン添付データ
 - 📎: 未受信の添付データ
 - 📎: 受信に失敗した添付データ
- ⑤ 返信 / 転送 / 複製 / BCC / 自動再送信 / 送信失敗 / 保護 / フラグ設定:
 - ↩: 返信したEメール / 返信のEメール
 - ➡: 転送したEメール / 転送のEメール
 - ↩: 返信 / 転送したEメール
 - 👤: 複数の宛先あり
 - 📧: BCCの宛先で受信したEメール
 - 🔄: 自動再送信するEメール
 - ⚠: 送信に失敗したEメール
 - 🔒: 保護されたEメール
 - 🚩: フラグ設定Eメール
- ⑥ 添付ファイル: アドレス / 添付ファイルを選択して●と操作すると、Eメールアドレスと添付データの一覧を表示します。
- ⑦ 本文

Eメールを送る

Eメールを送信する

- 1 待受画面で☺→[新規作成]
送信メール作成画面が表示されます。
- 2 アドレス入力欄を選択→●
- 3 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

アドレス帳引用	電話帳のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	電話帳のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 ・グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。
メール受信履歴引用	受信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 ・☺(履歴削除)→Eメールアドレスを選択→●→☺(削除)→[削除]と選択すると履歴を削除できます。
メール送信履歴引用	送信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 ・☺(履歴削除)→Eメールアドレスを選択→●→☺(削除)→[削除]と選択すると履歴を削除できます。
プロフィール引用	自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス直接入力	メールアドレスを直接入力します。
貼り付け	コピーしたEメールアドレスを貼り付けます。

- 4 件名入力欄を選択→●→件名を入力→●(完了)
- 5 本文入力欄を選択→●→本文を入力→●(完了)
- 6 ☺(送信)→[送信]

- デコレーションアニメには対応していません。
- 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
- 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To/Cc/Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
- 絵文字を他社の携帯電話やパソコンなどに送信すると、他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、au電話に送信した場合でも、受信側のau電話に搭載されている異なるデザインの絵文字に変換されることがあります。
- 送信時確認表示は非表示に設定することもできます(▶P.47)。
- 送信メール作成画面で☺(保存)を押すと、作成中のEメールを「未送信ボックス」に保存できます。
- あらかじめ「自動再送信」(▶P.47)を有効にしておくと、Eメールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。
- 本文には、最大20件(合計100KB以下)のデコレーション絵文字を挿入できます。
※一度挿入したデコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。

■ 宛先を追加・削除する

■ 宛先を追加する場合

- 1 送信メール作成画面→未入力のアドレス入力欄を選択→●
宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」の手順3をご参照ください。
アドレス入力欄に宛先を直接入力しても、宛先を追加できます。

■ 宛先を削除する場合

- 1 送信メール作成画面→削除する宛先を選択→●→[削除]→[削除]
○「To」を選択→●と操作すると、宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先の種類を変更することはできません。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

1 送信メール作成画面で添付欄を選択→○

2	ギャラリー(静止画)	静止画データを添付します。
	ギャラリー(動画)	動画データを添付します。
	カメラ(静止画)	静止画を撮影して添付します。
	カメラ(動画)	動画を撮影して添付します。
	ストレージ	本体メモリやmicroSDメモリカードに保存しているデータを添付します。
	その他	その他のデータを添付します。

- 1データあたり2MBまでのデータを添付できます。1データあたり2MB以上の静止画データ(JPEG、PNG)を添付、または合計で2MB以上のデータを添付する際、Eメールの送信時に静止画データ(JPEG、PNG)のサイズを縮小する場合があります。静止画データ(JPEG、PNG)のサイズをさらに縮小したい場合には、「画像サイズをケータイ用に変更」を有効にしてください。受信側の端末によっては、受信できない、または、正しく表示できない場合があります。
- データを添付した後に、添付データ欄を選択→○と操作すると添付したデータを表示できます。また、「✕」を選択→○→[削除]と操作すると添付データを削除できます。

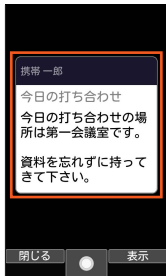
Eメールを受け取る

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。

- 画面消灯中や本体を閉じているときにEメールを受信した場合、画面表示したり本体を開くと、通知ポップアップを表示します。



《通知ポップアップ》

- ステータスバーにが表示され、Eメール受信音が鳴ります。ステータスバーにEメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。
- 充電/着信ランプが青色に点滅します。充電/着信ランプの色は変更することができます。充電/着信ランプの設定について詳しくは「音・バイブの設定をする」(▶P.82)をご参照ください。
- 本体を閉じているときはサブディスプレイに、EメールアドレスまたはEメールアドレスを登録している電話帳の名前が表示されます。また、が表示されます。

2 待受画面で→[受信ボックス]

Eメール一覧画面が表示されます。

3 受信したEメールを選択→○

Eメール詳細画面が表示されます。

- Eメールやその他の機能を実行中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーにが表示され、Eメール受信音が鳴ります。
- 「メール自動受信」をOFFに設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴りが表示されます。「新着確認」を行い、Eメールを受信してください。
- 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもデータ通信料がかかることがあります。
- 受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
- 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 Eメール詳細画面で「」を選択→○

2 添付データを選択→○→[表示]

未受信の添付データは、添付データのファイル名を選択すると受信が開始されます。受信完了後、もう一度添付データを選択→○→[表示]と操作してください。

- 通常のEメール(テキストメール)では、添付データが本文中に表示される場合があります。再生されるデータの種類の、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。

※ データによっては、表示されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像を本体メモリやmicroSDメモリカードに保存できます。

1 Eメール詳細画面で (サブメニュー)→[画像保存]

2 保存する画像を選択→○→ (保存先)

保存先選択画面が表示されます。

3 保存先を選択し (保存)

選択した画像が本体メモリ、またはmicroSDメモリカードが挿入されている場合はmicroSDメモリカードの「MyFolder」に保存されます。

- Eメール詳細画面で「」を選択→○→添付データを選択→○→[ストレージへ保存]→保存先を選択→ (保存)と操作しても保存できます。
- 保存先選択画面で (Up)を押すと1つ上の階層のフォルダを選択できます。
- 未受信の添付画像は保存できません。サーバから画像を受信してから操作してください。

差出人/宛先/件名/電話番号/メールアドレス/URLを利用する

1 メール詳細画面を表示

■ メールアドレスを利用する場合

2 「」を選択→○→差出人/宛先/本文中のメールアドレスを選択→○

3 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

Eメール作成	選択したメールアドレスを宛先にしてメールを作成します。
音声発信	選択したメールアドレスが登録された電話帳に、電話番号の登録もある場合、電話をかけることができます。
アドレス帳登録	選択したメールアドレスを電話帳に登録します。
アドレスコピー	選択したメールアドレスをコピーします。
振り分け条件に追加	選択したメールアドレスをフォルダの振り分け条件に登録します。 <ul style="list-style-type: none">• 「フォルダロック」を設定したフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。• 追加した後、すぐに振り分けを行う場合は「再振り分けする」を選択します。
拒否リスト登録	選択したメールアドレスを迷惑メールフィルターの拒否リストに登録します。 <ul style="list-style-type: none">• 迷惑メールフィルターについて詳しくは、「迷惑メールフィルターを設定する」(▶P.48)をご参照ください。
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。

■ 件名をコピーする場合

2 件名を選択→○→[コピー]

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号を選択→○

3	音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
	特番付加184	選択した電話番号に「184(発信者番号非通知)」を付加して電話をかけます。
	特番付加186	選択した電話番号に「186(発信者番号通知)」を付加して電話をかけます。
	au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 <ul style="list-style-type: none">• au国際電話サービスを利用した国際電話のかけ方については、次のホームページをご参照ください。 http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html
	SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。
	アドレス帳登録	選択した電話番号を電話帳に登録します。
	電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLを選択

3	開く	選択したURLのページを表示します。
	URLをコピー	選択したURLをコピーします。

- 本文中のメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせで受信する

「メール自動受信」を無効に設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせで受信することができます。

- 1 待受画面で☺
フォルダ一覧画面が表示されます。
- 2 ☺(新着確認)
新着のEメールがあるかどうかを確認します。

Eメールを検索する

- 1 待受画面で☺→☺(サブメニュー)→[検索/フィルター]
メール一覧画面で☺(サブメニュー)→[検索/フィルター]と操作すると、フォルダ内のEメールを検索できます。
- 2 キーワードを入力
半角と全角を区別して入力してください。
- 3 [🔍]
検索結果一覧画面が表示されます。
日時が新しいEメールから順に表示されます。
フォルダ一覧画面から検索する場合、「フォルダロック」を設定したフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

☺ [🔍] を選択→☺と操作すると、キーワード検索以外にも検索条件を選択して検索することができます。検索条件は複数選択できます。

Eメールのメニューを利用する

フォルダ一覧画面のメニューを利用する

- 1 待受画面で☺
フォルダ一覧画面が表示されます。
 - 2 ☺(サブメニュー)
 - 3
- | | |
|----------|--|
| 検索/フィルター | Eメールを検索します。
・詳しくは、「Eメールを検索する」(▶P.45)をご参照ください。 |
| フォルダ編集 | 「受信ボックス」や作成したフォルダを編集します。
・詳しくは、「フォルダを利用する」(▶P.46)をご参照ください。 |
| フォルダ削除 | 選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。
・「フォルダロック」を設定したフォルダは選択できません。
・フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護されたメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」を選択すると、保護されたメールが残り、フォルダは削除されません。 |
| 再振り分け | 現在設定されているフォルダの振り分け条件で、Eメールの再振り分けを行います。
・「フォルダロック」を設定したフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 |
| 同期設定 | タブレットに本製品のEメールアカウントを設定した後で、本製品とタブレットを同期するための設定を行います。 |
| Eメール設定 | Eメールを設定します。
・詳しくは、「Eメール設定をする」(▶P.46)をご参照ください。 |
| ヘルプ | サービス概要や更新情報を確認できます。 |

同期設定について

- ☺ タブレットに本製品のEメールアカウントを設定した場合、本製品とタブレットを同期するため、メールの保存先が「端末(ローカル)」から「メールサーバー」に変更となります。
- ☺ 同期設定前に送受信したメールがある場合、該当のメールはすべて「過去メール」ボックスに保存されます。
- ☺ その他の変更点については、auホームページをご参照ください。

Eメール一覧画面のメニューを利用する

- 1 待受画面で☺
フォルダ一覧画面が表示されます。
 - 2 ボックス/フォルダを選択→☺
「Eメールを検索する」(▶P.45)の検索結果一覧画面でも操作できます。
 - 3 ☺(サブメニュー)
 - 4 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- | | |
|-------|--|
| 返信 | Eメールに返信します。
・件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 |
| 全員に返信 | 同報されている全員に返信します。
・宛先が複数ある場合のみ選択できます。 |

転送	転送するEメールを作成します。 ・件名には、元の件名に「Fw:」が追加された件名が入力されます。 ・元のEメールが添付データを受信している場合は、転送メールにも添付されます。
送信	未送信のEメールを送信します。
編集	未送信のEメールを編集して送信します。
コピー編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。
保護/解除	Eメールを保護/保護解除します。 ・受信メールは、「受信ボックス」容量の50%または1750件まで保護できます。 ・送信・未送信メールは、「送信ボックス」容量の50%または750件まで保護できます。
フラグ	Eメールを選択してフラグ付加/フラグ解除します。
削除	Eメールを選択して削除します。 ・保護されたEメールは選択できません。
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの拒否リストに登録します。 ・迷惑メールフィルターについて詳しくは、「迷惑メールフィルターを設定する」(▶P.48)をご参照ください。
移動	Eメールを選択して移動します。 ・あらかじめ「フォルダ作成」でフォルダを作成してください。
検索/フィルター	表示中のボックス/フォルダ内のEメールを検索します。 ・詳しくは、「Eメールを検索する」(▶P.45)をご参照ください。
フォルダ編集	「受信ボックス」や作成したフォルダを編集します。 ・詳しくは、「フォルダを利用する」(▶P.46)をご参照ください。
Eメール設定	Eメールを設定します。 ・詳しくは、「Eメール設定をする」(▶P.46)をご参照ください。
選択受信	本文が未受信のEメールを選択して本文を取得します。
新着問合せ	新着のEメールがあるかどうかを確認します。

Eメール詳細表示画面のメニューを利用する

- 1 待受画面で☺
フォルダ一覧画面が表示されます。
 - 2 ボックス/フォルダを選択→☺→Eメールを選択→☺
 - 3 ☺(サブメニュー)
 - 4 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- | | |
|-----------|---|
| 転送 | 転送するEメールを作成します。
・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。
・元のEメールが添付データを受信している場合は、転送メールにも添付されます。 |
| 再送信 | 送信済みのEメールを再度送信します。 |
| 送信 | 未送信のEメールを送信します。 |
| 編集 | 未送信のEメールを編集して送信します。 |
| コピー編集 | 送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 |
| 保護/保護解除 | Eメールを選択して保護/保護解除します。
・受信メールは、「受信ボックス」容量の50%または1750件まで保護できます。
・送信・未送信メールは、「送信ボックス」容量の50%または750件まで保護できます。 |
| フラグ/フラグ解除 | Eメールを選択してフラグ付加/フラグ解除します。 |
| 削除 | Eメールを削除します。 |
| 迷惑メール報告 | 表示しているメールを迷惑メールとして報告します。 |
| 移動 | Eメールを移動します。
・あらかじめ「フォルダ作成」でフォルダを作成してください。 |
| 画像保存 | ▶P.44「添付画像を保存する」 |
| 拡大縮小 | 本文の文字のサイズを一時的に拡大/縮小できます。 |
| 本文コピー | Eメールの本文を選択してコピーします。
・文字列の開始位置を選択→☺(開始)→☺で選択範囲を指定→☺と操作するとコピーできます。
・☺(全選択)を押すと、本文全体を選択できます。 |
| 文字コード | 本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。
・変更した文字コードは、表示中のEメール詳細表示画面でのみ一時的に適用されます。 |
| 本文受信 | 本文未受信メールの本文を取得します。 |
| 共有 | Bluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスやSNSなどにアップロードしたりできます。 |

フォルダを利用する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振り分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

フォルダを作成する

- 1 待受画面で☺
フォルダ一覧画面が表示されます。
- 2 [フォルダ作成]
フォルダ編集画面が表示されます。
- 3 フォルダ名を入力
フォルダ名は、全角8/半角16文字まで入力できます。
- 4 各項目を設定→Ⓜ(保存)

フォルダを編集する

- 1 待受画面で☺
フォルダ一覧画面が表示されます。
- 2 Ⓜ(サブメニュー)→[フォルダ編集]
- 3 編集するフォルダを選択→Ⓜ
フォルダ編集画面が表示されます。

フォルダアイコンを変更する

- 1 フォルダ編集画面→画面左上のフォルダアイコンを選択→Ⓜ
- 2 図柄を選択→Ⓜ/色を選択→Ⓜ
- 3 Ⓜ(決定)→Ⓜ(保存)

Ⓜ 最大20個のフォルダを作成できます。

フォルダごとに着信通知を設定する

[受信ボックス]や作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレータ、着信ランプを設定できます。

- 1 フォルダ編集画面→[フォルダ別設定]
「標準設定」を選択→Ⓜと操作すると、「通知設定」で設定した内容でEメールの受信をお知らせします。

2 着信音	Eメール受信時の着信音を設定します。 ・「ストレージから探す」を選択した場合は、本体メモリまたはmicroSDメモリカードから着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレータを設定します。
LED	Eメール受信時の着信ランプの色を設定します。
通知ポップアップ	Eメール受信時に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時に画面を点灯させるかどうかを設定します。

- 3 Ⓜ(完了)→Ⓜ(保存)

フォルダにロックをかける

[受信ボックス]や作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。
あらかじめ[Eメール設定]→[プライバシー設定]→[パスワード設定]でフォルダロック解除のパスワードを設定してください。

- 1 フォルダ編集画面→[フォルダロック]を選択→Ⓜ(チェック)
→フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]
- 2 Ⓜ(保存)

フォルダに振り分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振り分け条件を設定できます。設定した振り分け条件に該当するEメールを受信/送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

振り分け条件を追加する場合

- 1 フォルダ編集画面→[振り分け条件追加]→振り分け条件の種類を選択してⓂ

2	メールアドレス	メールアドレスを振り分け条件に登録します。
	ドメイン	ドメインを振り分け条件に登録します。
	件名	件名を振り分け条件に登録します。 ・件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

- 3 振り分け条件を入力→[OK]

メールアドレス/ドメインで振り分ける場合は、入力欄を選択→Ⓜと操作すると、入力方法を選択して登録できます。

- 4 Ⓜ(保存)

アドレス帳登録外/不正なメールアドレスを振り分け条件に設定する場合

- 1 フォルダ編集画面→[アドレス帳登録外]/[不正なメールアドレス]を選択してⓂ(チェック)→Ⓜ(保存)

- Ⓜ 振り分け条件を設定/編集してⓂ(保存)を押すと、メールの振り分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに振り分けを行う場合は、「再振り分けする」を選択します。
- Ⓜ 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
- Ⓜ 同一の振り分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
- Ⓜ フォルダ編集画面で、追加した振り分け条件の右横にある「✖」を選択→Ⓜと操作すると、振り分け条件を編集したり、削除したりすることができます。
- Ⓜ 振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
- Ⓜ 一致する振り分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス>ドメイン>件名>その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To>Cc>Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス/ドメイン>2番目のメールアドレス/ドメイン>…>最後のメールアドレス/ドメインの優先順位で振り分けられます。

Eメールを設定する

Eメール設定をする

- 1 待受画面で☺
- 2 Ⓜ(サブメニュー)→[Eメール設定]
Eメール設定画面が表示されます。

3 受信・表示設定	▶P.47「受信・表示に関する設定をする」
送信・作成設定	▶P.47「送信・作成に関する設定をする」
通知設定	基本通知設定 ▶P.47「通知に関する設定をする」 個別通知設定 ▶P.47「個別の通知に関する設定をする」
プライバシー設定	パスワード設定/パスワード変更 フォルダロックのパスワードを設定/変更します。 パスワードリセット パスワードをリセットします。 ・パスワードをリセットすると、フォルダロックも解除されます。
アドレス変更・その他の設定	Eメールアドレスの変更へ ▶P.47「Eメールアドレスを変更する」 迷惑メールフィルターの設定/確認へ ▶P.48「迷惑メールフィルターを設定する」 オススメの設定はこちら ▶P.48「迷惑メールフィルターを設定する」 自動転送先の設定へ ▶P.47「転送先を設定する」
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。
バックアップ・復元	▶P.48「メールデータを復元する」
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数/使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 ・Ⓜ(サブメニュー)→[アドレスコピー]と操作すると、Eメールアドレスをコピーできます。

パスワード設定について

- Ⓜ フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えると「ひみつの質問」が表示されます。「表示する」→回答を入力→Ⓜ(完了)→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。

受信・表示に関する設定をする

1 待受画面で☺→☺(サブメニュー)→[Eメール設定]→[受信・表示設定]

2	メール自動受信	サーバーに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。OFFに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバーに到着したことをお知らせします。
	メール受信方法	全受信 差出人・件名と本文を受信します。 指定全受信 指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 <ul style="list-style-type: none"> 「個別アドレスリスト編集」を選択すると、メールアドレスを登録できます。 登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスを選択→☑→[削除]→[削除]と操作します。 差出人・件名受信 差出人・件名のみを受信します。
	添付自動受信	受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。
	添付自動受信サイズ	自動受信する添付データの上限サイズを設定します。
	添付自動保存設定	受信メールの添付データを自動的に保存するかどうかを設定します。
	アドレス帳登録名表示	メールアドレスが電話帳に登録されている場合、電話帳に登録された情報を表示するかどうかを設定します。
	プロフィールアイコンを表示	プロフィールアイコンを表示するかどうかを設定します。

メール受信方法について

- ☑ 受信メール一覧画面で本文が未受信のEメールを選択すると、本文を取得できます。本文未受信のままEメール詳細表示画面が表示されたときは、「本文受信」を行うと、本文を取得できます。本文受信は、電波状態の良い所で行ってください。
- ☑ 同期設定を行った場合は、受信設定は「メール自動受信」のみとなります。

送信・作成に関する設定をする

1 待受画面で☺→☺(サブメニュー)→[Eメール設定]→[送信・作成設定]

2	返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。
	差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。
	冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。
	署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。
	返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。有効に設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。
	送信時確認表示	誤送信防止のために送信時の確認画面を表示するかどうかを設定します。
	自動再送信	Eメール送信失敗時に自動で再送信するかどうかを設定します。

冒頭文/署名について

- ☑ 冒頭文/署名には、最大10種類のデコレーション絵文字を挿入できます。
- ☑ 冒頭文/署名を挿入しただけで、デコレーション絵文字の制限(最大20種類)に達した場合は、本文入力時にデコレーション絵文字を挿入できません。
- ☑ 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。

通知に関する設定をする

1 待受画面で☺→☺(サブメニュー)→[Eメール設定]→[通知設定]→[基本通知設定]

2	着信音	Eメール受信時の着信音を設定します。 ・「ストレージから探す」を選択した場合は、本体メモリまたはmicroSDメモリカードから着信音を設定します。
	バイブレーション	Eメール受信時のバイブレータを設定します。
	LED	Eメール受信時の着信ランプの色を設定します。
	ステータスバー通知	Eメール受信時のステータスバーの通知について設定します。
	通知ポップアップ	Eメール受信時に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。
	メール受信時の画面点灯	Eメール受信時に画面を点灯させるかどうかを設定します。

個別の通知に関する設定をする

1 待受画面で☺→☺(サブメニュー)→[Eメール設定]→[通知設定]→[個別通知設定]

2 [新規設定]

3 [アドレス帳引用]/[メール受信履歴引用]/[メール送信履歴引用]→設定するアドレスを選択→☑

「メール受信履歴引用」/「メール送信履歴引用」を選択した場合は、設定するアドレスを選択→☑と操作後、☑(決定)を押します。

4	着信音	Eメール受信時の着信音を設定します。 ・「ストレージから探す」を選択した場合は、本体メモリまたはmicroSDメモリカードから着信音を設定します。
	バイブレーション	Eメール受信時のバイブレータを設定します。
	LED	Eメール受信時の着信ランプの色を設定します。
	通知ポップアップ	Eメール受信時に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。
	メール受信時の画面点灯	Eメール受信時に画面を点灯させるかどうかを設定します。

Eメールアドレスを変更する

EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。

1 待受画面で☺→☺(サブメニュー)→[Eメール設定]→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]→[Eメールアドレスの変更へ]

2 暗証番号を入力→[送信]

3 [承諾する]

4 Eメールアドレスの「@」の左側の部分(変更可能部分)を入力→[送信]→[OK]→[閉じる]

- ☑ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ☑ Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「[]-[]」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「[]」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。
- ☑ 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- ☑ 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。
- ☑ Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。

転送先を設定する

本製品で受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。

1 待受画面で☺→☺(サブメニュー)→[Eメール設定]→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]→[自動転送先の設定へ]

2 暗証番号を入力→[送信]

3 Eメールアドレスを入力→[送信]→[閉じる]

- ☑ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ☑ 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。
- ☑ 自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。
※ 設定をクリアする操作は、回数には含まれません。
- ☑ 「エラー！Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。
- ☑ Eメールアドレスを間違えて設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。
- ☑ 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に戻る場合がありますのでご注意ください。

バックアップしたEメールを復元する

過去にご利用の製品でバックアップしたメールデータは本製品へ読み込むことができます。

メールデータを復元する

バックアップしたメールデータ(メール本文・添付ファイル)を復元することができます。

- 1 待受画面で☺→☺(サブメニュー)→[Eメール設定]→[バックアップ・復元]
- 2 [メールデータ復元]
- 3 [受信メール] / [送信メール] / [未送信メール] / [ストレージから探す]→[OK]
- 4 復元するバックアップデータを選択→☺→☺(決定)
☺(Up)を押すと1つ上の階層のフォルダを選択できます。
- 5 [追加保存] / [上書き保存]→[OK]
「上書き保存」を選択した場合は、確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

- ☺ バックアップしたメールデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、選択したメール種別に応じて、「受信ボックス」/「送信ボックス」/「未送信ボックス」に保存されているすべてのEメールを削除して(保護されているEメールや未読メールも削除されます)、バックアップしたメールデータを復元します。
- ☺ 復元したEメールから未受信の本文や添付データを取得することはできません。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信/拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

- 1 待受画面で☺→☺(サブメニュー)→[Eメール設定]→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]

■ おすすめの設定にする場合

- 2 [オススメの設定はこちら]→[登録]
なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

- 2 [迷惑メールフィルターの設定/確認へ]→暗証番号を入力→[送信]
迷惑メールフィルター画面が表示されます。

3	オススメ一括設定をする	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
	詳細設定	<p>受信リストに登録する 個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 受信リスト設定以外のEメールをブロックする場合は、「個別設定をする」の「一括指定受信」ですべてのチェックをOFF(受信拒否)にしてください。 ※「必ず受信」にチェックを付けることにより、「なりすまし規制」を回避して、メールリングリスト、転送メールを受信することができます。ただし、「ご自身のメールアドレス」またはその一部(@ezweb.ne.jp)などを設定する場合は、「必ず受信」のチェックを外してください。 <p>拒否リストに登録する 個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。</p> <p>アドレス帳受信設定をする 「auアドレス帳」もしくは「データお預かり」に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。</p> <p>個別設定をする ▶P.48「迷惑メールフィルターの個別設定をする」</p>
	設定確認/解除する	迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。
	設定にあたって	迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。

※ 最新の設定機能は、auのホームページでご確認ください。

■ 迷惑メールフィルターの個別設定をする

1 迷惑メールフィルター画面の「詳細設定」で「個別設定をする」

2	一括指定受信	インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信/拒否します。
	迷惑メールおまかせ規制	メールサーバで受信したPCメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。
	なりすまし規制	送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(中)(低)の3つの設定があります。 ※ 受信リスト設定「必ず受信」にチェックを付けることにより、「なりすまし規制」を回避して、メールリングリスト、転送メールを受信します。
	HTMLメール規制	メール本文がHTML形式で記述されているメールを受信、または拒否することができます。
	URLリンク規制	本文中にURLが含まれるメールを受信、または拒否することができます。
	ウイルスメール規制	添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバで規制します。
	拒否通知メール返信設定	迷惑メールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するかしないかを設定することができます。

- ☺ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ☺ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
- ☺ 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
ウイルスメール規制>受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)>なりすまし規制>拒否リスト設定>受信リスト設定>アドレス帳受信設定>HTMLメール規制>URLリンク規制>一括指定受信>迷惑メールおまかせ規制
- ☺ 「受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)」に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※ Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
- ☺ 「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、「なりすまし規制」および「迷惑メールおまかせ規制」でブロックされたメールには返信されません。
- ☺ 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
- ☺ 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できないことがあります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。
- ☺ 「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※ パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)」に登録してください。

■ パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。

- 詳しくはauのホームページでご確認ください。

SMS

「SMS」アプリはau電話番号でメッセージのやりとりができるアプリケーションです。
au電話番号宛だけでなく、国内他事業者や海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 待受画面で☺(長押し)

待受画面で☺→☺(SMS切替)と操作しても表示できます。

2 [新規作成]

過去に送受信した相手の方にSMSを送信するときは、受信ボックス内のメッセージ選択してもSMSを作成できます。その場合は、手順4へ進みます。

3 [電話帳呼出] / [直接入力] → 相手先電話番号を入力

宛先を、電話帳から選択もしくは直接入力で指定します。
海外へ送信する場合は、宛先には相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力してください。

「010」+「国番号」+「相手先電話番号」

※ 電話帳などから相手先携帯電話番号を引用した場合は、もう一度宛先入力欄を選択して「010」と「国番号」を入力してください。
※ 相手先携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力してください。

4 本文を入力

本文は、全角最大670 / 半角最大1530文字まで入力できます。
※ 国内・海外他事業者宛には全角最大70 / 半角最大160文字まで送信できます。

5 ☺(送信) → [OK]

- 手順5の前に☺を押すと、送信ボックス内のSMSに「下書き」が表示され、メールを送信せずに保存できます。
- SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。
 - ・お預かり(蓄積)可能時間
72時間まで
 - ※ 蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
 - ・お預かり可能件数300件
 - ※ 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。
- 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。
 - ・SMS蓄積後すぐに配信
新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
 - ・リトライ機能による配信
相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
 - ・通話を終了したときに配信
蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。
※ 国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。
- 発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。
- 絵文字を他社の携帯電話に送信すると、他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、au電話に送信した場合でも、受信側のau電話に搭載されている異なるデザインの絵文字に変換される場合があります。
- SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに▲が表示される場合があります。
- 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご覧ください。
<https://www.au.com/mobile/service/global/sms/>

SMSを受信する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。
・待受画面に新着SMSのアイコン、ステータスバーに☺が表示され、メール受信音が鳴ります。
・本体を閉じているときはサブディスプレイに☺が表示されます。
・充電/着信ランプが点滅します。

2 待受画面で☺(長押し)

3 [受信ボックス] → 確認する相手先のメッセージを選択 → ☺

受信したSMSが表示されます。
受信ボックスの中にある未読のSMSには「未読」が表示されます。

- SMSの受信は、無料です。
- 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できません。
- 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。
- 本体メモリ(内部ストレージ)が不足した場合は、SMSを正しく受信できません。
- データお預かりアプリでバックアップ・復元処理中に、SMSアプリを終了させないでください。正しく受信できない場合があります。

電話番号 / メールアドレス / URLを利用する

1 待受画面で☺(長押し) → 受信ボックスもしくは送信ボックスのメッセージを選択 → ☺

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 電話番号を選択 → ☺

3 [SMS] / [電話]

■ 本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 Eメールアドレスを選択 → ☺

送信メール作成画面が表示されます。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 URLを選択 → ☺

ブラウザが起動して、選択したURLのページが表示されます。

SMSを返信 / 転送する

1 待受画面で☺(長押し) → [受信ボックス]

2 返信 / 転送するメッセージを選択 → ☺

■ 返信する場合

3 ☺(返信) → 本文を入力

4 ☺(送信) → [OK]

■ 転送する場合

3 ☺(サブメニュー) → [転送する]

4 宛先入力欄を選択 → ☺ → [電話帳呼出] / [直接入力] → 相手先電話番号を入力

5 本文入力欄を選択 → 本文を入力

6 ☺(送信) → [OK]

SMSを保護 / 保護解除する

1 待受画面で☺(長押し) → 受信ボックスまたは送信ボックスのメッセージを選択

2 ☺(サブメニュー) → [保護する] / [保護解除する]

保護したメッセージには🔒が表示されます。

SMSの電話番号を電話帳に登録する

1 待受画面で☺(長押し) → 受信ボックスまたは送信ボックスのメッセージを選択

2 ☺(サブメニュー) → [電話帳登録] → [新規] / [追加]

3 画面に従って操作

SMSを検索する

- 1 待受画面で☺(長押し)
- 2 ☺(サブメニュー)→[検索する]→キーワードを入力
半角と全角を区別して入力してください。
- 3 ☺(検索)
検索結果一覧が表示されます。
検索結果を選択すると、検索結果を含むメッセージが表示されます。

SMSを削除する

- 1 待受画面で☺(長押し)→[受信ボックス]/[送信ボックス]
- 1件削除する場合
- 2 削除するメッセージを選択
- 3 ☺(削除)→[1件削除]→[はい]→[OK]
- すべてのメッセージを削除する場合
- 2 ☺(削除)→[全件削除]→[はい]→[OK]

SMSを設定する

- 1 待受画面で☺(長押し)
- 2 ☺(サブメニュー)→[設定する]
SMS設定画面が表示されます。
- 3

通知方法を設定する	SMS受信時の通知を設定します。「OFF」に設定すると、着信音、バイブレーション、LEDも「OFF」になります。 「差出人」「通知のみ」「OFF」
着信音を変更する	SMS受信時の着信音を設定します。 [OFF]/[着信音]/[ダウンロード]→着信音を選択→☺→[OK]
振動方法を設定する	SMS受信時の振動パターンを設定します。 [OFF]/パターンを選択→☺→[OK]
文字サイズを設定する	本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
着信ランプを設定する	SMS受信時の着信ランプを点滅させるかどうかを設定します。
署名をつける	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名を編集する	挿入する署名の内容を設定します。 署名(全角20/半角45文字*まで)を入力→☺(完了)→[OK] * 半角カナは20文字まで
受信拒否を設定する	▶P.50「受信フィルターを設定する」

◎ SMS設定画面→☺(サブメニュー)→[設定を初期化]→[はい]→[OK]と操作すると、設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

受信フィルターを設定する

- 1 待受画面で☺(長押し)→☺(サブメニュー)→[設定する]→[受信拒否を設定する]
- 2

拒否リストで拒否	指定した番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
拒否リストを編集	拒否リストに登録します。 ☺(追加)→[電話帳呼出]と操作すると番号を引用できます。 ・受信ボックスから受信したメッセージを選択して☺(サブメニュー)→[受信拒否追加]→[OK]と操作しても登録できます。 ・登録した電話番号を削除するには、削除する番号を選択→☺(削除)→1件削除→[はい]→[OK]と操作します。 ・電話番号は、最大150件まで登録できます。
電話帳登録外拒否	電話帳に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。

PCメール

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。
・PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります。

PCメールのアカウントを設定する

アカウントを登録する

・設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。

- 1 待受画面で☺→[ツール]→[PCメール]
初回起動時にはプライバシーポリシーの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 2 画面に従って操作

アカウントの設定を変更する

- 1 待受画面で☺→[ツール]→[PCメール]
- 2 ☺(サブメニュー)→[設定]→アカウントを選択→☺
- 3 各項目を設定

PCメールを送信する

- 1 待受画面で☺→[ツール]→[PCメール]
- 2 [新規作成]
- 3 アドレス入力欄を選択→☺→宛先を入力
- 4 件名入力欄を選択→☺→件名を入力
- 5 本文入力欄を選択→☺→本文を入力
- 6 ☺(送信)

PCメールを受信する

- 1 待受画面で☺→[ツール]→[PCメール]
- 2 [受信トレイ]
受信トレイ画面が表示されます。

PCメール内容表示画面の見かた

PCメール一覧画面でPCメールを選択するとPCメール内容表示画面を表示します。



- ① 差出人の名前/メールアドレス
- ② 件名
- ③ 受信日時
- ④ 本文
- ⑤ 添付ファイル
- ⑥ サブメニュー
メニューを表示します。
- ⑦ スターアイコン
- ⑧ 返信

インターネット

インターネット.....	52
インターネットに接続する.....	52
ブラウザ.....	52
ブラウザを利用する.....	52

インターネット

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。

◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用することができません。

データ通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。

LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、待受画面で◎→[設定]→[その他]→[ネットワーク]→[ネットワーク設定]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]→[LTE NET for DATA]と操作してください。

◎ データ通信料定額/割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、データ通信料定額/割引サービスについては、最新のau総合カタログ/auのホームページをご参照ください。

データ通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額/割引サービスの加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。

<https://www.au.com/support/>

ブラウザ

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

- ブラウザでWebページを表示すると、タッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.24)をご参照ください。
- はじめてWebページを表示したときは許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

ブラウザメニューを利用する

1 待受画面で◎

ブラウザメニュー画面が表示されます。

2 ホームページ	▶P.52「Webページを表示する」
ブックマーク	▶P.52「ブックマーク/履歴を利用する」
URL入力・Web検索	▶P.52「URL入力・Web検索を利用する」
履歴	▶P.52「ブックマーク/履歴を利用する」
My au	My auのホームページを表示します。
ダウンロード	▶P.52「ダウンロードの履歴を確認する」
設定	▶P.52「ブラウザを設定する」
使ってみよう ~タッチクルーザーEXのススメ~	タッチクルーザーEXの操作について確認できます。

Webページを表示する

1 ブラウザメニュー画面で[ホームページ]

ホームページ画面が表示されます。

初回起動時には確認画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

- ◎ ブラウザ設定の「ホームページを設定」で設定したページを表示します。
- ◎ 非常に大きなWebページをブラウザで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

ブックマーク/履歴を利用する

1 ブラウザメニュー画面で[ブックマーク]/[履歴]

2 ブックマーク/履歴を選択

- ◎ ◎ (ブックマーク/履歴) を押して、ブックマークと履歴の一覧画面を切り替えられます。
- ◎ ブックマーク画面で◎ (サブメニュー) を押すとメニュー項目が表示され、フォルダの作成、ブックマークの削除/並べ替えなどの操作が行えます。
- ◎ 履歴画面で履歴を選択して◎ (サブメニュー) を押すとメニュー項目が表示され、ブックマークに登録や履歴の削除などの操作が行えます。

URL入力・Web検索を利用する

URLを直接入力してサイトを表示できます。また、キーワードを入力して、Webページの情報を検索できます。

1 ブラウザメニュー画面で[URL入力・Web検索]

2 URL/キーワードを入力◎

入力したURLのページまたはキーワードで検索した結果のページが表示されます。

入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。

- ◎ キーワードを入力して検索するときは、ブラウザ設定の「検索エンジンの設定」で指定した検索エンジンを使用します。

ダウンロードの履歴を確認する

ブラウザでダウンロードした画像などの履歴を確認できます。

1 ブラウザメニュー画面で[ダウンロード]

ブラウザを設定する

1 ブラウザメニュー画面で[設定]

ブラウザ設定画面が表示されます。

2 各種項目を設定

ブラウザ画面の表示／文字サイズの拡大／縮小をする

■ 画面表示の拡大／縮小をする

1 ブラウザ画面で[1] (縮小) / [3] (拡大) → Ⓞ

[1] / [3] を押すごとに、画面表示を変更できます。

- 拡大／縮小の操作中は、Ⓞ を押しても画面表示を変更できません。

Ⓞ 一部のWebページでは利用できない場合があります。

■ 文字サイズの拡大／縮小をする

1 ブラウザ画面で[4] (縮小) / [6] (拡大) → Ⓞ

[4] / [6] を押すごとに、文字サイズを変更できます。

- 拡大／縮小の操作中は、Ⓞ を押しても文字サイズを変更できません。

Ⓞ 一部のWebページでは利用できない場合があります。

ブラウザ画面のサブメニューを利用する

1 Webページを表示中にⓄ (サブメニュー)

2 ※ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

進む	Ⓞ (戻る) を押してページを戻したときに表示され、Ⓞ (戻る) を押す前に表示していたページに移動します。
ブックマーク一覧	▶ P.52「ブックマーク／履歴を利用する」
ブックマークへ登録	表示中のサイトをブックマークに登録します。
履歴	▶ P.52「ブックマーク／履歴を利用する」
新規タブ作成	表示中のタブとは別に、新しいタブを表示します。
タブ一覧	開いているタブの一覧を表示します。
検索／URL入力	▶ P.52「URL入力・Web検索を利用する」
再読み込み／停止	表示中のサイトの再読み込み／読み込み中止を行います。
拡大縮小	Ⓞ で表示を拡大／縮小します。
文字サイズ変更	Ⓞ で文字を拡大／縮小します。
音量変更	音量を調節します。
画像保存モード	画像保存モードに切り替わります。 Ⓞ でポインタを操作し、画像を選択して保存できます。
テキストコピー	▶ P.53「Webページの文字をコピーする」
ホーム	「ホームページを設定」で設定したページを表示します。
ダウンロード	ダウンロードの履歴を表示します。
設定	▶ P.52「ブラウザを設定する」
このリンク	選択したリンクを新しいタブで開いたり、リンク先を保存できます。
ページ情報	表示しているページの情報を表示します。
ページ検索	キーワードを入力して、ページ内を検索します。
ヘルプ	ブラウザのヘルプを表示します。

Webページの文字をコピーする

1 Webページを表示中にⓄ (サブメニュー) → [テキストコピー]

矢印のポインタが表示されます。

2 Ⓞ でポインタをコピー開始位置に移動 → Ⓞ

- タッチクルーザーEXのポインタとは異なります。Ⓞ で操作してください。

3 Ⓞ でコピー範囲を選択

- 開いているページの文字をすべて選択したいときはⓄ (サブメニュー) → [全選択] と操作します。

4 Ⓞ (サブメニュー) → [コピー]

タッチクルーザーEXで操作する

タッチクルーザーEXの機能を利用して、ブラウザを快適に閲覧できます。タッチクルーザーEXについて詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶ P.24)をご参照ください。

- ブラウザを起動すると、自動的にタッチクルーザーEXが有効になります。

1 タッチクルーザーEXを使って操作する

タップ: 項目を選択したり、決定します。

フリック: 画面をロングタッチして「+」を表示した状態で、画面を上下にスクロールします。

ダブルタップ: 画像を拡大／縮小します。

Ⓞ ブラウザを利用中にⓄ キーが動作しなくなったときは、タッチクルーザーEXを有効にするとカーソルの操作が可能になる場合があります。




アプリ・サービス

カメラ	56
カメラをご利用になる前に	56
静止画／動画を撮影する	56
カメラの機能を利用する	57
データフォルダ	58
データフォルダを利用する	58
画像を編集する	59
SHSHOW	60
SHSHOWを利用する	60
auナビウォーク	60
auナビウォークを利用する	60
セルフチェック	60
セルフチェックを利用する	60
My au(au お客さまサポート)	60
My auを利用する	60
auスマートサポート	60
auスマートサポートでできること	60
位置検索サポート	60
遠隔操作サポート	61
遠隔操作サポートを利用する	61
あんしんフィルター for au	61
あんしんフィルター for auを利用する	61
auスマートパス	62
auスマートパスを利用する	62
データお預かり	62
データお預かりを利用する	62
テレビde写真	62
テレビde写真を利用する	62
モバイルSuica	62
モバイルSuicaを利用する	62

カメラ

カメラをご利用になる前に

- ・レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- ・撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがつかないようにご注意ください。また、ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- ・動画を撮影する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、撮影時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- ・不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- ・マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。音量は変更できません。
- ・レンズ部に直射日光等の強い光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して静止画／動画が変色することがあります。
- ・本製品を暖かい場所に長時間置いた後に静止画／動画を撮影したり、保存したりすると、静止画／動画が劣化することがあります。
- ・カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- ・被写体がメインディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、静止画がぶれる原因となります。
- ・蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー(人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき)を感知してしまい、画面にうすいしま模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- ・本製品のカメラで撮影した静止画／動画は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- ・次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - ・強い逆光のもとにある被写体
 - ・光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - ・暗い場所にある被写体
 - ・動きが速い被写体
- ・カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- ・太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとする、静止画／動画が暗くなったり、静止画／動画が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- ・動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- ・暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた静止画などになる可能性があります。
- ・撮影モードの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- ・お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- ・電池残量が  (残量約10%) 以下の場合、カメラを起動できません。
- ・次の場合は、カメラを使用できないことがあります。
 - ・長時間の使用により本体の温度が上昇した場合
 - ・冬の屋外での使用など極端に温度が低い場合
 - ・他のアプリケーションを起動している場合

静止画／動画を撮影する

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

カメラはタッチクルーザーEXに対応しています。タッチクルーザーEXの操作については詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.24)をご参照ください。

■ 静止画を撮影する

1 待受画面で

静止画撮影画面が表示されます。

⊖:ズームアウト/ズームイン

☀:明るさの調整

⊙(設定):カメラの設定メニューを表示

Ⓜ(プレビュー):撮影した静止画を表示

🔒(フォーカス):フォーカスをロック

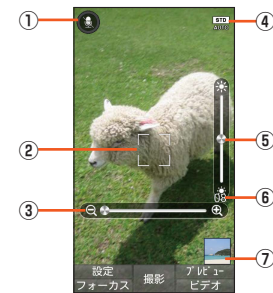
📹(ビデオ):動画撮影に切替

ⓧ:画面アイコンの表示/非表示切替

2 ●(撮影)

撮影し、静止画を保存します。

■ 静止画撮影画面の見かた



《静止画撮影画面》

① 音声認識

② フォーカスマーク

「顔優先AF」を設定している場合は、人の顔を検出してフォーカス動作を行います。ポインタで被写体の位置をタップすると、フォーカス位置を指定できます。

③ ズーム

④ 撮影モード

⑤ 明るさ調整

⑥ 撮影可能枚数

残り撮影枚数が99枚以下になると表示されます。

⑦ ミニプレビュー

直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。

◎ タッチクルーザーEXのポインタで各アイコンやミニプレビューを選択すると、各アイコンに対応した機能を起動したり撮影した静止画を再生します。

■ 動画を撮影する

1 待受画面でⓂ(長押し)

- 動画撮影画面が表示されます。
- Ⓜ:ズームイン/ズームアウト
- Ⓜ:明るさの調整
- Ⓜ(設定):カメラの設定メニューを表示
- Ⓜ(プレビュー):撮影した動画を再生
- Ⓜ(フォト):静止画撮影に切替
- Ⓜ:画面アイコンの表示/非表示切替

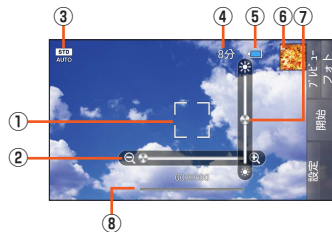
2 ●(開始)

- 動画の撮影を開始します。
- 動画撮影中にⓂ(撮影)を押すと静止画を撮影できます。

3 ●(停止)

- 動画撮影を終了し、動画を保存します。

■ 動画撮影画面の見かた



《動画撮影画面》

- ① フォーカスマーク
- ② ズーム
- ③ 撮影モード
- ④ 撮影残時間
- ⑤ 電池残量
- ⑥ ミニプレビュー
直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。
- ⑦ 明るさ調整
- ⑧ 撮影時間

◎ タッチクルーザーEXのポインタで各アイコンやミニプレビューを選択すると、各アイコンに対応した機能を起動したり撮影した動画を再生します。

カメラの機能を利用する

カメラを設定する

1 待受画面でⓂ/Ⓜ(長押し)→Ⓜ(設定)

2 ※ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ビデオへ切替	動画撮影に切り替えます。
カメラへ切替	静止画撮影に切り替えます。
モード切替	撮影環境や被写体に合わせて撮影モードを切り替えることができます。 • 静止画/動画撮影画面で[2]を押しても設定できません。 カメラ 連写撮影、魚眼レンズ、ミニチュア効果、パノラマモードのとき通常のカメラに切り替えます。 おまかせ 被写体に合わせて自動的に調整するモードです。 標準 標準的なモードです。 人物 人物撮影に適したモードです。 夜景人物 夜景での人物撮影に適したモードです。 風景 風景撮影に適したモードです。 夜景 夜景撮影に適したモードです。 料理 料理を撮影するのに適したモードです。 テキスト 文字を撮影するのに適したモードです。 セピア セピア効果で撮影するモードです。 モノクロ モノクロ撮影するモードです。 銀残し 暗部を暗く、コントラストを強調して撮影するモードです。 連写撮影 1回の撮影で、12~50枚の写真を撮影するモードです。 魚眼レンズ 魚眼レンズを利用したような歪んだ写真を撮影するモードです。 ミニチュア効果 ミニチュアで再現したような風景写真を撮影するモードです。 パノラマ パノラマサイズで撮影するモードです。 バーコードリーダー バーコードリーダーを起動します。(▶P.58)
自動位置情報付加	位置情報を自動的に付加するかどうかを設定します。 • 静止画/動画撮影画面で[4]を押しても設定できません。
撮影サイズ	撮影サイズを設定します。 • 静止画/動画撮影画面で[1]を押しても設定できません。
HDR	逆光などコントラストが強いシーンで、白とびを軽減して撮影するかどうかを設定します。 • 静止画撮影画面で[6]を押しても設定できません。
音声操作設定	音声認識での操作を使用するかどうかを設定できます。 • 静止画撮影画面で[5]を押しても設定できません。
詳細設定	▶P.58「カメラの詳細設定をする」
ヘルプ	カメラのヘルプを表示します。 • 静止画/動画撮影画面で[0]を押しても表示できません。

カメラの詳細設定をする

1 待受画面で \odot / \odot (長押し)→ \oplus (設定)→[詳細設定]

※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ISO感度	撮影場所の明るさに合わせて、光を取り込む感度を設定します。
ホワイトバランス	撮影場所の光源に合わせて色調補正を設定できます。
マイク	動画撮影時にマイクを利用するかどうかを設定します。
シャッターモード	被写体が笑ったときや、振り向いたときに自動で撮影するかどうかを設定します。
セルフタイマー	タイマーをセットし自動で撮影するかどうかを設定します。 ・静止画/動画撮影画面で $\mathbf{3}$ を押しても設定できます。
フォーカス設定	被写体に合わせてフォーカスを設定します。
手ぶれ軽減	手ぶれ軽減を利用するかどうかを設定します。 ・静止画撮影画面で \mathbf{Z} を押しても設定できます。
ちらつき防止	蛍光灯のある場所で撮影するとき、画面にしま模様が出にくくなるように設定できます。
保存先設定	保存先を本体またはmicroSDメモリカードに設定します。
微速度撮影間隔	動画撮影時の撮影間隔について設定します。

◎機能によっては、同時に設定できない場合があります。

ISO感度について

◎「ISO感度」を高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画像は粗くなります。

ホワイトバランスについて

◎室内で撮影すると画面が黄色くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスを「蛍光灯」や「電球」に設定して撮影すると改善されます。
◎白熱電球などで撮影すると画面が赤くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスを「電球」に設定して撮影すると改善されます。

バーコードリーダーを利用する

バーコードにカメラをかざして情報を読み取ることができます。読み取った内容は、電話帳への登録やEメールの作成などに利用できます。

1 待受画面で \odot →[カメラ]→[バーコードリーダー]

2 読み取りたいバーコードにカメラをかざしてメインディスプレイに表示

バーコードを自動的に読み取ります。

- ・読み取りに成功したら、データの種別に応じて発信・登録などをしてください。
- ・ \odot (読取中断)を押すと、読み取りを一時的に中断します。 \odot (再認識)を押すと読取を再開します。

■ バーコードリーダーのサブメニューを利用する

バーコードがうまく読み取れないときに、明るさを調整することができます。また、登録したデータの確認もできます。

1 バーコード読み取り画面で \oplus (サブメニュー)

2 各項目を設定

- ◎バーコードが汚れている、かすれている、薄いなどの場合は、読み取れないことがあります。
- ◎メインディスプレイ内に複数のバーコードが表示されている場合は、読み取れないことがあります。
- ◎カメラのレンズ部に指紋や油脂などが付着していると、バーコードがぼやけて読み取れなかったり、髪の毛やほこりなどのゴミがついて間違えて読み取ったりすることがあります。読み取る前に柔らかい布などで拭いてください。

データフォルダ

データフォルダを利用する

データを表示/再生する

データフォルダは、本体メモリまたはmicroSDメモリカード内のデータを分類して一覧表示し、再生/表示/確認、管理を行うことができます。

1 待受画面で \odot →[データフォルダ]

カテゴリが表示されます。

- ・データフォルダはタッチクルーザーEXに対応しています。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.24)をご参照ください。

2 写真	カメラで撮影した静止画を表示します。
画像	撮影した静止画やダウンロードした画像コンテンツなどを表示します。
音楽	音楽や効果音(サウンド)を表示します。
動画	動画を表示します。
書類	Officeのデータおよびテキストデータを表示します。
その他	その他のデータを表示します。
ユーザーフォルダ	ユーザーフォルダを表示します。

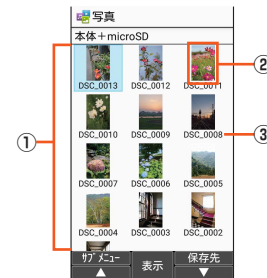
3 コンテンツ表示画面からデータを選択→ \odot (表示/再生/開く)

データの種別に応じたアプリケーションが起動し、データを再生/表示します。

- ・手順2で「ユーザーフォルダ」を選択した場合は、フォルダを選択するとコンテンツ表示画面が表示されます。

- ◎データを再生/表示するアプリケーションが本製品に複数存在する場合、アプリケーションを選択する画面が表示されることがあります。
- ◎データフォルダで表示されるデータの中には、表示や再生ができないものもあります。
- ◎ユーザーフォルダにはデータの種別にかかわらず、他のカテゴリからデータを移動して整理できます。

■ コンテンツ表示画面の見かた



《コンテンツ表示画面(グリッド表示)》

- 1 コンテンツ表示エリア
データの一覧を表示します。
- 2 サムネイル
- 3 ファイル名

■ データを個別に操作する

1 コンテンツ表示画面でデータを選択→ \odot (表示/再生/開く)

2 \oplus (サブメニュー)

※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

送信	選択したデータをBluetooth®や赤外線、メール添付などで送信したりできます。
削除	選択したデータを削除します。
スライドショー	スライドショーを表示します。
画像編集	画像を編集します。 ・詳しくは「画像を編集する」(▶P.59)をご参照ください。
画像を登録	壁紙や電話帳に画像を登録します。
設定	スライドショーやシャープネスの表示設定をします。
詳細情報	選択したデータの詳細情報を表示します。

画像を登録について

- ◎著作権保護されたデータは、登録データとして利用できないことがあります。

データを移動／コピーする

本体メモリ、またはmicroSDメモリカードに保存したデータの保存場所を移動したり、コピーしたりできます。

- 1 待受画面で○→[データフォルダ]
- 2 カテゴリを選択→○
- 3 ⊕(サブメニュー)→[移動・コピー]
- 4 [microSDへ移動]／[microSDへコピー]／[本体へ移動]／[本体へコピー]／[ユーザーフォルダへ移動]／[ユーザーフォルダへコピー]
- 5 移動／コピーするファイルを選択→○
選択されたファイルに☑が付きまます。
・すべてのデータを選択する場合は⊕(全選択)を押します。⊖(全解除)を押すと選択しているデータをすべて解除します。
- 6 ⊕(移動／コピー)
・「ユーザーフォルダへ移動」または「ユーザーフォルダへコピー」を選択した場合は、続けて移動／コピー先のフォルダを選択して○を押します。

データ保存先の表示を変更する

- 1 待受画面で○→[データフォルダ]
- 2 カテゴリを選択→○
- 3 ⊕(保存先)→[本体+microSD]／[本体]／[microSD]

コンテンツ表示画面のサブメニューを利用する

- 1 待受画面で○→[データフォルダ]
- 2 カテゴリを選択→○
・「ユーザーフォルダ」を選択した場合は、続けて表示するフォルダを選択して○を押します。
- 3 ⊕(サブメニュー)
- 4 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

表示切替	リスト／グリッド／プレビュー表示を切り替えます。
フォルダ一覧／コンテンツ一覧	データフォルダの表示をフォルダ一覧／コンテンツ一覧に切り替えます。
画像編集	画像を編集します。 ・詳しくは「画像を編集する」(▶P.59)をご参照ください。
送信	選択したデータをBluetooth®や赤外線、メール添付などで送信したりできます。
移動・コピー	選択したデータを移動／コピーします。
1件削除	選択した1件のデータを削除します。
選択削除	選択したデータを削除します。
ソート	保存されているデータの並び順を変更します。
画像を登録	壁紙や電話帳に画像を登録します。
登録	音楽ファイルを着信音などに登録します。
メモリ使用状況	microSDメモリカードと本体メモリの容量を表示します。
詳細情報	選択したデータの詳細情報を表示します。

登録について

◎著作権保護されたデータは、登録データとして利用できないことがあります。

ユーザーフォルダのサブメニューを利用する

- 1 待受画面で○→[データフォルダ]
 - 2 [ユーザーフォルダ]
 - 3 フォルダを選択→⊕(サブメニュー)
 - 4
- | | |
|---------|----------------------------------|
| フォルダ名編集 | 選択したフォルダのフォルダ名を編集します。 |
| フォルダ作成 | 新規フォルダを作成します。 |
| フォルダ削除 | 選択したフォルダを削除します。フォルダ内のデータも削除されます。 |

画像を編集する

画像編集で編集する

- 1 待受画面で○→[データフォルダ]
 - 2 「写真」／「画像」／「ユーザーフォルダ」→○
・「ユーザーフォルダ」を選択した場合は、続けて表示するフォルダを選択して○を押します。
 - 3 データを選択→⊕(サブメニュー)→[画像編集]
 - 4 ⊕(サブメニュー)
 - 5
- | | |
|--------|-----------------------------|
| トリミング | 画像を切り取ります。 |
| リサイズ | 画像のサイズを変更します。 |
| 回転 | 画像を回転させます。 |
| 鏡 | 画像を鏡に映したように上下左右に反転させます。 |
| エフェクト | 画面にモノクロや魚眼、ミニチュアなどの効果を与えます。 |
| 補正効果 | 画面の明るさやシャープネスなどを補正します。 |
| 日付スタンプ | 画面に日付スタンプを追加します。 |
| 顔かくし | 顔と認識された画像に処理を施してかくします。 |

SHSHOW

SHSHOWを利用する

コンテンツのダウンロードや閲覧などのさまざまなサービスを利用できます。

- 1 待受画面で①→[アプリ サービス]→[SHSHOW]
初回起動時には利用規約画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 2 サービスを選択→①

auナビウォーク

auナビウォークを利用する

鉄道やバス、飛行機、フェリー、車などさまざまな交通手段と徒歩を組み合わせる最適なルートをご案内します。
徒歩ルートの際は音声とパイプでわかりやすくナビゲートするので、初めて訪れる場所でも安心です。

- 1 待受画面で①→[アプリ サービス]→[auナビウォーク]
- 2 画面に従って操作

セルフチェック

セルフチェックを利用する

本製品の設定や状態を診断し、問題が見つかった場合は状況や解決方法を確認したりできます。

- 1 待受画面で①→[設定]→[その他]→[セルフチェック]
セルフチェックトップ画面が表示されます。
- 2 ②(診断開始)→診断対象を選択→③→④(次へ)→⑤(次へ)
→⑥(診断)
診断対象ごとに説明画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

My au (au お客さまサポート)

My auを利用する

月々のご請求金額やご利用状況などを簡単に確認できるほか、My auウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申し込み・変更手続きができます。

- 1 待受画面で①→[安心 安全]→[My au]
My auのトップ画面が表示されます。
・初めて起動したときは画面の指示に従ってログインしてください。
- 2 確認する項目を選択
現在のご利用状況、ご請求金額、ご契約内容の確認や、各種お手続きができます。

auスマートサポート

auスマートサポートでできること

24時間365日体制*1のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「遠隔操作サポート(リモートサポート)」のアプリケーションを利用して、遠隔操作によるサポートサービスを利用することができます。
その他、初期設定・基本操作や人気アプリの利用方法をご自宅に訪問し丁寧に説明する「スマホ訪問サポート」*2(8,500円~14,500円/回、税抜)*3や、初心者の方にも分かりやすい「使い方ガイド本」*4プレゼントなど、安心してスマートフォンをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。ご利用にはお申込みが必要です。ご利用料金や詳細については、auホームページ(<https://www.au.com/>)をご確認ください。

- *1 22時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。
- *2 訪問先はおお客様のご契約住所に限ります。また、別途交通費がかかる地域がございます。
- *3 コースにより料金が異なります。コースやメニューの内容はauホームページをご確認ください。
- *4 本のプレゼントは一回限りとなります。

◎「遠隔操作サポート」のご利用にあたっては、「遠隔操作サポートを利用する」(▶P.61)を合わせてご参照ください。

位置検索サポート

位置検索サポートをご利用になると、au電話の置き忘れや紛失時に、お客さまセンターがお客さまに変わってau電話のおおよその位置を検索したり、画面やおサイフケータイ®のロックをかけることができます。

お客さまセンターに電話して位置検索・遠隔ロックをかける/解除する

一般電話からは ☎ 0077-7-113(通話料無料)
au電話からは 局番なしの113(通話料無料)
受付時間 24時間(年中無休)
・音声ガイダンスに従ってお手続きをしてください。

位置検索の設定を切り替える

本製品は、あらかじめ位置が検索できるように位置測位設定が「許可する」に設定されています。

次の操作から位置測位設定を変更することができます。

- 1 待受画面で①→[設定]→[位置情報]
- 2 [位置測位設定]→[許可する] / [許可しない]

遠隔ロックご利用にあたっての注意

- ・遠隔ロックはご契約者からのお申し出があった場合にご利用いただけます。
- ・本製品の電源が入っていない場合や、本製品がサービスエリア外にある場合、「機内モード」が「ON」に設定されている場合は、遠隔ロックを起動できません。また、電波の弱い場所に本製品がある場合は、遠隔ロックを起動できない場合があります。
- ・au ICカードが挿入されていない場合やお客さまのau ICカード以外のカードが挿入されている場合は、遠隔ロックの起動や、遠隔ロックの解除ができません。
- ・本製品を紛失した場合は、遠隔ロックに加えて紛失時の手続きを行うことをおすすめします。紛失時の手続きについては、「アフターサービスについて」(▶P.97)をご参照ください。

遠隔ロックによる制限内容

遠隔ロック中は、次のように本製品の仕様が制限されます。

- ・「ロック」、「おサイフケータイロック」が一時的にかかります。
- ・待受画面は表示されず、「リモートロック中。」と表示されます。
- ・アラームは、起動しません。

◎ 位置検索について月額使用料は無料です。

◎ 遠隔ロックは無料でご利用いただけます。遠隔ロック中でも、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へは、[緊急発信]→番号を入力→②(発信)で電話をかけることができます。緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」「186」を入力してから電話をかけることもできます。

遠隔操作サポート

遠隔操作サポートを利用する

携帯電話の操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客様の携帯電話の画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

※ ご利用にあたってはauスマートサポートまたはauスマートパス、故障紛失サポートへの加入が必要です。

1 お客さまセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートパス会員は局番なしの157番（au電話から／通話料無料）、☎0077-7-1111（一般電話から／通話料無料）までご連絡ください。auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

2 待受画面で◎→[安心 安全]→[遠隔操作サポート]

初回起動時には許可画面や使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

3 オペレーターの指示に従って操作

あんしんフィルター for au

あんしんフィルター for auを利用する

お子様に携帯電話を安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。

お子様の年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」・「高校生プラス」の4段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブページやアプリの制限／許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。

・ au IDでご利用の場合はau IDが必要です。au IDの設定方法については、「設定ガイド」をご参照ください。

1 待受画面で◎→[安心 安全]→[あんしんフィルター for au]

初めて起動したときは、許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。

・ あんしんフィルター for auを起動するとタッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.24)をご参照ください。

2 [au 電話番号でログイン]または[au IDでログイン]

画面の指示に従って、操作してください。

※ ご利用になるお子様のau電話番号もしくはau IDでログインしてください。

※ 旧サービス「安心アクセス」から継続でご利用されるお子さまの場合のみ、au IDでログインしてください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生	<ul style="list-style-type: none">・ お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。・ 本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。・ EMA*が認定するサイト／アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生	<ul style="list-style-type: none">・ お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。・ 本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。・ EMA*が認定するサイト／アプリは利用可能です。
高校生	<ul style="list-style-type: none">・ お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。・ 本製品内の個人情報を読み取るアプリも利用できません。・ EMA*が認定するサイト／アプリは利用可能です。
高校生プラス	<ul style="list-style-type: none">・ お子様の閲覧に不適切なサイトの閲覧やアプリの利用はできません。・ 本製品内の個人情報を読み取るアプリも利用できません。・ EMA*が認定するサイト／アプリは利用可能です。

※ 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

5 [サービスを利用開始する]→[OK]

「デバイス管理機能」を有効にする画面が表示されます。

6 [有効にする]

ウェブページが表示されます。

管理者情報を登録する

1 待受画面で◎→[安心 安全]→[あんしんフィルター for au]

2 ⊕(サブメニュー)→[管理者登録]

管理者登録の設定画面が表示されます。

3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力→◎(完了)→管理者ID(確認)を入力→◎(完了)→[管理者ID確認へ進む]

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]

管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→◎(完了)→[管理者登録を行う]→[OK]

◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。

・ 本製品から接続することはできません。管理者ページのURLの共有のみ行えます。

1 待受画面で◎→[安心 安全]→[あんしんフィルター for au]

2 ⊕(サブメニュー)→[設定]→[管理者ページについて]

3 [URLを共有]

メールや赤外線送信などで管理者ページのURLを共有できます。

◎ 詳しくはauホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/4glte-featurephone/safety/anshin-access/>

auスマートパス

auスマートパスを利用する

[auスマートパスプレミアム]/[auスマートパス]を最大限活用するためのアプリです。お得で、楽しく、あしんあなスマホライフを提供します。

・利用方法、最新のお知らせについては、「auスマートパス」アプリをご参照ください。

- ◎ ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ◎ 一部のアプリは、別途有料となる場合があります。

1 待受画面で◎→[auスマートパス]

- auスマートパスTOPページが表示されます。
- ・ auスマートパスアプリのご利用にはau IDのログインが必要です。
 - ・ au IDについて詳しくは、本製品同梱の「設定ガイド」をご参照ください。
 - ・ auスマートパスを起動するとタッチクルーザーEXが有効になります。
- タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.24)をご参照ください。

- ◎ アプリケーションなどにより、お客様が操作していない場合でも、自動的にデータ通信が行われる場合があります。
- ◎ コンテンツによっては、本製品に対応していない場合があります。
- ◎ 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

データお預かり

データお預かりを利用する

これまでお使いのau電話から、microSDメモリーカードやauサーバーを使って本製品にデータを戻す・預けることができます。

- ・ auサーバーを利用してデータを戻す場合は、あらかじめこれまでお使いのau電話でデータをauサーバーに預けてください。auサーバーを利用する場合は、au IDの設定が必要です。
- ・ microSDメモリーカードを利用してデータを戻す場合は、あらかじめこれまでお使いのau電話でデータをmicroSDメモリーカードに保存してください。

1 待受画面で◎→[安心 安全]→[データお預かり]

確認画面が表示された場合は内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 データを保存/戻す	microSDメモリーカードやauサーバーを利用してデータを保存したり、データを戻すことができます。
データ移行	microSDメモリーカードやauサーバーを利用してデータの移行ができます。

テレビde写真

テレビde写真を利用する

[テレビde写真受信機(別売)]をテレビに接続すると、本製品に保存されている写真などをワイヤレスでテレビに映すことができます。

1 テレビde写真受信機(別売)をテレビに接続

- ・ 詳細はテレビde写真受信機(別売)の取扱説明書を参照してください。

2 待受画面で◎→[アプリ サービス]→[テレビde写真]→[テレビde写真]

- テレビde写真がONに切り替わります。
- ・ お買い上げ時の状態では、[]を押してもテレビde写真を起動できません。

3 接続先を選択→◎

4 テレビに映したい画面を本製品で表示

- ◎ Miracastに対応した受信機でも本機能をご利用になれます。
※ 受信機によっては利用できない場合があります。
- ◎ テレビde写真受信機(別売)接続中は、本製品から音量調整できない場合があります。

モバイルSuica

モバイルSuicaを利用する

モバイルSuicaは、携帯情報端末で電車に乗れたり、買い物のできるサービスです。

1 待受画面で◎→[アプリ サービス]→[モバイルSuica]

■ モバイルSuicaのお問い合わせについて

モバイルSuicaコールセンター
050-2016-5005(受付時間:7:00~23:00)

テレビ	64
テレビについて.....	64
テレビの初期設定をする.....	64
テレビ番組を見る.....	64
番組表を利用する.....	64
チャンネルリストを切り替える.....	65
テレビの設定をする.....	65
TVリンクを利用する.....	65
スクリーンショット	65
スクリーンショットを撮影する.....	65
メモ帳	65
メモ帳を登録する.....	65
メモ帳を確認する.....	65
カレンダー	66
カレンダーを表示する.....	66
予定を新規登録する.....	66
カレンダー画面のサブメニューを利用する.....	66
アラーム	66
アラームを利用する.....	66
世界時計	67
世界時計を利用する.....	67
ストップウォッチ	67
ストップウォッチを利用する.....	67
タイマー	67
タイマーを利用する.....	67
歩数計	67
歩数計を利用する.....	67
歩数の履歴を表示する.....	67
歩数計画面のサブメニューを利用する.....	67
電卓	68
電卓で計算する.....	68
ボイスレコーダー	68
ボイスレコーダーを利用する.....	68
au Wi-Fi接続ツール	68
au Wi-Fi接続ツールを利用する.....	68
auシェアリンク	68
auシェアリンクを利用する.....	68
LINE	68
LINEを利用する.....	68
LISMO	68
LISMOを利用する.....	68
mamorino Watchナビ	68
mamorino Watchナビを利用する.....	68

テレビ

テレビについて

テレビ(ワンセグ)は、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信できます。

地上デジタルテレビ放送サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会
<http://www.apab.or.jp/>

■ テレビ利用時のご注意

- テレビの利用には、通話料やデータ通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はデータ通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- テレビ画面表示中は、本製品が温かくなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- テレビは日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。
- 海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はテレビを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。

■ 電波について


次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
 - 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
 - 山間部やビル影
 - 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
 - その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所
- 電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。
- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

■ テレビアンテナについて






本製品にはテレビアンテナが内蔵されています。

■ 電池残量による動作

電池残量が  (残量約10%)未満になるとテレビを起動できません。




テレビの初期設定をする

テレビを初めて起動したときは、視聴するチャンネルリストを設定します。設定が完了すると、テレビ番組を見ることが出来ます。

- 1 待受画面で**  → [ツール] → [テレビ]
使用許諾画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。
- 2 [地域を選んで作成]**
地域が特定できない場合は、「チャンネルを探して作成」を選択して画面の指示に従って操作してください。
- 3 地方を選択** → 
- 4 都道府県を選択** → 
- 5 地域を選択** → 
放送局の検索が開始されます。
- 6 チャンネルリストを確認** →  (完了)








テレビ番組を見る

テレビ番組を視聴する

- 1 待受画面で**  → [ツール] → [テレビ]
 (データ操作/テレビ操作): データ操作モード/テレビ視聴モードの切り替え
 (画面回転): 画面表示を縦画面/横画面に切り替え

■ テレビ視聴モードでのキー操作について







テレビ視聴モードではチャンネルの切り替えや音量の調整ができます。





-  *1 *2: 音量調節(15段階の音量または消音)
-  *1: チャンネルの切り替え、長押しでチャンネルサーチ
-  ~ 、、: チャンネルの切り替え
- : 終了

- *1 画面の表示方法によって操作が異なります。
- *2 Bluetooth®接続中はBluetooth®リモコンから音量の調節が可能となります。ただし、Bluetooth®機器によっては音量の調節ができない場合があります。

■ データ操作モードでのキー操作について

データ操作モードでは情報表示エリアの情報(データ放送)を利用できます。

- : カーソル移動、スクロール
-  ~ 、: コンテンツで割り当てられた項目を選択
- : 項目を選択
- : データ放送の1つ前のページに戻る

- : テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- : 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
- : テレビ起動中はカメラを使用できません。
- : データ放送を見る場合は、通話料やデータ通信料はかかりません。ただし、データ放送で取得した情報からの関連サイトへのアクセスや追加情報の取得には、データ通信料がかかります。


■ テレビ画面の見かた



《テレビ視聴画面》




- ① 番組情報**
番組タイトルや放送局名などを表示します。
- ② 映像**
- ③ 字幕**
字幕表示を有効にすると、字幕欄に字幕が表示されます。
- ④ 情報表示エリア**
- ⑤ 音量**

■ テレビ視聴画面のサブメニューを利用する

- 1 待受画面で**  → [ツール] → [テレビ]
- 2  (サブメニュー)**
- 3** *メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

テレビ終了	テレビを終了します。
画面回転	画面の縦横を切り替えます。
チャンネル一覧	チャンネル一覧を表示します。
番組表	▶P.64「番組表を利用する」
音声/字幕設定	音声切替 音声の出力種別を設定します。 音声多重切替 主音声と副音声の設定をします。 字幕切替 字幕の表示方法を設定します。
チャンネル設定	チャンネルサーチ チャンネルを検索します。 サービス選局 受信中のチャンネルが複数サービス中の場合、視聴するサービスを選択できます。 チャンネルリスト切替 ▶P.65「チャンネルリストを切り替える」 チャンネルリスト編集 ▶P.65「チャンネルリストを切り替える」 チャンネル個別登録 視聴中のチャンネルを選択したりリモコン番号に登録できます。
データ放送再読み込み	データ放送を再読み込みします。
設定	▶P.65「テレビの設定をする」
TVリンク	▶P.65「TVリンクを利用する」
操作ガイド	視聴画面での操作方法を表示します。

■ 番組表を利用する

- 1 待受画面で**  → [ツール] → [テレビ] →  (サブメニュー) → **[番組表]**
番組表画面が表示されます。
- 2 番組を選択** → 
番組詳細画面が表示されます。

チャンネルリストを切り替える

お使いの地域によって受信チャンネルは異なります。チャンネルリストを登録し、お使いの地域に合わせて切り替えることができます。チャンネルリストは3件まで登録できます。

- 1 待受画面で○→[ツール]→[テレビ]→Ⓜ(サブメニュー)→[チャンネル設定]

■登録済みのチャンネルリストに切り替える場合

- 2 [チャンネルリスト切替]→登録済みのチャンネルリストを選択→○

チャンネルリストが切り替わります。

■チャンネルリストを登録する場合

- 2 [チャンネルリスト編集]

チャンネルリスト編集画面が表示されます。

- 3 Ⓜ(サブメニュー)→[作成]

- 4 [地域を選んで作成]

地域が特定できない場合は、「チャンネルを探して作成」を選択して画面に従って操作してください。

- 5 地方を選択→○

- 6 都道府県を選択→○

- 7 地域を選択→○

放送局の検索が開始されます。

- 8 Ⓜ(完了)

■チャンネルリスト編集画面のサブメニューを利用する

- 1 チャンネルリスト編集画面でⓂ(サブメニュー)

2 作成	▶P.65「チャンネルリストを登録する場合」
削除	選択したチャンネルリストの削除を行います。
再スキャン	選択中のチャンネルリストの再設定をします。
チャンネルリスト名変更	選択中のチャンネルリストの名前を変更します。

テレビの設定をする

- 1 待受画面で○→[ツール]→[テレビ]→Ⓜ(サブメニュー)→[設定]

2 データ放送設定	通信接続時の確認 通信開始時に確認画面を表示するかどうかを設定します。 位置情報設定 位置情報の利用について設定します。 製造番号の利用 製造番号を利用するかどうかを設定します。 放送局メモリ初期化 放送局メモリを初期化します。
オフタイマー設定	ワンセグを自動で終了するまでの時間を設定します。
クローズ動作設定	ワンセグ視聴時に、本製品を閉じたときの動作を設定します。
製品情報	ロゴ、著作権、およびバージョンなどの情報を表示します。

TVリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報(TVリンク)が表示される場合があります。TVリンクを登録すると、後で関連サイトに接続できます。
・TVリンクの登録方法は、番組によって異なります。

- 1 待受画面で○→[ツール]→[テレビ]→Ⓜ(サブメニュー)→[TVリンク]

TVリンクリスト画面が表示されます。

- 2 TVリンクを選択→○

TVリンク詳細画面が表示されます。
リンクコンテンツまたはHTMLコンテンツを選択した場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

○ 削除したいTVリンクを選択しⓂ(サブメニュー)→[削除]→[OK]と操作してTVリンクを削除できます。

スクリーンショット

スクリーンショットを撮影する

- 1 とを同時に長押し

表示している画面のスクリーンショットを撮影します。

- ・撮影したスクリーンショットはデータフォルダの「画像」から確認できます。

○ アプリケーションによっては全部または一部が保存できない場合があります。

○ カメラを起動しているときにスクリーンショットを撮影すると、撮影時に効果音が鳴ります。

メモ帳

メモ帳を登録する

- 1 待受画面で○→[ツール]→[メモ帳]

- 2 Ⓜ(新規作成)→内容を入力→○(完了)

メモ帳を確認する

- 1 待受画面で○→[ツール]→[メモ帳]

メモ帳一覧画面が表示されます。

- 2 メモを選択→○

メモ帳表示画面が表示されます。

- 3 内容を確認

■メモを編集する

- 1 メモ帳表示画面でⓂ(編集)

- 2 内容を編集→○(完了)

■メモを削除する

- 1 メモ帳一覧画面／メモ帳表示画面でⓂ(サブメニュー)→[1件削除]→[はい]

■メモを選んで削除する

- 1 メモ帳一覧画面でⓂ(サブメニュー)→[選択削除]

- 2 メモを選択→○→Ⓜ(削除)→[はい]

■メモを送信する

- 1 メモ帳一覧画面／メモ帳表示画面でⓂ(サブメニュー)→[1件送信]

- 2 送信方法を選択→○→[はい]

対応したアプリケーションが起動します。

■メモを選んで送信する

- 1 メモ帳一覧画面でⓂ(サブメニュー)→[選択送信]

- 2 送信方法を選択→○→メモを選択→○→Ⓜ(送信)→[はい]

対応したアプリケーションが起動します。

■メモを検索する

- 1 メモ帳一覧画面でⓂ(サブメニュー)→[メモ検索]

- 2 ○(編集)→キーワードを入力→○(完了)→Ⓜ(検索)→メモを選択→○

■メモを利用する

- 1 メモ帳表示画面でⓂ(サブメニュー)→[メール本文へ挿入]／[.txtに変換]

・変換したテキストファイルは、データフォルダの「書類」から確認できます。

カレンダー

カレンダーを表示する

カレンダーを1週間/1ヶ月単位で表示できます。

1 待受画面で○→[ツール]→[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

画面の最下行に表示された内容に対応するキーを押すと、カレンダーの表示を切り替えることができます。

例:月表示の場合

⊕(表示切替):週表示/月表示を切り替え

⊖(前月):前月を表示

⊕(翌月):翌月を表示

2 予定のある日付/時刻を選択→○

当日の予定リストが表示されます。

3 予定を選択→○

予定の詳細が表示されます。

■ カレンダー画面の見かた



《カレンダー画面(週表示)》

① 月日表示

② 選択されている日時

③ 予定

予定がある場合に表示されます。

登録した予定の期間などによって表示は異なります。

○ 月表示の場合、今日の日付が黄色で表示されます。

予定を新規登録する

1 待受画面で○→[ツール]→[カレンダー]

2 ⊕(サブメニュー)→[予定を作成]

予定の無い日を選択して○を押しても予定を作成できます。

3 必要な項目を設定

4 ⊕(登録)

○ 予定作成画面で⊕(サブメニュー)を選択すると、予定のカラーを設定したり、通知の追加/削除ができます。

カレンダー画面のサブメニューを利用する

1 待受画面で○→[ツール]→[カレンダー]→⊕(サブメニュー)

1	予定を作成	▶P.66「予定を新規登録する」
2	当日予定リスト	選択している日付の当日予定リストを表示します。
	今日へ移動	今日の日付のカレンダーを表示します。
	更新	カレンダーを最新の状態に更新します。
	設定	カレンダーの設定を行います。
	検索	予定を検索します。
	表示するカレンダー	表示するカレンダーの種類を設定します。
	休日設定	指定した日付や特定の曜日を休日に設定できます。

アラーム

アラームを利用する

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 待受画面で○→[ツール]→[アラーム]

アラーム一覧画面が表示されます。

2 登録先を選択→⊕(編集)

・登録先を追加するときは[追加]を選択して○を押してください。

3 時刻を設定→⊕(確定)

4 各項目を設定する

名称	名称を変更します。
繰り返し	繰り返しアラームが鳴動するように設定します。
アラーム音	アラーム音を変更します。
バイブ設定	バイブレータを利用するかどうかを設定します。
スヌーズ設定	スヌーズを利用するかどうかを設定します。

○ アラームを解除するときは、アラーム一覧画面で解除したい登録先を選択して○を押します(「ON」→「OFF」に表示が切り替わります)。

○ アラーム設定時刻に電源が入っていないときは、アラームは動作しません。

○ 通話中にアラーム設定時刻になると、相手の声と一緒に通知音が聞こえます。

アラームを設定した時刻になると

○ アラーム音やバイブレータでお知らせします。

・アラームを解除するには何かキーを押します。

○ スヌーズが設定されているときは○(停止)を押すとスヌーズを停止します。

それ以外のキーを押すとアラームは停止しますが、スヌーズは解除されません。

■ マナーモード中の鳴動を設定する

1 アラーム一覧画面で⊕(サブメニュー)→[設定]→[マナーモード中の鳴動]

■ アラーム消音までの時間を設定する

1 アラーム一覧画面で⊕(サブメニュー)→[設定]→[消音までの時間]

2 時間を選択→○

■ スヌーズ間隔を設定する

1 アラーム一覧画面で⊕(サブメニュー)→[設定]→[スヌーズの間隔]

2 時間を選択→⊕(確定)

■ 祝日/曜日を設定する

1 アラーム一覧画面で⊕(サブメニュー)→[設定]→[祝日設定]/[曜日設定]

2 祝日/曜日を選択→○→⊕(確定)

■ プライベート休日を設定する

1 アラーム一覧画面で⊕(サブメニュー)→[設定]→[プライベート休日設定]

2 画面に従って操作

■ アラーム音量を設定する

1 アラーム一覧画面で⊕(サブメニュー)→[設定]→[アラーム音量]

2 音量を調節→○

■ 登録先を削除する

1 アラーム一覧画面で削除したいアラームを選択→⊕(サブメニュー)

2 [1件削除]→[はい]

■ 登録内容を初期化する

1 アラーム一覧画面で初期化したいアラームを選択→⊕(サブメニュー)

2 [リセット]→[はい]

世界時計

世界時計を利用する

世界各地の時刻を10都市まで表示できます。

1 待受画面で \odot →[ツール]→[世界時計]
世界時計画面が表示されます。

2 [追加]

3 都市を選択→ \odot

■ サマータイムを設定する

1 世界時計画面でサマータイムの設定をしたい都市を選択→ \oplus (サブメニュー)→[サマータイム切り替え]
サマータイムを設定した都市は*が表示されます。

■ 都市を選んで削除する

1 世界時計画面→ \oplus (サブメニュー)→[選択削除]
2 都市を選択→ \odot → \ominus (削除)→[はい]

■ 都市の表示順を並べ替える

1 世界時計画面→ \oplus (サブメニュー)→[並べ替え]
2 並べ替える都市を選択→ \odot → \updownarrow で変更する位置まで移動
→ \odot → \oplus (決定)

ストップウォッチ

ストップウォッチを利用する

ストップウォッチを利用して、経過時間(ラップタイム)/合計経過時間(スプリットタイム)を計測できます。

1 待受画面で \odot →[ツール]→[ストップウォッチ]

2 \odot (スタート)
 \odot (ラップ)を押すとラップタイム/スプリットタイムを計測します。

3 \odot (ストップ)
計測終了後に \ominus (リセット)を押すと、計測結果をリセットできます。

◎ ラップタイム、スプリットタイムの履歴を99件まで記憶できます。99件を超えたときは、古い履歴から順に削除されます。

タイマー

タイマーを利用する

設定した時間が経過したときに、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 待受画面で \odot →[ツール]→[タイマー]
タイマー画面が表示されます。

2 時間を入力→ \odot (スタート)
カウントダウンを開始します。
・ \odot (ストップ): カウントダウンを一時停止します。
・ \oplus (リセット): カウントダウンをリセットします。
・タイマーを設定した時間になるとアラーム音やバイブレータが鳴動します。
停止するには画面に従って操作してください。

■ アラーム音を変更する

1 タイマー画面で \oplus (設定)→[アラーム音]

2 アラーム音を選択→ \odot (確認)→ \oplus (決定)
アラーム音を選択するアプリケーションが複数存在する場合は、アプリケーションの選択画面が表示されます。画面に従って操作してください。

■ バイブレータを設定する

1 タイマー画面で \oplus (設定)→[バイブ設定]
[バイブ設定]を選択して \odot を押すごとにON/OFFが切り替わります。

■ タイマーの名称を変更する

1 タイマー画面で \oplus (設定)→[名称]
2 名称を入力→ \odot (完了)

歩数計

歩数計を利用する

歩数や歩行距離、消費カロリーなどを記録できます。歩数の履歴をグラフで表示して、時間別などで比較することもできます。

1 待受画面で \odot →[ツール]→[歩数計]

2 \oplus (サブメニュー)→[歩数計設定]

3 各項目を設定

お買い上げ時は、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ユーザー情報を正しく設定しておいてください。

◎ 電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。

◎ 歩数計の表示は、1日に一度リセットされます。

歩数測定時のご注意

次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。

◎ 本製品が不規則に動く場合

・本製品を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき

・本製品を腰やかばんなどからぶら下げているとき

◎ 不規則な歩行をした場合

・すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき

・混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき

◎ 上下運動や振動の多いところで使用した場合

・立ったり座ったりしたとき

・スポーツを行ったとき

・階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき

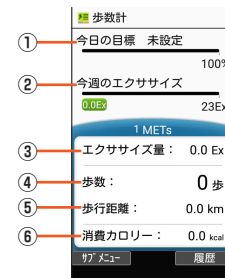
・乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗って、上下振動や横揺れしているとき

・スピーカーから音が出ているとき

・バイブレータが振動しているとき

◎ 極端にゆっくり歩いた場合

■ 歩数計画面の見かた



《歩数計画面》

① 今日の目標達成率(目標設定時のみ有効)

② 今週のエクササイズ(身体活動)量

③ 今日のエクササイズ(身体活動)量

④ 今日の歩数

⑤ 今日の歩行距離

⑥ 今日の消費カロリー

歩数の履歴を表示する

1 待受画面で \odot →[ツール]→[歩数計]

2 \oplus (履歴)

・履歴表示後に \oplus を押すごとに、「日別」/「週別」/「月表示」/「時間別」の表示へ切り替えができます。

・項目を選択して \odot を押すと、詳細情報が表示されます。

歩数計画面のサブメニューを利用する

1 待受画面で \odot →[ツール]→[歩数計]

2 \oplus (サブメニュー)

1 歩数計設定	歩数計の設定ができます。(▶P.68)
2 目標設定	目標の歩数、消費カロリーなどを設定できます。
3 データリセット	累積データをリセットします。
4 累積データ	累積データを確認します。
5 ヘルプ	歩数計のヘルプを表示します。

■ 歩数計の設定をする

1 待受画面で①→[ツール]→[歩数計]

2 ②(サブメニュー)

3 [歩数計設定]

4	歩数計ON	歩数計のON/OFFを設定します。
	ユーザー情報	身長、体重、歩幅を設定します。

電卓

電卓で計算する

1 待受画面で①→[ツール]→[電卓]

2 割り当てられたキーを押して計算する

計算結果画面が表示されます。

■ 計算結果をコピーする

1 計算結果画面で②(サブメニュー)→[コピー]

◎ 電卓がバックグラウンドで動作しているとき、計算結果や履歴情報が削除されることがあります。

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーを利用する

■ 録音する

1 待受画面で①→[ツール]→[ボイスレコーダー]

ボイスレコーダー一覧画面が表示されます。

2 ③(録音)

③(サブメニュー)→[保存先設定]→[本体]/[microSD]と操作すると、保存先を変更できます。

③(一覧)を押すとボイスレコーダー一覧画面が表示されます。

3 ④(録音)

録音開始音が鳴り、録音が始まります。

4 ⑤(停止)

録音が終了します。

5 件名を選択

「直接入力」を選択すると、件名を入力できます。

録音中に端末を閉じたり、電話が着信したり、アラームが鳴動した場合は、録音データを保存の上、録音を終了します。

保存されたデータはボイスレコーダー一覧画面に表示されます。また、データフォルダの「音楽」からも確認することができます。データの移動・コピーなどはデータフォルダで行えます。

■ 録音した音声を再生する

1 ボイスレコーダー一覧画面でデータを選択

データを選択して②(サブメニュー)を押すと、データの件名編集、送信、削除、詳細情報の確認ができます。

2 ⑥(再生)

再生画面で②(サブメニュー)→[再生開始時間]と操作すると、録音の再生開始時間を指定できます。

au Wi-Fi接続ツール

au Wi-Fi接続ツールを利用する

ご自宅にてHOME SPOT CUBEなどの無線LAN(Wi-Fi®)親機と簡単に接続できます。外出先ではau Wi-Fiのご利用可能なスポットですぐにWi-Fi®が使えるようになります。

・利用方法などの詳細については、au Wi-Fi接続ツール画面で②(サブメニュー)→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 待受画面で①→[ツール]→[au Wi-Fi接続ツール]

au Wi-Fi接続ツール画面が表示されます。

初回起動時には許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 画面に従って操作

auシェアリンク

auシェアリンクを利用する

本機に届いた電話着信やSMSなどの新着通知をタブレットにお知らせしたり、本機の画面をタブレットで表示・操作するなど、本機とタブレットを連携させてより便利に使うことができます。

1 待受画面で①→[ツール]

2 [auシェアリンク]

初回起動時には利用規約の画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

自動的にタブレットとのペア設定が開始されます。

・以降は画面の指示に従って操作してください。

LINE

LINEを利用する

LINEはいつでも、どこでも、通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。

・LINEを利用するには事前にアカウントの登録が必要となります。利用方法などの詳細については、LINEのサイトや、LINEの画面→[設定]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 待受画面で①→[LINE]

LINEのトップページが表示されます。

初回起動時には利用規約やログイン画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

LINEを起動すると、タッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」

(▶P.24)をご参照ください。

◎ ゲームなど一部の機能は本製品では利用できません。

◎ 「ユーザー補助」(▶P.84)の「Key Translator」をOFFに変更すると、LINE上でキーのフォーカス表示がされなくなります。「ユーザー補助」については設定を変更せずにご利用ください。

LISMO

LISMOを利用する

音楽を再生したり、最新の音楽情報を調べたりできます。また、楽曲の試聴・購入も可能なアプリです。

・利用方法などの詳細については、LISMOの画面で[ライブラリ]→[設定]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 待受画面で①→[アプリ サービス]→[LISMO]

LISMOのトップページが表示されます。

初回起動時には利用規約の画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 [ライブラリ]→[全曲一覧]/[アーティスト一覧]/[アルバム一覧]/[プレイリスト一覧]→楽曲を選択→②

◎ 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

mamorino Watchナビ

mamorino Watchナビを利用する

mamorino WatchとBluetooth®で接続(ペア登録)することで、アプリからの電話発信・SMS(メッセージ)送信・mamorino Watchの各種設定などを行うことができます。

1 待受画面で①→[ツール]→[mamorino Watchナビ]

初めて起動したときは、利用規約同意画面が表示されます。利用規約の内容をご確認いただき、②(同意)を押してください。

2 画面に従って操作

ファイル管理

ファイル管理	70
本製品の保存領域について	70
microSDメモリカードを利用する	70
ストレージに関する設定をする	71
パソコンと接続する	72

ファイル管理

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリとmicroSDメモリカードにデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリケーションや各アプリケーションが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。

- ◎ アプリケーションによってはmicroSDメモリカードに保存するメニューやメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。
- ◎ 本体メモリやmicroSDメモリカード内のデータは、データフォルダを利用したり、「MTPモード」でパソコンと接続すると、確認や移動などを行うことができます。ただし、アプリケーションなど、一部のデータは確認や移動することはできません。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカードについて

microSDメモリカード(microSDHCメモリカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存/移動/コピーすることができます。

- ◎ 他の機器でフォーマットしたmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品でフォーマットしてください。フォーマットについて詳しくは、「microSDメモリカードをフォーマットする」(▶P.71)をご参照ください。
- ◎ microSDメモリカード内のデータを再生/表示する場合は、データフォルダを利用してください。データフォルダについて詳しくは、「データを表示/再生する」(▶P.58)をご参照ください。
- ◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動/コピーは行っても本製品で再生できない場合があります。

■ 取扱上のご注意

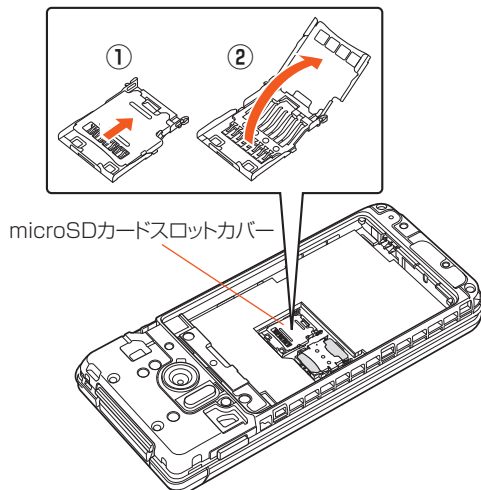
- ・ microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ・ 本製品はmicroSD/microSDHCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける

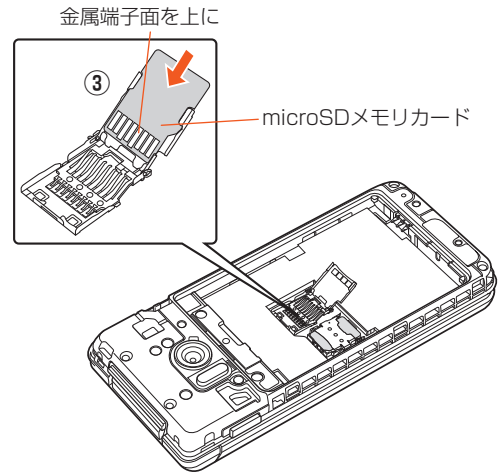
microSDメモリカードの取り付けは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

1 microSDカードスロットカバーを下に軽く押しながらスライドさせてロックを外し(①)、開く(②)

- ・ カチッと音がするまで、microSDカードスロットカバーをスライドさせてください。



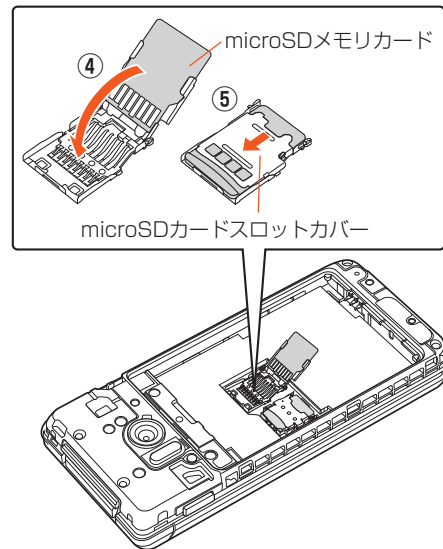
2 microSDメモリカードの金属端子面を上に向けてゆっくりと挿入する(③)



- ・ microSDメモリカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態無理に押し込まないでください。microSDカードスロットカバーが破損することがあります。

3 microSDカードスロットカバーを閉じ(④)、下に軽く押しながらスライドさせてロックする(⑤)

- ・ カチッと音がするまで、microSDカードスロットカバーをスライドさせてください。

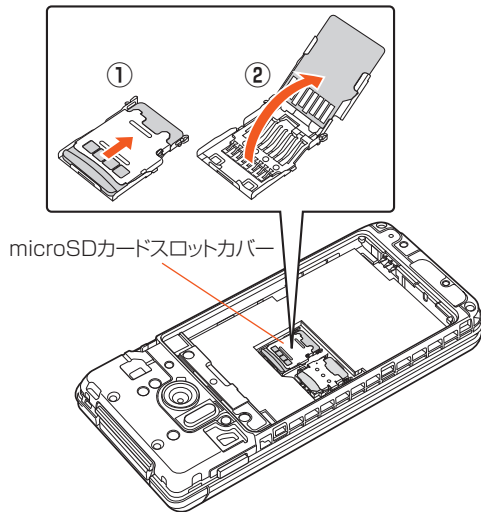


- ◎ microSDメモリカードには、表裏/前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。
- ◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

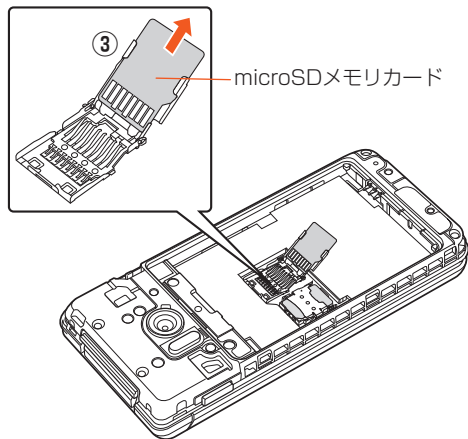
microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードの取り外しは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

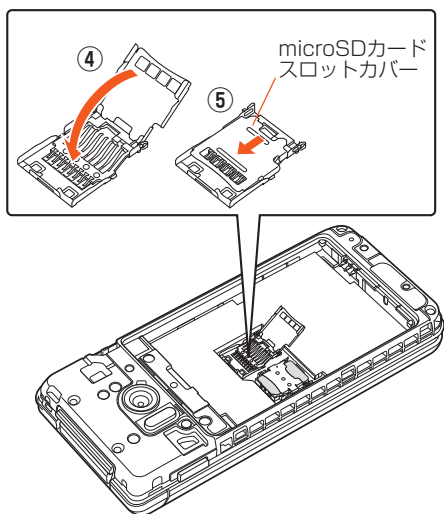
- 1 microSDカードスロットカバーを下に軽く押しながらスライドさせてロックを外し(①)、開く(②)



- 2 microSDメモリカードを取り外す(③)
・ゆっくりとまっすぐに取り外してください。



- 3 microSDカードスロットカバーを閉じ(④)、下に軽く押しながらスライドさせてロックする(⑤)



◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

ストレージに関する設定をする

ストレージの設定をする

- 1 待受画面で◎→[設定]→[その他]→[ストレージ]

- 2 ※ 下記以外に本体メモリやmicroSDメモリカードの容量などが確認できます。

microSDのマウント解除 / microSDをマウント	microSDメモリカードを本製品に認識させるかどうかを設定します。
microSD内データを消去	▶P.71「microSDメモリカードをフォーマットする」
情報更新	本体メモリやmicroSDメモリカードの容量などの情報を最新の状態に更新します。
USB接続	▶P.72「USB接続モードを設定する」

メモリ容量について

◎ メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。

microSDのマウント解除について

◎ データが壊れる(消去される)ことがありますので、microSDメモリカードにデータを保存中はマウント解除操作を行わないでください。

microSDメモリカードをフォーマットする

microSDメモリカードをフォーマットすると、microSDメモリカードに保存されているデータがすべて消去されます。

- 1 待受画面で◎→[設定]→[その他]→[ストレージ]→[microSD内データを消去]→[SDカード内データを消去]→[ロックを解除]→[すべて消去]

◎ フォーマットは、充電しながら行うか、電池残量が十分ある状態で行ってください。

パソコンと接続する

USB接続モードを設定する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01(別売)で接続して、本製品をメモリカードリーダー/ライターとして使用したり、本製品とパソコン間の高速データ転送が利用できます。また、音楽/動画データの転送も可能です。

- ・パソコンとの接続方法について詳しくは、「パソコンを使って充電する」(▶P.22)をご参照ください。

1 待受画面で○→[設定]→[その他]→[ストレージ]→[USB接続]

2 MTPモード	MTPに対応したパソコンのデータを本体メモリやmicroSDメモリカードに保存する場合に設定します。 ・詳しくは、「MTPモードでパソコンと接続する」(▶P.72)をご参照ください。
PTPモード	MTPに対応していないパソコンと接続する場合に設定します。 ・本体メモリに保存されている画像などを転送できます。
カードリーダーモード	本製品をカードリーダー/ライターとして使用する場合に設定します。 ・詳しくは、「メモリカードリーダー/ライターとして使う」(▶P.72)をご参照ください。

- ◎ Windows 7/Windows 8.1/Windows 10以外のOSでの動作は、保証していません。
- ◎ USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- ◎ パソコンとデータの読み書きをしている間にmicroUSBケーブル01(別売)を取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。

メモリカードリーダー/ライターとして使う

本製品をメモリカードリーダー/ライターとして利用できます。あらかじめパソコンと本製品を接続し、「USB接続」を「カードリーダーモード」に設定してください。

1 待受画面でステータスバーを選択→○

2 [USB接続]→[USBストレージをONにする]

本製品に取り付けたmicroSDメモリカードが「リムーバブルディスク」として認識され、パソコンを操作することで、メモリカードリーダー/ライターとして利用できるようになります。

確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

3 パソコンを操作してデータを転送

4 転送終了後、パソコンを操作して本製品を停止

5 [USBストレージをOFFにする]

6 microUSBケーブル01(別売)を本製品から取り外す

microUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜いてください。

- ◎ USBストレージをONにしている間は、アプリケーションからmicroSDメモリカードは使用できません。

MTPモードでパソコンと接続する

■ 本体メモリやmicroSDメモリカード内のデータをパソコンで操作する

あらかじめパソコンと本製品を接続し、「USB接続」を「MTPモード」に設定してください。

1 パソコンから「SHF34」を開く

本体メモリを操作する場合は、「内部ストレージ」を開いてください。

2 パソコンを操作してデータを転送

3 転送終了後、microUSBケーブル01(別売)を本製品から取り外す

microUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜いてください。

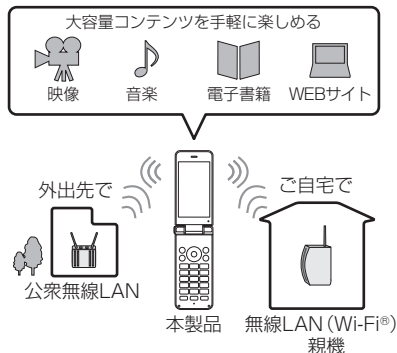
無線LAN(Wi-Fi®)機能	74
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	74
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する	74
アクセスポイントを登録する	75
Wi-Fi Direct®を利用する	75
テザリング機能	75
テザリングについて	75
USBテザリング機能を利用する	75
Wi-Fi®テザリング機能を利用する.....	75
Bluetooth®テザリング機能を利用する.....	75
赤外線通信	76
赤外線送受信のご利用にあたって	76
データを1件受信する	76
データを一括して受信する.....	76
データを1件ずつ送信する.....	76
データを選んで送信する.....	76
データを一括して送信する.....	76
Bluetooth®機能	77
Bluetooth®機能の利用について	77
Bluetooth®を利用する.....	77
Bluetooth®でデータを送受信する.....	78
NFC／おサイフケータイ®	78
おサイフケータイ®とは	78
おサイフケータイ®を設定する	79
NFCを利用する	79
FeliCaに対応したサービスを利用する	80
タップ&ペイを利用する.....	80

無線LAN(Wi-Fi®)機能

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。

Wi-Fi®を利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。



- ◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線とアクセスポイント(無線LAN(Wi-Fi®)親機)をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する

無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする

- 1 待受画面で \odot →[設定]→[Wi-Fi]
Wi-Fi®設定画面が表示されます。
- 2 [Wi-Fiの設定]
Wi-Fi®がONに切り替わります。

◎ 待受画面で \square (長押し)の操作でWi-Fi®のON/OFFを切り替えることもできます。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

- 1 待受画面で \odot →[設定]→[Wi-Fi]
Wi-Fi®が起動している場合、Wi-Fi®設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。
- 2 アクセスポイントを選択→ \odot
- 3 パスワードを入力→[接続]
「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

◎ アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
◎ お使いの環境によっては、通信速度が低下する場合やご利用になれない場合があります。

アクセスポイントとの接続を切る

- 1 待受画面で \odot →[設定]→[Wi-Fi]
- 2 接続中のアクセスポイントを選択→ \odot →[切断]

◎ アクセスポイントとの接続を切ると、再接続のときにパスワードの入が必要になる場合があります。

Wi-Fi®設定画面のサブメニューを利用する

- 1 待受画面で \odot →[設定]→[Wi-Fi]
- 2 ⊕ (サブメニュー)

※ メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

3	ネットワークを追加	手動でネットワークを追加します。
	簡単設定	簡単設定でアクセスポイントに接続します。
	保存済みネットワーク	接続したことのあるアクセスポイントを表示します。
	更新	目的のアクセスポイントが表示されないときなどに、再検索できます。
	詳細設定	※ 下記以外にMACアドレスやIPアドレスが確認できません。 スキャンを常に実行する Wi-Fi®機能がOFFの場合でも、位置情報や他のアプリケーションからネットワークのスキャンを行うかどうかを設定します。 ネットワークの通知 Wi-Fi®のネットワークを検出したとき、ステータスバーに通知するかどうかを設定します。 Wi-Fiのスリープ設定 接続を一時停止するタイミングを設定します。 ハンドオーバー ハンドオーバーを利用するかどうかを設定します。 証明書のインストール Wi-Fi®の認証時に必要な証明書をインストールします。 Wi-Fi Direct ▶P.75「Wi-Fi Direct®を利用する」

アクセスポイントを登録する

アクセスポイントを手動で登録する

- 1 待受画面で \odot →[設定]→[Wi-Fi]→ \oplus (サブメニュー)→[ネットワークを追加]
 - 2 ネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択→ \odot
- セキュリティを「なし」に設定した場合
- 3 [保存]
- セキュリティを「WEP」「WPA/WPA2 PSK」に設定した場合
- 3 パスワードを入力→[保存]
「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

■ セキュリティを「802.1x EAP」に設定した場合

 - 3 必要な項目を設定/入力→[保存]

- 「詳細設定項目」を有効にすると、「プロキシ設定」「IP設定」を手動で設定できます。
- 手動でアクセスポイントを登録する場合は、あらかじめアクセスポイント機器(無線LAN(Wi-Fi[®])親機)のネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

アクセスポイントを自動で登録する

- 1 待受画面で \odot →[設定]→[Wi-Fi]→ \oplus (サブメニュー)→[簡単設定]
- 2

WPSプッシュボタン	WPSプッシュボタン方式で設定します。 ・アクセスポイントのWPSボタンを押してください。 自動的にアクセスポイントを検出し登録が開始されます。
WPS PIN入力	WPS PIN方式で設定します。 ・画面に表示されるPINをアクセスポイントに入力してください。

- アクセスポイントを登録する場合は、アクセスポイント機器(無線LAN(Wi-Fi[®])親機)側の取扱説明書や設定をご確認ください。

Wi-Fi Direct[®]を利用する

Wi-Fi Direct[®]を利用すると、アクセスポイントやインターネットを経由せずに、他のWi-Fi Direct[®]規格対応機器と、簡単にWi-Fi[®]接続できます。

- 1 待受画面で \odot →[設定]→[Wi-Fi]→ \oplus (サブメニュー)→[詳細設定]→[Wi-Fi Direct]
検出したWi-Fi Direct[®]規格対応機器が表示されます。目的の機器が表示されないときは、 \oplus (サブメニュー)→[デバイスの検索]で再検索をしてください。
また、 \oplus (サブメニュー)→[デバイス名を変更]→ \odot (編集)→デバイス名を入力→ \odot (完了)→ \oplus (確定)と操作すると、他のWi-Fi Direct[®]規格対応機器から検索された場合に表示される名前を編集できます。
- 2 接続するWi-Fi Direct[®]規格対応機器を選択→ \odot
- 3 画面に従って操作

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは、一般に携帯電話などのモバイル機器をモデムとして使い、4G(LTE)データ通信や無線LAN(Wi-Fi[®])通信、Bluetooth[®]通信を通じて無線LAN(Wi-Fi[®])対応機器、USB対応機器、Bluetooth[®]対応機器をインターネットに接続させることをいいます。

- テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

USBテザリング機能を利用する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブルO1(別売)で接続し、本製品を介してパソコンをインターネットに接続することができます。

- ・あらかじめパソコンと本製品を接続しておいてください。パソコンとの接続方法については、「パソコンを使って充電する」(▶P.22)をご参照ください。

- 1 待受画面で \odot →[設定]→[その他]→[ネットワーク]→[ネットワーク設定]→[テザリング]→[USBテザリング]
テザリングについての通知画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

- Windows 7/Windows 8.1/Windows 10以外のOSでの動作は、保証していません。

Wi-Fi[®]テザリング機能を利用する

本製品をモバイルWi-Fi[®]ルーターとして利用できるよう設定します。

- 1 待受画面で \odot →[設定]→[その他]→[ネットワーク]→[ネットワーク設定]→[テザリング]→[Wi-Fiテザリング]
テザリングについての通知画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

- Wi-Fi[®]テザリング機能利用中は、Wi-Fi[®]接続でインターネットに接続できません。
- Wi-Fi[®]テザリング機能利用中は、電池の消耗が激しくなります。充電しながらご利用になることをおすすめします。
- 待受画面で \llbracket (長押し)と操作して、Wi-Fi[®]テザリングのON/OFFを切り替えることもできます。

Wi-Fi[®]テザリング機能の設定をする

無線LAN(Wi-Fi[®])機能対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

- 1 待受画面で \odot →[設定]→[その他]→[ネットワーク]→[ネットワーク設定]→[テザリング]→[Wi-Fiテザリングを設定]
- 2

ネットワーク名	他の無線LAN(Wi-Fi [®])機能対応機器から検索された場合に示される名前(ネットワークSSID)を編集できます。
セキュリティ	セキュリティを設定します。
パスワード	セキュリティのパスワードを設定します。
接続待ち時間	接続待ち時間を設定します。

3 [保存]

- セキュリティを「なし」に設定した場合、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。
- 「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

Bluetooth[®]テザリング機能を利用する

本製品とパソコンなどをBluetooth[®]機能で接続し、本製品を介してインターネットに接続できます。

- 1 待受画面で \odot →[設定]→[その他]→[ネットワーク]→[ネットワーク設定]→[テザリング]→[Bluetoothテザリング]
テザリングについての通知画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

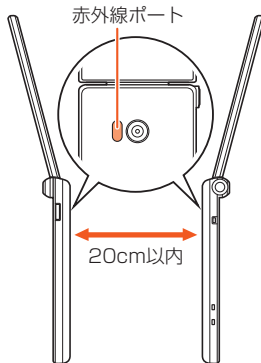
赤外線通信

赤外線送受信のご利用にあたって

本製品と赤外線通信機能を持つ相手側の機器との間でデータを送受信できません。

また、データの送受信が終わるまで、赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。

赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。



- ◎ 赤外線通信中に指などで赤外線ポートをおおわないようにしてください。
- ◎ 本製品の赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によって正しく送受信できないデータがあります。
- ◎ 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- ◎ 赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
- ◎ 送受信時に認証パスワードの入力が必要になる場合があります。認証パスワードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

データを1件受信する

- 1 待受画面で \odot →[ツール]→[赤外線]
- 2 [1件受信]→[OK]
- 3 相手機器でデータ送信の操作を実行
- 4 本製品と相手機器の赤外線ポートを合わせる→[はい]/[OK]
受信完了後は画面に従って操作してください。

◎ 待受画面で \square (長押し)の操作で赤外線受信アプリを起動することもできます。

データを一括して受信する

- 1 待受画面で \odot →[ツール]→[赤外線]→[全件受信]
- 2 認証コードの入力→ Ⓜ (確定)
認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。
- 3 相手機器でデータ送信の操作を実行
- 4 本製品と相手機器の赤外線ポートを合わせる→[OK]
- 5 ロックを解除
- 6 [追加登録]/[削除して登録]
確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

データを1件ずつ送信する

- 1 待受画面で \odot →[ツール]→[赤外線]→[1件送信]
- 2 送信するデータを選択
送信するデータによっては操作が異なります。画面に従って操作してください。
- 3 相手機器でデータ受信の操作を実行
- 4 本製品と相手機器の赤外線ポートを合わせる→[OK]→[はい]

データを選んで送信する

例:メモ帳の場合

- 1 待受画面で \odot →[ツール]→[メモ帳]
- 2 送信するメモを選択→ \odot
- 3 Ⓜ (サブメニュー)→[1件送信]→[赤外線送信]→[はい]→[OK]
- 4 相手機器でデータ受信の操作を実行
- 5 [はい]→本製品と相手機器の赤外線ポートを合わせる
- 6 相手機器でデータ受信の操作を実行

データを一括して送信する

例:電話帳の場合

- 1 待受画面で Ⓜ → Ⓜ (サブメニュー)→[送信]→[赤外線送信]→[全件送信]
- 2 [送信する(画像付き)]/[送信する(画像なし)]
送信するデータに顔写真が登録されていない場合は「はい」を選択してください。
- 3 ロックを解除→アカウントを選択→ \odot
- 4 相手機器でデータ受信の操作を実行
- 5 本製品と相手機器の赤外線ポートを合わせる→[OK]→[はい]
- 6 認証コードの入力→ Ⓜ (確定)
認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能の利用について

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- ◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ◎ microUSBケーブル01 (別売)などが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、次の点にご確認ください。

1. 本製品と他のBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. 他の機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

無線LAN(Wi-Fi®)との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、本製品のBluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。

また、本製品のBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

1. 本製品と無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器の電源を切ってください。

Bluetooth®を利用する

Bluetooth®を起動する

1 待受画面で \odot →[設定]→[Bluetooth]

Bluetooth®画面が表示されます。

2 [Bluetooth]

Bluetooth®がONに切り替わります。

- ◎ 待受画面で[4](長押し)の操作でBluetooth®のON/OFFを切り替えることもできます。
- ◎ 本製品のBluetooth®機能を有効にすると、 \square がステータスバーに表示されます。この表示を消したい場合は、ステータスパネルから項目を選択して「通知を表示」欄のチェックマークを外してください。

Bluetooth®画面のサブメニューを利用する

1 Bluetooth®画面で \oplus (サブメニュー)

2	更新	使用可能なデバイスを検索します。
	この端末の名前を変更	他のBluetooth®機器から検索された場合に表示される名前を編集できます。
	Qualcomm® aptX™	Qualcomm aptX™を利用するかどうかを設定します。
	受信済みファイルを表示	受信履歴画面を表示します。

Bluetooth®機器と接続する

本製品からBluetooth®機器に接続する場合は、Bluetooth®機器とペア設定を行います。Bluetooth®機器との接続を解除しても、ペア設定は解除されません。

1 待受画面で \odot →[設定]→[Bluetooth]→ \oplus (サブメニュー)→[更新]

検出したBluetooth®機器一覧画面が表示されます。Bluetooth®機器の種類に応じて、アイコンが表示されます。

2 接続するBluetooth®機器を選択→ \odot

3 画面に従って操作し、Bluetooth®機器を認証

同じパスキー(ペア設定コード)が表示されていることを確認する旨のメッセージが表示された場合、接続するBluetooth®機器にも同じパスキーが表示されていることをご確認ください。パスキー入力画面が表示された場合、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー(1~16桁の数字)を入力します。ペア設定が完了するとBluetooth®機器に接続されます。

- ◎ オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、通話中はオーディオ出力の音が自動的に流れなくなります。
- ◎ ペア設定をしたBluetooth®機器がHSP、HFP、A2DP、HID、HOGPのいずれのプロファイルにも対応していない場合、接続が行われません。
- ◎ Bluetooth®機器が検索拒否する設定になっている場合は検出されません。設定の変更などについてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご参照ください。
- ◎ パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
- ◎ 他のBluetooth®機器からの機器検索への応答を受け付けたい場合は、「この端末の名前を変更」で設定した名前を選択してください。

ペア設定したBluetooth®機器のメニューを利用する

1 Bluetooth®機器一覧画面→ペアリングされたデバイスを選択→ \oplus (詳細設定)

2 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

名前を変更	検出したBluetooth®機器の表示名を編集できます。
電話の音声	通話をするときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
メディアの音声	音楽や動画を視聴するときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
入力デバイス	HID機器を接続して入力するときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
インターネットアクセス	ネットワーク機器と接続するときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。

Bluetooth®でデータを送受信する

Bluetooth®でデータを受信する

本製品でデータを受信するには、Bluetooth®を起動後、相手機器(送信側)のデータ送信を待ちます。Bluetooth®の起動方法について詳しくは、「Bluetooth®を起動する」(▶P.77)をご参照ください。

- 1 送信側のBluetooth®機器からデータ送信
- 2 受信通知後、待受画面で④→ステータスバーにカーソルを合わせる→⑤
- 3 ファイル着信の通知を選択→⑥
- 4 [承諾]
- 5 受信完了後、ステータスバーにカーソルを合わせる→④
- 6 受信したファイルの通知を選択→⑥
- 7 受信したデータを選択→⑥
再生/表示/登録するアプリケーションが複数存在する場合は、データを選択するとアプリケーションの選択画面が表示されます。画面に従って操作してください。

◎ 他のアプリがBluetooth®通信を行っている時、データ受信ができない場合があります。

Bluetooth®でデータを送信する

■ データを選んで送信する

例:電話帳(顔写真なし)を1件送信する場合

- 1 待受画面で④→連絡先を選択→⑤→⑥(サブメニュー)→[送信]→[Bluetooth送信]
- 2 [はい]
- 3 送信先の機器を選択→⑥

■ データを一括して送信する

例:電話帳(顔写真なし)を複数送信する場合

- 1 待受画面で④→⑥(サブメニュー)→[送信]→[Bluetooth送信]
- 連絡先を選択して送信する場合
- 2 [選択送信]→連絡先を選択→⑤→⑥(送信)→[はい]
 - 3 送信先の機器を選択→⑥
- 連絡先をすべて送信する場合
- 2 [全件送信]→[送信する(画像付き)]/[送信する(画像なし)]
送信するデータに顔写真が登録されていない場合は「はい」を選択してください。
 - 3 ロックを解除→アカウントを選択→⑥
 - 4 送信先の機器を選択→⑥

NFC / おサイフケータイ®

おサイフケータイ®とは

おサイフケータイ®とは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。

NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCaを含む非接触ICカード機能やリーダー/ライター(R/W)機能、機器間通信機能などが本製品でご利用いただけます。

おサイフケータイ®を利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダのおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。

おサイフケータイ®対応サービスのご利用にあたっては、au電話に搭載されたFeliCaチップへ、サービスのご利用に必要なデータを書き込む場合があります。

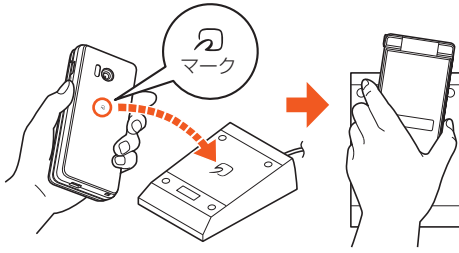
なお、ご利用にあたっては、「おサイフケータイ®対応サービス ご利用の注意」(▶P.101)を合わせてご参照ください。

おサイフケータイ®ご利用にあたって

- ・本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- ・紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ®のロックをおすすめします。紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ・ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイ®をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- ・おサイフケータイ®対応アプリを削除するとき、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- ・FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- ・おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供者にご確認、お問い合わせください。
- ・各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけません。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- ・電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応アプリからFeliCaチップへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされていない場合があります。
- ・電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけないことがあります。
- ・おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー/ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- ・次の場合は、おサイフケータイ®の一部機能を利用できません。
 - ・機内モード中
 - ・充電中、またはmicroUSBケーブル01(別売)接続中、シャープmicroUSB-3.5φ変換ケーブル01(SHX11QVA)(別売)などのケーブル類を接続中で、一度も電波を受けていない場合

リーダー／ライターとデータをやりとりする

マークをリーダー／ライターにかざすだけでFeliCaチップ内のデータをやりとりできます。

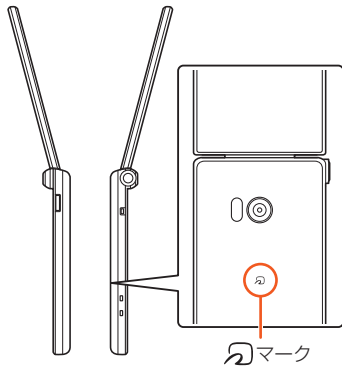


- マークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- マークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- マークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- マークとリーダー／ライターの間には金属物があると読み取れないことがあります。また、マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- マークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

- ◎ おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
- ◎ 本製品の電源を切ってもご利用いただけます。ただし電池残量がない場合はご利用できません。その場合は充電後に一度本製品の電源を入れることでご利用になれます。
- ◎ 「おサイフケータイ ロック」を設定している場合は、ご利用いただけません。

他の携帯電話とデータをやりとりする

IC通信機能を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。



- 2台の携帯電話を平行にしてマークを向かい合わせ、送受信が終了するまで動かさないようにしてください。
- 送受信の操作や送受信できるデータについては、対応するアプリによって異なります。画面の指示に従って操作してください。
- マークを向かい合わせしても、送受信を失敗する場合があります。失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらして送受信の操作を再度行ってください。
- マークをゆっくりと向かい合わせると送受信を失敗することがあります。

おサイフケータイ®を設定する

おサイフケータイ®のロックや、NFCのReader/Writer、P2P機能のON/OFFを設定します。

1 待受画面で☉→[設定]→[その他]→[NFC／おサイフケータイ 設定]

NFC／おサイフケータイ設定画面が表示されます。

2 おサイフケータイロック	P.79「おサイフケータイ®の機能をロックする」
Reader/Writer, P2P	P.79「Reader/Writer, P2P機能を有効にする」
Android Beam	P.79「Androidビームでデータを送受信する」
タップ&ペイ	P.80「タップ&ペイを利用する」
ロックNo.変更	「おサイフケータイ ロック」のロックNo.を変更します。

おサイフケータイ®の機能をロックする

「おサイフケータイ ロック」を設定すると、おサイフケータイ®対応サービスの利用を制限できます。

• おサイフケータイ®のロックは、端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 待受画面で☉→[設定]→[その他]→[NFC／おサイフケータイ 設定]

2 [おサイフケータイ ロック]→[次へ]→ロックNo.を入力→[OK]→[OK]

- ◎ 待受画面で[長押し]の操作でロック／解除を切り替えることもできません。
- ◎ 「おサイフケータイ ロック」を設定中に電源が切れると、ロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後にロックを解除してください。
- ◎ 「おサイフケータイ ロック」のロックNo.とFeliCaチップ内のデータは、本製品を初期化しても削除されません。
- ◎ おサイフケータイ®をロックするとステータスバーに🔒が表示されます。

NFCを利用する

Reader/Writer, P2P機能を有効にする

1 待受画面で☉→[設定]→[その他]→[NFC／おサイフケータイ 設定]

2 [Reader/Writer, P2P]

NFCのReader/Writer, P2P機能がONになり、ステータスバーに📶が表示されます。

- ◎ 「Reader/Writer, P2P」をONにするとAndroid BeamもONになります。Android BeamをONにすると、NFC搭載機器との間で、ウェブページやYouTubeのURL、連絡先などを共有することができます。
- ◎ 非接触ICカード機能は、NFCのReader/Writer, P2P機能のON/OFFにかかわらず利用できます。
- ◎ 「おサイフケータイ ロック」を設定中は、NFCのReader/Writer, P2P機能をONにできません。

Androidビームでデータを送受信する

NFCを搭載したAndroid機器との間でAndroidビームを利用すると、簡単な操作で画像や音楽、本製品で撮影した静止画や動画を送ったり受け取ったりすることができます。

- データを送受信するにはあらかじめNFCのReader/Writer, P2P機能をONにしてください(▶P.79「Reader/Writer, P2P機能を有効にする」)。
- すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

データを受信する

1 送信側のNFC搭載機器でデータ送信の操作を行う

2 送信側の機器と、マークを向かい合わせる

データを受信すると、受信データに対応するアプリが起動します。静止画や動画、音楽などのデータを受信した場合は、ステータスバーに📶が表示されることがあります。ステータスバーを選択→☉→[ビーム完了]と操作すると、受信データに対応したアプリが起動します。画面の指示に従って操作してください。

データを送信する

例:電話帳(顔写真なし)を送信する場合

1 待受画面で☉→連絡先を選択→☉

2 受信側の機器と、マークを向かい合わせる→☉

- ◎ アプリケーションによってはAndroidビームをご利用になれません。
- ◎ 通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度向かい合わせてください。

FeliCaに対応したサービスを利用する

「おサイフケータイ」アプリから対応サービスを利用できます。

- 1 待受画面で**①→[ツール]→[おサイフケータイ]
サービス一覧画面が表示されます。
初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 2 利用したいサービスを選択**
サービスに対応したアプリを取得してから、またはサービス紹介サイトから、画面の指示に従って操作してください。

タップ&ペイを利用する

おサイフケータイ®対応サービスでの決済カードの選択ができます。

- 1 待受画面で**①→[設定]→[その他]→[NFC／おサイフケータイ設定]→[タップ&ペイ]
- 2 利用したいサービスを選択**
利用したい決済カードを選択してください。

端末設定

端末設定	82
設定メニューを表示する	82
壁紙・ディスプレイの設定をする	82
文字サイズ・フォントの設定をする	82
マナー・音・バイブの設定をする	82
au IDの設定をする	82
省エネ・電池	83
セキュリティの設定をする	83
ネットワークの設定をする	83
位置情報の設定をする	84
その他の設定をする	84

端末設定

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。

1 待受画面で①→[設定]

項目	概要	参照先
壁紙・ディスプレイ	壁紙や画面の明るさの設定などを行います。	P.82
文字サイズ・フォント	文字サイズやフォントを設定します。	P.82
マナー・音・バイブ	マナーモードの設定、着信時の音量や音、通知の設定などを変更できます。	P.82
au ID 設定	au IDを設定します。	P.82
省エネ・電池	長エネスイッチ設定や電池利用状況の確認ができます。 ・長エネスイッチ設定について詳しくは、「長エネスイッチの設定をする」(▶P.83)をご参照ください。	—
Wi-Fi	Wi-Fi®について設定します。	P.74
Bluetooth	Bluetooth®について設定します。	P.77
位置情報	位置情報の設定をします。	P.84
クイック起動キー	クイック起動キーを設定します。	P.29
セキュリティ	端末のロックやセキュリティ、シークレットモードについて設定します。	P.83
その他	日付と時刻、言語選択、およびスクリーンセーバーなどを設定します。	P.84

壁紙・ディスプレイの設定をする

1 待受画面で①→[設定]→[壁紙・ディスプレイ]

待受画面・壁紙	待受画面の壁紙などを変更します。
画面の明るさ	バーを動かして、明るさを手動で調整します。
バックライト点灯時間	本製品を操作しないときに画面が自動消灯するまでの時間を設定します。
のぞき見防止	のぞき見防止 ペールビューを利用して周囲から画面をのぞかれにくくするかどうかを設定します。 表示パターン ペールビューのパターンを設定します。 見栄え補正 ペールビューの正面からの見栄えを設定します。
リラックス画質	目に優しい画質にするかどうかを設定します。
サブディスプレイ	表示時間設定 サブディスプレイの表示時間を設定します。 着信相手表示 着信相手を表示するかどうかを設定します。

のぞき見防止について

◎ [長押し] (長押し) の操作でのぞき見防止機能のON/OFFを切り替えることができます。

文字サイズ・フォントの設定をする

1 待受画面で①→[設定]→[文字サイズ・フォント]

文字サイズ(全般)	文字サイズを設定します。
文字サイズ(LINE)	LINEで表示する文字のサイズを設定します。
文字フォント切替	画面に表示される文字フォントを設定します。

マナー・音・バイブの設定をする

1 待受画面で①→[設定]→[マナー・音・バイブ]

マナーモード設定	▶P.82「マナーモードを設定する」
音量	着信音やアラーム音、音楽、動画再生時などの音量を設定します。
着信音・お知らせ音	電話着信 着信音、バイブパターン、または着信ランプの点滅カラーなどを設定します。 メール Eメールの着信音、バイブパターン、または着信ランプの点滅カラーなどを設定します。 SMS SMSの着信音、バイブパターン、または着信ランプの点滅カラーなどを設定します。 お知らせ お知らせ音または鳴動時間などを設定します。 Music Store Music Storeを起動します。 待ちうた ブラウザを起動して待ちうたのサイトを表示します。
全般	画面ロックの音 画面のロック/ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。 充電開始音 充電開始音を有効にするかどうかを設定します。 キー操作音 メニューやアイコン選択時の操作音を有効にするかどうかを設定します。 操作時バイブ タッチクルーザーEXを操作するときにバイブを振動させるかどうかを設定します。 キーバックライト キーバックライトを点灯するかどうかを設定します。 サイドマナーキー長押し 本製品を閉じているときに、[長押し]でマナーモードのON/OFFをするかどうかを設定します。
通知	画面ロック中の表示 ロック画面に表示する通知について設定します。 アプリの通知 通知の表示/非表示や優先度を、アプリごとに設定します。 通知へのアクセス 通知にアクセスできるアプリを確認できます。

マナーモードを設定する

公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定します。

- ・マナーモードを設定すると、着信音/受信音/操作音は鳴動しません。また、「ドライブマナー」/「サイレントマナー」に設定すると、着信/受信時のバイブレータも振動しません。
- ・「ドライブマナー」に設定すると、伝言メモの応答メッセージが「ドライブ」、応答時間が「3秒」、伝言メモが「ON」に固定されます。

1 待受画面で①→[設定]→[マナー・音・バイブ]→[マナーモード設定]

2 モードを選択→①

- ◎ 運転中はマナーモードを「ドライブマナー」に設定してください。
- ◎ 次の操作でもマナーモードを設定/解除できます。
 - ・端末を折りたたんでいるとき/待受画面で[長押し]
 - ・待受画面で[設定]→設定するマナーモードを選択→①
 - ・待受画面で[長押し]→[ドライブマナー]/[サイレントマナー]/[通常マナー]/[マナーモードOFF]を選択→①
- ◎ マナーモード中でもカメラのシャッター音や撮影開始/終了音は鳴動します。

au IDの設定をする

1 待受画面で①→[設定]→[au ID 設定]

以降の操作は画面の指示に従って操作してください。

- ・「au ID 設定」の詳しい手順については「設定ガイド」をご参照ください。

省エネ・電池

長エネスイッチ設定や電池残量の確認を行います。

1 待受画面で①→[設定]→[省エネ・電池]

2 長エネスイッチ	▶P.83「長エネスイッチの設定をする」
電池	電池残量や電池消費量の変化などを、視覚的に確認できます。

長エネスイッチの設定をする

本製品の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

1 待受画面で①→[設定]→[省エネ・電池]→[長エネスイッチ]

2 長エネスイッチ	長エネスイッチを利用するかどうかを設定します。
長エネスイッチの概要	機能の説明を表示します。
詳細設定	制限する機能を個別に設定します。
電池残量で切替	設定した電池残量以下の場合、長エネスイッチを自動で[ON]にするかどうかを設定します。
切替条件設定	[電池残量で切替]で長エネスイッチを[ON]にする電池残量を設定します。

- ◎ 充電を開始すると長エネスイッチは[OFF]になります。
- ◎ [電池残量で切替]によって長エネスイッチが[ON]になっているとき、[電池残量で切替]を無効にしても長エネスイッチは[OFF]になりません。

セキュリティの設定をする

1 待受画面で①→[設定]→[セキュリティ]

※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

2 セキュリティキー設定	セキュリティキー(暗証番号やパスワード)の変更ができます。
画面のロック	ロック画面の解除方法を設定します。
音声発信制限	電話の発信を制限するかどうかを設定します。 ・音声発信制限中でも、緊急通報番号や157(お客さまセンター)への発信は可能です。緊急通報番号へはローミング中でも発信が可能です。
アプリ起動制限	アプリの起動を制限するか設定します。アプリごとに制限を設定することもできます。
シークレット設定	▶P.83「シークレット設定をする」
SIMカードロック設定	SIMカードをロック 起動時にPINコードを入力するかどうかを設定します。 SIM PINの変更 PINコードを変更します。 ・SIM PINを変更する場合は、「SIMカードをロック」を有効に設定してください。 ・画面に従って設定されているPINコードを解除し、新しいPINコードを登録します。
提供元不明のアプリ	提供元が不明のアプリのインストールを許可するかどうかを設定します。
高度な設定	電話帳アクセスモニター アプリが電話帳データにアクセスするときに許可/禁止を確認する通知を表示するように設定します。 端末の暗号化 端末のデータを暗号化します。端末の暗号化を行うと、電源を入れるたびに「画面のロック」で設定した解除方法で解除します。 ・表示される説明をよくお読みになりご利用ください。 デバイス管理機能 デバイス管理機能の有効/無効を切り替えます。 ストレージのタイプ ストレージのタイプを表示します。 安全な認証情報の使用 安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。 証明書をインストール 暗号化された証明書をインストールします。 認証ストレージの消去 すべての認証情報を削除します。 画面の固定 選択したアプリ以外を使用できないようにします。 使用履歴へのアクセス 使用履歴データにアクセスできるアプリを設定します。

画面のロックについて

- ◎ ロックを解除していない状態で「緊急発信」を選択して110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)への電話はかけられます。
- ◎ 画面のロックの解除方法として設定した「ロックNo.」/「パスワード」をお忘れになった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にご連絡ください。その際、設定やデータは全て初期化されてしまう場合がありますので、ご了承ください。

セキュリティキー設定、音声発信制限、シークレット設定について

- ◎ 「セキュリティキー設定」、「音声発信制限」、「シークレット設定」を利用するにはセキュリティキーを入力する必要があります(お買い上げ時はセキュリティキー(暗証番号)「1234」)。
- ◎ 「音声発信制限」で各機能の利用制限中は、セキュリティキーを入力することで、一時的に操作を行うことができます。

シークレット設定をする

1 待受画面で①→[設定]→[セキュリティ]→[シークレット設定]→[ロックを解除]

シークレットモードが一時解除されます。シークレットモードについての注意画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 連絡先シークレット設定	連絡先シークレットについて設定します。
一時解除の設定	セキュリティキー変更 シークレットモードを一時解除するときに用いるセキュリティキーを変更します。
使い方ガイド	一時解除の仕方 シークレットモードを一時解除する方法を表示します。 連絡先シークレット機能 シークレット設定をした連絡先データや、バックアップなどの動作について表示します。

- ◎ シークレット一時解除後に画面を消灯すると、シークレットモードに戻ります。

ネットワークの設定をする

1 待受画面で①→[設定]→[その他]→[ネットワーク]

2 機内モード	▶P.84「機内モードを設定する」
データ通信設定	データ使用量 データ通信の使用量を確認したり、警告を表示したりできます。 データ通信制限 データ通信を使用するアプリを制限できます。
ネットワーク設定	テザリング USBテザリング、Wi-Fi®テザリング、Bluetooth®テザリングについて設定します。 ・テザリングについて詳しくは、「テザリング機能」(▶P.75)をご参照ください。 VPN設定 VPNの設定や管理を行います。 ・VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。 ・VPNを利用するには、「画面のロック」を設定する必要があります。画面の指示に従って操作してください。 ・VPNを追加する場合は、Ⓜ(サブメニュー)→[VPNプロフィールの追加]→必要な項目を設定/入力→Ⓜ(保存)と操作します。 ・VPNに接続する場合は、VPNを選択→①→ユーザー名とパスワードを入力→Ⓜ(接続)と操作します。 ・VPNを編集/削除する場合は、VPNを選択→Ⓜ(サブメニュー)→[プロフィールを編集]/[プロフィールを削除]と操作します。 モバイルネットワーク データローミング、アクセスポイント名、通信事業者、au通信品質レポート機能などの設定をします。 ・データ通信を無効にすると、一部の機能が利用できなくなります。 デフォルトのSMS SMSの送受信に使うアプリを設定します。 プロキシ設定 プロキシ経由でネットワークに接続するように設定します。

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、データ通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能など)がOFFになります。

1 待受画面で☉→[設定]→[その他]→[ネットワーク]→[機内モード]

- ◎ 航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
- ◎ [☉](2秒以上長押し)→[機内モード]と操作しても機内モードを設定できません。
- ◎ 「機内モード」を有効に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157(お客さまセンター)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に無効に設定されます。
- ◎ 「機内モード」を有効に設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN(Wi-Fi®)、Bluetooth®機能による通信なども利用できなくなります。「機内モード」を有効に設定している場合に無線LAN(Wi-Fi®)、Bluetooth®を利用するときは、それぞれの設定をもう一度「ON」にする必要があります。

位置情報の設定をする

■ アプリケーションの位置情報リクエストを許可する

1 待受画面で☉→[設定]→[位置情報]

2 [位置情報]

データ収集についての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
・「位置情報」を選択して☉を押すごとにON/OFFが切り替わります。

- ◎ 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。「同意する」/「同意しない」の設定によって、設定されるモードが異なります。

■ 位置情報取得の精度を切り替える

1 待受画面で☉→[設定]→[位置情報]

2 [モード]→[高精度] / [バッテリー節約] / [端末のみ]

GPS機能について

- ◎ 電池の消費を抑える場合は、「モード」を「バッテリー節約」に設定してください。GPS機能が無効になります。
- ◎ 電波が良好な場所をご利用ください。

■ ケータイ探せて安心サービスの位置測位設定を切り替える

ケータイ探せて安心サービスで本製品の位置検索を許可するかどうかを設定します。

ケータイ探せて安心サービスについて詳しくは、「位置検索サポート」(▶P.60)をご参照ください。

1 待受画面で☉→[設定]→[位置情報]

2 [位置測位設定]→[許可する] / [許可しない]

その他の設定をする

1 待受画面で☉→[設定]→[その他]

2	ネットワーク	▶P.83「ネットワークの設定をする」
	NFC/おサイフケータイ設定	▶P.78「NFC/おサイフケータイ®」
	アプリケーション	アプリケーションのアンインストールなどができます。 ・ au Marketなどからインストールしたアプリケーションを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリケーションは削除されます。 ・ アプリケーションによっては削除できないものもあります。
	日付と時刻	▶P.84「日付と時刻の設定をする」
	セルフチェック	▶P.60「セルフチェックを利用する」
	ストレージ	microSDメモリーカードや本体メモリの容量を確認したり、microSDメモリーカード内のデータ消去などを行います。
	言語(Language)を選択	▶P.84「使用する言語や文字入力の設定をする」
	アカウント	利用するアカウントを追加します。設定しているアカウントの種類が「アカウントの追加」の上に表示されます。
	端末情報	▶P.84「端末情報の設定をする」
	スクリーンセーバー	充電中に自動で画面が消灯したとき、スクリーンセーバーを起動するかどうかを設定します。
	ソフトキーボード	文字入力に関する設定ができます。 ・ 通常は変更せずご利用ください。
	ユーザー補助	ユーザー補助に関する設定を行います。通常ご利用いただく場合は変更の必要はありません。
	オールリセット	▶P.84「本製品を初期化する」

日付と時刻の設定をする

1 待受画面で☉→[設定]→[その他]→[日付と時刻]

2	日時の自動設定	ネットワークから提供される日付・時刻情報をもとに自動で補正するかどうかを設定します。
	タイムゾーンの自動設定	ネットワークから提供されるタイムゾーンを使用するかどうかを設定します。
	日付設定	日付を設定します。
	時刻設定	時刻を設定します。
	タイムゾーンの選択	タイムゾーンを設定します。
	24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。

使用する言語や文字入力の設定をする

■ 使用する言語を設定する

1 待受画面で☉→[設定]→[その他]→[言語(Language)を選択]

2 [日本語]または[English]

■ 端末情報の設定をする

1 待受画面で☉→[設定]→[その他]→[端末情報]

2 ※ 下記以外にビルド番号やモデル番号、ソフトウェアのバージョンなどが確認できます。

端末の状態	電池パックの状態や電池残量、電話番号などを確認できます。
ソフトウェア更新	▶P.96「ソフトウェアを更新する」
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。

■ 本製品を初期化する

本体メモリをお買い上げ時の状態に戻します(リセット)。この操作を行うと、ご購入後に本体メモリにお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータはすべて削除されます。

1 待受画面で☉→[設定]→[その他]→[オールリセット]

2 [携帯端末をリセット]

「microSD内データも消去する」を選択して☉(チェック)と操作するとmicroSDメモリーカード内のデータも消去できます。

3 ロックを解除→[すべて消去]

- ◎ オールリセットを実行する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
- ◎ 著作権保護されたデータによってはオールリセットを実行すると、利用できなくなる場合があります。
- ◎ 「SIMカードロック設定」は、オールリセットを実行してもリセットされません。
- ◎ オールリセットを実行すると一部のコンテンツが削除されます。コンテンツのダウンロードについては、次のサポートページをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/a/shf34/>
- ◎ 電池残量が少ないときはオールリセットできません。

auネットワークサービス

auのネットワークサービスを利用する.....	86
auのネットワークサービスについて	86
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	86
着信転送サービスを利用する(標準サービス)	86
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	87
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	87
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	88
三者通話サービスを利用する(オプションサービス)	90
割込通話サービスを利用する(オプションサービス)	90
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)	90
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)	90

auのネットワークサービスを利用する

auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

標準サービス	SMS(▶P.49) 着信お知らせサービス(▶P.86) 着信転送サービス(▶P.86) 発信番号表示サービス(▶P.87) 番号通知リクエストサービス(▶P.87)
有料オプションサービス*	お留守番サービスEX(▶P.88) 三者通話サービス(▶P.90) 割込通話サービス(▶P.90) 迷惑電話撃退サービス(▶P.90) 通話明細分計サービス(▶P.90)

* 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(<https://www.au.com/>)でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波の届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

- ◎ 「着信お知らせサービス」を利用するには、あらかじめお留守番サービスEXの圏外転送を設定してください。(▶P.88)
有料オプションサービスをご契約していない場合も設定を行ってください。
- ◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合にはお知らせしません。
- ◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
- ◎ 着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.88)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
- ◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

着信転送サービスについて

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。

- ◎ 緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
- ◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- ◎ au国際電話サービスでの転送はご利用いただけません。また、一部の国際電話通事業者でも転送できない場合があります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ・ 電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ・ お客様のご負担となります。 ・ 海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

- 1 待受画面で☉→[電話 メール]→[通話設定]→[転送・お留守番サービス設定]→[無応答転送]
- 2 [転送設定]
「転送停止」を選択すると、転送サービスを停止できます。
- 3 転送先番号や呼び出し時間を設定→◎(確定)
転送までの時間は5秒～55秒の間で設定できます。

◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。このとき「伝言メモ設定」(▶P.39)または「オートアンサー」(▶P.39)が同時に設定されている場合は、応答時間の短い方が優先されます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

- 1 待受画面で☉→[電話 メール]→[通話設定]→[転送・お留守番サービス設定]→[話中転送]
- 2 [転送設定]
「転送停止」を選択すると、転送サービスを停止できます。
- 3 転送先番号を設定→◎(確定)

◎ 話中転送と割込通話サービス(▶P.90)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切つてあるときなどに電話を転送します。

- 1 待受画面で☉→[電話 メール]→[通話設定]→[転送・お留守番サービス設定]→[圏外転送]
- 2 [転送設定]
「転送停止」を選択すると、転送サービスを停止できます。
- 3 転送先番号を設定→◎(確定)

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で電話を転送します。

- 1 待受画面で☉→[電話 メール]→[通話設定]→[転送・お留守番サービス設定]→[選択転送]
- 2 [転送設定]
- 3 転送先番号を設定→◎(確定)

◎ かかってきた電話に出ず、登録した転送先に手動で転送する方法については、「着信中のサブメニューを利用する」(▶P.38)をご参照ください。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 待受画面で☉→[電話 メール]→[通話設定]→[転送・お留守番サービス設定]→[フル転送]
- 2 [転送設定]
「転送停止」を選択すると、転送サービスを停止できます。
- 3 転送先番号を設定→◎(確定)

◎ フル転送を設定している場合は、本製品は呼び出されません。

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始、転送停止ができます。

- 1 090-4444-XXXXに電話をかける
XXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
フル転送起動	1428
フル転送停止	1429
全転送停止	1430

- 2 本製品の電話番号を入力
- 3 暗証番号(4桁)を入力
暗証番号については「各種暗証番号について」(▶P.16)をご参照ください。
- 4 ガイダンスに従って操作

◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

発信番号表示サービスについて

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様の端末のディスプレイに表示したりするサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

- ◎ 発信者番号(お客様の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けてください。
- ◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
- ◎ 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。

相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がメインディスプレイに表示されます。

また、相手の方を電話帳に登録していない場合は、本体を閉じた状態時のサブディスプレイにも電話番号が表示されます。ただし、「着信相手表示」(▶P.82)を「表示しない」に設定すると、サブディスプレイには電話番号が表示されません。

表示	説明
「非通知設定」 (ID Unsent)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」 (Payphone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」 (Not Support)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知する

1 待受画面で◎→[電話 メール]→[通話設定]→[発信者番号通知]

- ◎ 電話をかけるとき、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
- ◎ 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知」を有効にしても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
- ◎ 「発信者番号通知」を無効に設定しても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

番号通知リクエストサービスについて

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

- ◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- ◎ お留守番サービス、着信転送サービス、割込通話サービス、三者通話サービスのそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- ◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 待受画面で1|4|8|1|7

待受画面で◎→[電話 メール]→[通話設定]→[着信拒否]→ロックを解除→[番号通知リクエストサービス]→[番号通知リクエストサービス設定]→[ON]でも同様に操作できます。

2

- ◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客様の電話番号を通知しておかけ直してください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・公衆電話、国際電話
 - ・SMS
 - ・その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 待受画面で1|4|8|0|7

待受画面で◎→[電話 メール]→[通話設定]→[着信拒否]→ロックを解除→[番号通知リクエストサービス]→[番号通知リクエストサービス設定]→[OFF]でも同様に操作できます。

2

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.84)を有効にしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

お留守番サービスEXをご利用になる前に

- 本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.87)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで*1
お預かりできる件数	99件まで*2
1件あたりの録音時間	3分まで

*1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。

*2 件数は伝言とボイスメール(▶P.88)の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわらず、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料かかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ・お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、着信お知らせの開始/停止ができます。

- 待受画面で **1** **4** **1** **7**
- ガイダンスに従って操作

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を留守番電話サービスに転送します。

- 待受画面で **1** **6** **1** **2** **+** [電話 メール] → [通話設定] → [転送・お留守番サービス設定] → [無応答転送]
- [転送設定] → [お留守番センター]
「転送停止」を選択すると転送サービスを停止できます。
- 呼び出し時間を設定 → **9** (確定)
転送までの時間は5秒~55秒の間で設定できます。
- 9** (確定)

◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

- 待受画面で **1** **6** **1** **2** **+** [電話 メール] → [通話設定] → [転送・お留守番サービス設定] → [話中転送]
- [転送設定] → [お留守番センター]
「転送停止」を選択すると転送サービスを停止できます。
- 9** (確定)

◎ 話中転送と割込通話サービスを同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切れているときなどに、電話を留守番電話サービスに転送します。

- 待受画面で **1** **6** **1** **2** **+** [電話 メール] → [通話設定] → [転送・お留守番サービス設定] → [圏外転送]
- [転送設定] → [お留守番センター]
「転送停止」を選択すると、転送サービスを停止できます。
- 9** (確定)

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で留守番電話サービスに転送します。

- 待受画面で **1** **6** **1** **2** **+** [電話 メール] → [通話設定] → [転送・お留守番サービス設定] → [選択転送]
- [転送設定] → [お留守番センター]
- 9** (確定)

◎ かかってきた電話に出ず、留守番電話サービスに手動で転送する方法については、「着信中のサブメニューを利用する」(▶P. 38)をご参照ください。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 待受画面で **1** **6** **1** **2** **+** [電話 メール] → [通話設定] → [転送・お留守番サービス設定] → [フル転送]
- [転送設定] → [お留守番センター]
「転送停止」を選択すると転送サービスを停止できます。
- 9** (確定)

◎ フル転送を設定している場合は、本製品は呼び出されません。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

- お留守番サービスで留守応答
かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します(▶P.89「応答メッセージの録音/確認/変更をする」)。電話をかけてきた相手の方は **1** を押し、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)手順 **2** に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、**1** を押しでも応答メッセージはスキップしません。
- 伝言を録音
録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、手順 **3** へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。
- 1** を押しして録音を終了
録音終了後、ガイダンスに従って次の操作ができます。
1: 録音した伝言を再生して、内容を確認する
2: 録音した伝言を「至急扱い」にする
9: 録音した伝言を消去して、取り消す
✖: 録音した伝言を消去して、録音し直す
- 9**

◎ 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

- 待受画面で **1** **6** **1** **2** **+** 相手の方のau電話番号を入力 → **7**
- ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことをSMS（「伝言お知らせ」と表示）でお知らせします。

- ◎ 同じ電話番号から複数の伝言をお預かりした場合は、最新の伝言のみについてお知らせします。
- ◎ お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。
- ◎ 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 待受画面で「1」4「1」7「1」

待受画面で①→[電話 メール]→[お留守番サービス再生]でも同様に操作できます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

- 「1」: 同じ伝言をもう一度聞く
 - 「4」: 5秒間巻き戻して聞き直す
 - 「5」: 伝言を一時停止（20秒間）*
 - 「6」: 5秒間早送りして聞く
 - 「7」: 再生済みの伝言をすべて消去
 - 「9」: 伝言を消去
 - 「0」: 伝言再生中の操作方法を聞く
 - 「#」: 次の伝言を聞く
 - 「*」: 前の伝言を聞く
- * 「0」～「9」、「#」、「*」のいずれかのキーを押すと、伝言の再生を再開します。

3 ガイダンスを確認後「1」

- ◎ お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメールも同じものとして扱われます。

伝言の蓄積を停止する（不在通知）

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。

あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音しておく、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。

詳しくは「応答メッセージの録音／確認／変更をする」（▶P.89）をご参照ください。

1 待受画面で「1」6「1」0「1」

2 ガイダンスを確認後「1」

- ◎ 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
- ◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

伝言の蓄積停止を解除する

1 待受画面で「1」6「1」1「1」

2 ガイダンスを確認後「1」

- ◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容の確認／変更や、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 待受画面で「1」4「1」4「1」

待受画面で①→[電話 メール]→[通話設定]→[転送・お留守番サービス設定]→[応答内容変更]→[はい]でも同様に操作できます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（個人メッセージ）

2 「1」→「1」→3分以内で応答メッセージを録音→「#」→「#」→「1」

■ 電話番号の代わりに読み上げるお客さまのお名前を録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（名前指定メッセージ）

2 「1」→「2」→10秒以内で名前を録音→「#」→「#」→「1」

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 「3」→応答メッセージを確認→「1」

■ 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合（不在通知）

2 「1」→「3」→3分以内で応答メッセージを録音→「#」→「#」→「1」

- ◎ 録音できる応答メッセージは、各1件です。
- ◎ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
- ◎ 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないように設定することができます。
- ◎ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「2」→「1」を入力すると標準メッセージに戻すことができます。
- ◎ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って「1」→「4」を入力すると標準メッセージに戻すことができます。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守電転送設定（無条件）開始	1418
留守電転送設定（無条件）停止	1419
留守電再生	1415
留守電総合案内	1416

2 本製品の電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については「各種暗証番号について」（▶P.16）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

- ◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- ◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 待受画面で「1」4「1」9「1」

待受画面で①→[電話 メール]→[通話設定]→[ガイド言語設定]→[英語ガイダンス]→[はい]でも同様に操作できます。

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 「1」

- ◎ ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 待受画面で「1」4「1」9「0」

待受画面で①→[電話 メール]→[通話設定]→[ガイド言語設定]→[日本語ガイダンス]→[はい]でも同様に操作できます。

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 「1」

三者通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例:Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中にBさんの電話番号を入力

④(サブメニュー)→[通話を追加]と操作しても電話番号を追加できます。また、電話帳や発信履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 []/●(発信)

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさん呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、[]→[]と操作すると、Aさんとの通話に戻ります。

[]を押すたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。また[]を押すと通話中の相手の方との通話が終了し、保留中の相手の方との通話に切り替わります。

4 ④(サブメニュー)→[三者通話]

3人で通話できます。
[]を押すと、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

- ◎ 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
- ◎ 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- ◎ 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
- ◎ 三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを利用する(オプションサービス)

割込通話サービスについて

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

- ◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 待受画面で[1][4][5][1][]

待受画面で④→[電話 メール]→[通話設定]→[割込通話設定]→[割込通話]→[ON]でも同様に操作できます。

- ◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されません。
- ◎ 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

割込通話サービスを停止する

1 待受画面で[1][4][5][0][]

待受画面で④→[電話 メール]→[通話設定]→[割込通話設定]→[割込通話]→[OFF]でも同様に操作できます。

- ◎ 4G(LTE)データ通信中は、割込通話サービスを停止しても着信します。

割込通話を受ける

例:Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 []/●(応答)

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
[]を押すたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。また、[]を押すと、通話中の相手の方との通話が終了し、保留中の相手の方との通話に切り替わります。

- ◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
- ◎ 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知/非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)

迷惑電話撃退サービスについて

迷惑電話やいたずら電話がかかってきた後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

撃退する電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 待受画面で[1][4][4][2][]

待受画面で④→[電話 メール]→[通話設定]→[着信拒否]→ロックを解除→[迷惑電話撃退サービス]→[新規登録]→[最終着信の相手を追加]→[はい]でも同様に操作できます。

■ 指定の電話番号を登録する場合

1 待受画面で④→[電話 メール]→[通話設定]→[着信拒否]

2 ロックを解除→[迷惑電話撃退サービス]

3 [新規登録]→撃退する電話番号を設定

- ◎ 登録できる電話番号は30件までです。
- ◎ 電話番号の通知のない着信についても、登録できます。
- ◎ 登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- ◎ 登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
・SMS

登録した電話番号を全件削除する

1 待受画面で[1][4][4][9][]

■ 指定の電話番号を削除/編集する

1 待受画面で④→[電話 メール]→[通話設定]→[着信拒否]

2 ロックを解除→[迷惑電話撃退サービス]

- #### 3 削除する電話番号を選択→④→[1件削除]/[全件削除]→[はい]
- 編集する場合は、編集する電話番号を選択→④→[変更]→[はい]と操作し、電話番号を設定してください。

通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

1 待受画面で[1][3][1]+相手先電話番号を入力→[]

- ◎ 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- ◎ 発信者番号を通知する/しないを設定する場合は、「186」/「184」を最初にダイヤルしてください。
- ◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
-------	----

海外利用

海外利用	92
au世界サービスについて	92
海外利用に関する設定を行う	92
データサービス・メッセージサービスの通信料	92
渡航先で電話をかける	92
渡航先で電話を受ける	93
お問い合わせ方法	93
サービスエリアと海外でのご利用料金	93
海外で安心してご利用いただくために	93
海外でのご利用上のご注意	93

海外利用

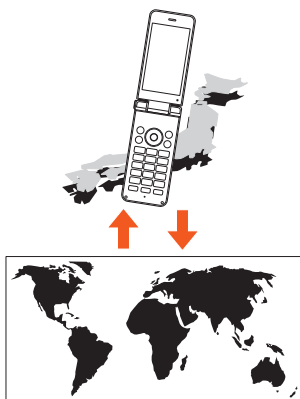
au世界サービスについて

au世界サービスとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM/UMTSネットワークのいずれでもご利用いただけます。

- いつもの電話番号のまま、海外で通話・SMS・データ通信がご利用いただけます。
- 特別な申し込み手続きや月額料金は不要で、ご利用料金は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。
- ※ 新規ご加入の場合、翌日から海外でのご利用が可能です。ただし、オンラインショップでご加入の場合、日本国内で通話(発信)した翌日よりご利用が可能です。
- 各国際サービスのご利用料金には消費税相当額は加算されません。


■ ご利用イメージ

- 1 日本国内では、auのネットワークでご利用になれます
- 2 海外で電源を入れると、海外の事業者のネットワークで通話とSMSがご利用いただけます
- 3 データ通信を行う場合は「データローミング」(▶P.92)を有効に設定します




○ お買い上げ時は、海外で通話およびSMSのみご利用可能な設定になっています。海外でデータ通信もご利用になる場合は「データ通信を利用する」(▶P.92)に従い設定を行ってください。

海外利用に関する設定を行う

本製品は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。渡航先においては、の表示のある場合にデータ通信が可能です。圏内表示のみ場合は音声通話(およびご利用の地域によってはSMS)のみご利用になれます。

■ データ通信を利用する

- 1 待受画面で→[設定]→[その他]→[ネットワーク]
- 2 [ネットワーク設定]→[モバイルネットワーク]→[データローミング]

○ LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、海外でデータ通信を利用できません。

データサービス・メッセージサービスの通信料

■ データサービス・メッセージサービスの通信料

データ通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円/KB	100円/通*	無料

※ 全角70文字までの料金です。詳しくはauホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/area-charge/>

■ 世界データ定額

利用料980円をお支払いいただくと、対象の国・地域で24時間日本でご加入されているデータ定額サービスの容量からデータ通信がご利用いただけます。世界データ定額でご利用の通信量は、国内のデータ定額サービスの月間容量やデータチャージのデータ容量購入分から消費します。世界データ定額について詳しくはauホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/sekai-data/>

- 海外でご利用になった場合の料金です。
- お客さまがご利用を開始してから24時間の通信に対する金額です。月額制の定額料ではありません。



■ 海外ダブル定額

対象の国・地域にてご利用いただいた場合、1日あたり約24.4MB(割引前通信料が40,000円分)まで最大1,980円、どれだけご利用いただいても1日あたり最大2,980円のご利用料金となります。海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/mobile/charge/data-option/kaigai-double-teigaku-ite/>

- 海外でご利用になった場合の料金です。海外で送受信したデータ量に応じて課金されます。
- 渡航先でのデータ通信料は、国内各種割引サービス・データ通信料定額/割引サービスの対象となりません。
- 1日あたりの上限額は渡航先の現地時間ではなく日本時間の1日(0:00~23:59)の通信に対する金額です。月額制の定額料ではありません。

渡航先で電話をかける

au世界サービスを利用して、渡航先で電話をかけることができます。

- 1 待受画面で (長押し)
「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。
 - 2 相手先の国番号を入力
 - 3 地域番号(市外局番)を入力
地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。
 - 4 相手の電話番号を入力→
- 例: 渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合
+81 (国番号)-3 (市外局番)-1234XXXX (相手の電話番号)
- 例: 渡航先(アメリカ)からアメリカの「123-456-XXXX」にかける場合
+1 (国番号)-123 (市外局番)-456XXXX (相手の電話番号)

- 電話をかける相手が日本の携帯電話をご利用の場合は、相手の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。
- 渡航先では、一部特番などかけられない電話番号があります。
- 国番号についてはKDDI国際電話ホームページをご参照ください。
<http://www.001.kddi.com/countrycode/>

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

- ◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からであっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信通話料がかかります。
- ◎ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
- ◎ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合は、渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、現地からの国際アクセス番号および「81」（日本）をダイヤルしてもらう必要があります。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法 (通話料無料)

受付時間 24時間

1 待受画面で「」(長押し)

「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

2 「81366706944」を入力→

■ 一般電話からのお問い合わせ方法

詳しい情報はauホームページの「海外からのお問い合わせ番号」をご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/global/inquiry/>

サービスエリアと海外でのご利用料金

渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスやご利用料金が異なります。詳しくはauホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/area-charge/>

- ◎ 日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- ◎ 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- ◎ 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。

https://www.au.com/information/notice_mobile/global/

■ 本製品を盗難・紛失したら

- ・ 海外で本製品もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは「海外からのお問い合わせ」(▶P.93)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・データ通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- ・ 本製品に挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては、「SIMカードロック設定」(▶P.83)をご参照ください。

海外でのご利用上のご注意

■ 渡航先での音声通話に関するご注意

- ・ 渡航先でコレクトコール、トルフリーナンバー、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- ・ 国・地域によっては、発信した時点から通話料がかかる場合があります。
- ・ 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、日本国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■ 通話明細に関するご注意

- ・ 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- ・ 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- ・ 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■ 渡航先でのデータ通信料に関するご注意

- ・ 渡航先でのご利用料金は、日本国内でのご利用分に合算して翌月に(渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります)請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- ・ 日本国内でデータ通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しデータ通信料がかかります。

■ 渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- ・ SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- ・ SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- ・ 渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、海外でのご利用中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

■ auネットワークサービス(P.86)に関するご注意

- ・ 以下のサービスは、海外ではご利用いただけません。
 - 着信転送サービス(標準サービス)の無応答転送・話中転送・圏外転送・選択転送
 - お留守番サービスEX(オプションサービス)
 - 三者通話サービス(オプションサービス)
 - 割込通話サービス(オプションサービス)
 - 通話明細分計サービス(オプションサービス)
- ・ 発信番号表示サービス(標準サービス)は、海外では電話番号が通知されない場合があります。海外では「発信者番号通知」の機能は無効になります。
- ・ 迷惑電話撃退サービス(オプションサービス)は、海外では受信拒否リストへの登録ができません。また、日本で登録した番号でも海外では迷惑電話撃退サービスが動作せず通常の接続となる場合があります。

■ その他ご利用上のご注意

- ・ 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- ・ 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- ・ 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとながりがやすくなる場合があります。
- ・ 渡航先で着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- ・ サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- ・ 海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- ・ 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- ・ au世界サービスは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発信音・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- ・ 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- ・ 海外でのご利用中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- ・ 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の国内通話は発信規制となります。また日本国内で発信規制状態になっていても、海外では使うことができます。
- ・ 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- ・ 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をON/OFF(再起動)することでご利用可能となる場合があります。



付録・索引

付録.....	96
ソフトウェアを更新する.....	96
故障とお考えになる前に.....	96
アフターサービスについて.....	97
SIMロック解除について.....	98
周辺機器のご紹介.....	98
スイッチ付イヤホンマイク／イヤホンマイク／イヤホンを使用する.....	98
利用できるデータの種類.....	99
主な仕様.....	99
携帯電話機の比吸収率(SAR)について.....	99
Regulatory information.....	100
FCC Notice.....	101
輸出管理規制.....	101
おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意.....	101
知的財産権について.....	102
索引.....	105

ソフトウェアを更新する

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。

1 待受画面で①→[設定]→[その他]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]

2	ソフトウェア更新	ソフトウェア更新が必要かどうかを確認します。 ②(実行)を押すと確認を開始します。ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードできます。 ・すぐに更新する場合は、②(実行)を押し、画面に従って操作してください。 ・後で更新する場合は、「後で実行」を選択すると「24時間後に再表示します」と表示されます。「OK」を押すとアプリケーションが終了し、ステータスバーに🔌が表示されます。 ソフトウェア更新を行う場合は、ステータスバーから「ソフトウェア更新」を選択後、画面に従って操作してください。 ・ソフトウェア更新が可能な場合には、ダウンロードするソフトウェア更新の内容が表示されます。
	更新通知設定	ソフトウェア更新が必要かどうかの通知を切り替える設定となります。 ・「ON」に設定すると、ダウンロードするソフトウェア更新の内容が表示されます。

■ ご利用上の注意

- ・ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、SHF34をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なSHF34をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- ・更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ・ソフトウェア更新を実行すると、更新前と更新後に本製品を再起動します。
- ・ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ・ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。
- ・十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ・電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ・ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ(電話帳、メール、静止画、音楽データなど)や設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- ・ソフトウェアが更新された後で、自動的に次の更新用ソフトウェアのダウンロードが開始される場合があります(連続更新)。
- ・海外利用中は、Wi-Fi®接続時のみ、ソフトウェア更新の機能を利用できます。Wi-Fi®に接続していない状態では、ソフトウェア更新の機能を利用することはできませんので、ソフトウェア更新を行う場合はWi-Fi®に接続してご利用ください。

ソフトウェア更新実行中は、次のことは行わないでください

- ・ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ソフトウェア更新実行中にできない操作について

- ・ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください
電池を利用できる時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> ・🔌(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか? (▶P.25) ・電池パックが寿命になっていませんか? 電池の状態を確認してください。(▶P.21) ・十分に充電されていますか? (▶P.21) ・使用していない機能を停止してください。(▶P.30) ・使用していないアプリケーションを終了してください。(▶P.30)
電話がかけれない	<ul style="list-style-type: none"> ・au ICカードが挿入されていますか? (▶P.20) ・電話番号が間違っていないですか? (市外局番から入力していますか?) (▶P.36) ・「機内モード」が設定されていませんか? (▶P.84) ・電源は入っていますか? (▶P.22) ・電話番号入力後、[☎]を押していますか? (▶P.36) ・「音声発信制限」で発信が制限されていませんか? (▶P.83)
電話がかかってこない	<ul style="list-style-type: none"> ・電波は十分に届いていますか? (▶P.25) ・サービスエリア外にいませんか? (▶P.25) ・「機内モード」が設定されていませんか? (▶P.84) ・着信転送サービスが設定されていませんか? (▶P.86) ・電源は入っていますか? (▶P.22) ・au ICカードが挿入されていますか? (▶P.20) ・「着信拒否」が設定されていませんか? (▶P.39)
Wi-Fi®が繋がらない	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか? (▶P.25) ・Wi-Fi®の設定をしましたか? (▶P.74)
ディスプレイの照明が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ・「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか? (▶P.82) ・「のぞき見防止」が設定されていませんか? (▶P.82)
相手の方の声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ・通話音量が最小に設定されていませんか? (▶P.36) ・受話口を耳でふさいでいませんか? 受話口が耳の穴に当たるようにしてください。
ワンセグが映らない、映像が止まる、音声が止まる、ノイズが出る	<ul style="list-style-type: none"> ・地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか? (▶P.25) ・テレビアンテナ付近を手でおおっていませんか? (▶P.18) ・視聴している場所が選択しているチャンネルリストと合っていますか? (▶P.65)
カメラが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ・電池残量が少なくなっていますか? (▶P.21) ・カメラの利用についてご確認ください。(▶P.56)
microSDメモリーカードを認識しない/目的のデータが見つからない	<ul style="list-style-type: none"> ・microSDメモリーカードは正しく取り付けられていますか? (▶P.70) ・microSDメモリーカードのマウントが解除されていませんか? (▶P.71) ・本体メモリにデータを保存していませんか? microSDメモリーカード以外に本体メモリにもデータを保存できます。
キーの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・「画面のロック」が設定されていませんか? (▶P.83) ・電源を切り、電源を入れ直してみてください。 ・電源は入っていますか? (▶P.22)
充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・指定の充電用機器(別売)や卓上ホルダ(別売)の電源プラグがコンセントまたはシガーライタソケットに確実に差し込まれていますか? (▶P.21)
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・電池パックは充電されていますか? (▶P.21) ・[🔌]を長押ししていますか? (▶P.22)
操作できない/画面が動かない/電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> ・[🔌]を8秒以上長押しし、バイブレータが振動した後、手を離すと強制的に電源を切ることができます。しばらくしてから電源を入れ直してください。(▶P.22)
au ICカード(SIM)エラーや挿入されていない旨のメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・au ICカードが挿入されていますか? (▶P.20)
おサイフケータイ®が使えない	<ul style="list-style-type: none"> ・電池が切れていませんか? (▶P.21) ・おサイフケータイ®をロックしていませんか? (▶P.79) ・本製品の🔒マークがある位置をリーダー/ライターにかざしていますか? (▶P.79)
電源が勝手に切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・電池が切れていませんか? (▶P.21)
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・電池が切れていませんか? (▶P.21)

こんなときは	ご確認ください
■(圏外)が表示される	<ul style="list-style-type: none"> 電波は十分に届いていますか？(▶P.25) サービスエリア外にいませんか？(▶P.25) 内蔵アンテナ付近を手でおおっていませんか？(▶P.18) au ICカードが挿入されていますか？(▶P.20)
ディスプレイ、充電／着信ランプは点灯、点滅するが着信音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> 着信音量が最小に設定されていませんか？(▶P.82) マナーモードに設定されていませんか？(▶P.82)
「充電してください」などと表示された	<ul style="list-style-type: none"> 電池残量がほとんどありません。(▶P.21)
電話が勝手に応答する	<ul style="list-style-type: none"> 伝言メモが設定されていませんか？(▶P.39) マナーモードが設定されていませんか？(▶P.82) オートアンサーが設定されていませんか？(▶P.39)
電話をかけたときに受話口から「ブーツ、ブーツ、ブーツ…」と音がしてつながらない	<ul style="list-style-type: none"> 電波は十分に届いていますか？(▶P.25) サービスエリア外にいませんか？(▶P.25) 回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中かどうかおかけ直してください。
メインディスプレイの照明がすぐに消える	<ul style="list-style-type: none"> 「バックライト点灯時間」が短く設定されていませんか？(▶P.82)
電話帳の個別の設定が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 相手の方から電話番号の通知はありますか？通知がない場合は、電話帳の設定は有効になりません。 同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？(▶P.40) 「連絡先シークレット設定」が設定されていませんか？(▶P.83)
パソコンから本体メモリのデータを認識できない	<ul style="list-style-type: none"> 本体メモリを使用する場合はMTPモードで接続してください。(▶P.72)

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。
<https://www.au.com/trouble-check/>

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収リサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- 本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リバーエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- 電池パックなどの付属品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社はこのSHF34本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

- 修理受付時は、製造番号(IMEI番号)の情報をお知らせください。製造番号(IMEI番号)は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
 - 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
 - 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。(または、修理ができない場合があります)
 - 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
 - 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
 - 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
 - 地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
 - 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
 - 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
 - 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
 - 出張による修理対応はお受けできません。
 - 本規定は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- ※ 本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 故障紛失サポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています(月額380円、税抜)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、故障紛失サポートセンターへお問い合わせください。

- ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- au電話を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲渡者に引き継がれます。
- 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
- サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPI Pitまでお問い合わせください。

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容		故障紛失サポート		
		会員	非会員	
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目 2年目以降	無料 無料	補償なし
	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失		下記「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)ご負担金の表を参照	
預かり修理	自然故障	1年目 2年目以降	無料 無料 (3年間保証)	実費負担
	部分破損		お客様負担額 上限5,000円	
	水濡れ、全損		お客様負担額 10,000円	
	盗難、紛失		補償なし (機種変更対応)	

※ 金額はすべて税抜

■ 「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)ご負担金

適用条件	1回目	2回目
通常	5,000円/ 長期ご利用特典*1 3,000円	8,000円/ 長期ご利用特典*1 6,000円
「WEB割引」*2/「代用機なし割引」*3の両方を適用	4,000円/ 長期ご利用特典*1 2,000円	7,000円/ 長期ご利用特典*1 5,000円
「代用機なし割引」*3のみを適用	4,500円/ 長期ご利用特典*1 2,500円	7,500円/ 長期ご利用特典*1 5,500円

※ 金額はすべて税抜

*1 3年目(25カ月)以上ご利用中のお客様、またはそのお客様が属する家族割内すべての回線が対象です。データ通信端末、タブレットをご利用中のお客様は、セット割(WINシングルセット割、またはスマホセット割)に加入しており、セット割の対象回線のご契約が3年目以上の場合が対象です。

*2 WEB割引: auホームページから「交換用携帯電話機お届けサービス」を申し込む場合、サービス利用ご負担金から500円を割引します。「WEB 割引」の場合は代用機の貸出はできませんので、自動的に「代用機なし割引」があわせて適用されます。

*3 代用機なし割引: 「交換用携帯電話機お届けサービス」のご利用に際し、代用機を利用しない場合は、サービス利用ご負担金から500円を割引します。詳細はauホームページでご確認ください。

オンライン交換受付(24時間受付)

※ パソコン、スマートフォンからのみ受付可能

https://www.au.com/support/service/mobile/trouble/repair/application/

交換用携帯電話機お届けサービス

◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種・同一色*)をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

* 同一機種・同一色の提供が困難な場合、別途当社が指定する機種・色の交換用携帯電話機をご提供します。

◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

* 詳細はauホームページでご確認ください。

◎ 盗難、紛失など、本サービスのご利用と同時にau ICカードの再発行を伴う場合は、別途au ICカード再発行手数料1,900円が必要です。

預かり修理

◎ お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装のはがれなどによるケース交換は割引の対象となりません。

SIMロック解除について

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

・SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。

・他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

・SIMロック解除後の設定は、待受画面で◎→[設定]→[その他]→[端末情報]→[端末の状態]→[SIMカードの状態]から行ってください。

・詳しくは、auホームページをご参照ください。

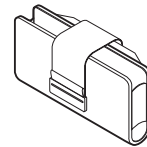
https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/

周辺機器のご紹介

■ 電池パック(SHF34UAA)

■ 背面カバー(ロイヤルグリーン)(SHF34TGA)
背面カバー(シャンパンゴールド)(SHF34TNA)
背面カバー(ルージュレッド)(SHF34TRA)

■ auキャリングケースブラック(0105FCA)(別売)
auキャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)
auキャリングケースHブラック(0107FCA)(別売)



auキャリングケースブラック

■ 共通ACアダプタ03(0301PQA)(別売)

共通ACアダプタ05(0501PWA)(別売)

共通ACアダプタ03 ネイビー(0301PBA)(別売)

共通ACアダプタ03 グリーン(0301PGA)(別売)

共通ACアダプタ03 ピンク(0301PPA)(別売)

共通ACアダプタ03 ブルー(0301PLA)(別売)

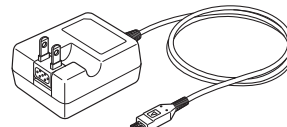
AC Adapter JUPITRIS(ホワイト)(L02P001W)(別売)

AC Adapter JUPITRIS(レッド)(L02P001R)(別売)

AC Adapter JUPITRIS(ブルー)(L02P001L)(別売)

AC Adapter JUPITRIS(ピンク)(L02P001P)(別売)

AC Adapter JUPITRIS(シャンパンゴールド)(L02P001N)(別売)



共通ACアダプタ05

・お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

■ ポータブル充電器02(0301PFA)(別売)

■ 卓上ホルダ(SHF34PUA)(別売)

■ microUSBケーブル01(0301HVA)(別売)

microUSBケーブル01 ネイビー(0301HBA)(別売)

microUSBケーブル01 グリーン(0301HGA)(別売)

microUSBケーブル01 ピンク(0301HPA)(別売)

microUSBケーブル01 ブルー(0301HLA)(別売)

■ シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01(SHX11QVA)(別売)

■ テレビde写真受信機(0603RKA)(別売)

◎ ポータブル充電器02(別売)では、本製品を十分に充電できない可能性があります。

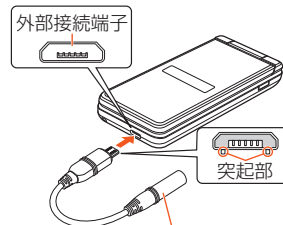
◎ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。

http://onlineshop.au.com/

スイッチ付イヤホンマイク/イヤホンマイク/イヤホンを使用する

本製品に「シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01(別売)」を接続してイヤホン(市販品)を使用できます。

1 本製品の外部接続端子にシャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01(別売)のmicroUSBプラグを、向きを確認して矢印の方向に差し込む



シャープ microUSB-3.5φ
変換ケーブル01(別売)

2 シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01(別売)のイヤホン端子にスイッチ付イヤホンマイク(市販品)/イヤホンマイク(市販品)/イヤホン(市販品)を差し込む

■ スイッチ付イヤホンマイク(市販品)で電話を受ける

1 着信中にスイッチ付イヤホンマイク(市販品)のスイッチを押す

通話を終了するには、スイッチ付イヤホンマイク(市販品)のスイッチを再度押します。

◎ スイッチ付イヤホンマイク(市販品)やイヤホンマイク(市販品)の種類によっては使用できない場合があります。

利用できるデータの種類

本製品で利用できる画像・動画・音の種類は次の通りです。

データの種類	拡張子
画像	.jpg、.jpeg、.gif、.png、.bmp、.wbmp、.webp
動画	.3gpp、.3gp、.3g2、.3gpp2、.mp4、.m4v、.webm、.mkv
音	.amr、.awb、.3gp、.3g2、.m4a、.mp4、.mp3、.aac、.mid、.midi、.xmf、.mxmf、.rtttl、.rtx、.ota、.ogg、.oga、.imy、.wav、.smf

主な仕様

メインディスプレイ	約3.4インチ、約1,677万色、TFT、960×540(QHD)
サブディスプレイ	約0.9インチ、1色、有機ELディスプレイ
質量	約132g(電池パック含む)
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約51mm×113mm×16.9mm
メモリ(内蔵)	ROM:約8GB RAM:約1GB
連続通話時間(国内)	約810分
連続通話時間(海外(GSM))	約560分
連続待受時間(国内)	約620時間
連続待受時間(海外(GSM))	約670時間
連続テザリング時間	約520分
Wi-Fi®テザリング最大接続数	10台
充電時間	共通ACアダプタ05(別売)使用時:約130分 卓上ホルダ(SHF34PUA)(別売)使用時:約140分
連続ワンセグ視聴時間※1	約7時間30分
撮影素子	CMOSイメージセンサー
撮影素子の有効画素数	約800万画素
Bluetooth®機能	通信方式:Bluetooth®標準規格Ver.4.1 出力:Bluetooth®標準規格Power Class1 通信距離※2:見通しの良い状態で10m以内 対応Bluetooth®プロファイル※3: HSP、HFP、A2DP、AVRCP、OPP、SPP、PBAP※4、 HID、PAN-NAP、PAN U、apt-X、SCMS-T、 HOGP※5、DUN※6、Bluetooth LE GATT 使用周波数帯:2.4GHz帯
ネットワーク環境	無線LAN(Wi-Fi®)機能:IEEE802.11b/g/n(2.4GHz)準拠
インターフェース	microUSB端子

※1 使用条件により連続ワンセグ視聴時間は変わります。

※2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※3 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のごとく、Bluetooth®標準規格で定められています。

※4 電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。

※5 Bluetooth®標準規格Ver.4.0に対応したプロファイルとなります。

※6 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【SHF34】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.864W/kg※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.499W/kg※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ:

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

○ 一般社団法人電波産業会のホームページ:

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

○ シャープのホームページ:

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

○ auのホームページ:

<https://www.au.com>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

Regulatory information

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SHF34 is in compliance with Directive 2014/53/EU.
The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address: (<http://www.sharp.co.jp/k-tai/>)

Manufacturer's Address:
SHARP CORPORATION,
1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522, Japan

• Description of accessories

Battery Pack	3.85V 1800mAh
Headset, Handsfree	Bluetooth
Micro USB cable	For charging, peripherals, etc.
microSD Card	microSD / microSDHC
nano UIM card	au Nano IC Card 04 LE/non- au Nano IC Cards non- au Nano IC Cards can be used after SIM- unlocking the handset.

• Frequency range of supported bands in EU

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8MHz Rx 925.2 to 959.8MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8MHz Rx 1805.2 to 1879.8MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6MHz Rx 2112.4 to 2167.6MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480MHz Rx 2402 to 2480MHz
WLAN 2.4GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW: 20MHz only)
NFC	Tx/Rx 13.56MHz
GNSS	GPS: Rx L1 (1575.42 MHz) GLONASS:Rx G1 (1598.0625 to 1605.375MHz)

• Maximum transmit power

GSM 900	+33dBm(Power Class4)
DCS 1800	+30dBm(Power Class1)
WCDMA FDD I	+24dBm(Power Class3)
Bluetooth	+7.7dBm(Power Class1)
WLAN 2.4GHz	+15.5dBm
NFC	0dBμA/m at 10m

■ AC Adapter

Any AC adapter used with this handset must be suitably approved with a 5Vdc SELV output which meets limited power source requirements as specified in EN/IEC 60950-1 clause 2.5.

■ Battery - CAUTION

Use specified Charger only.

Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

The battery is embedded inside the product. Avoid removing the embedded battery since this may cause overheating or bursting.

Do not dispose of the product with ordinary refuse. Take the product to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

■ Volume Level Caution



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

■ Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 113 mV.

■ Stand-by Mark

⏻: This symbol means the stand-by on/off.

■ European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.644 W/kg[※] and when worn on the body is 1.240 W/kg[※].

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※: The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

Highest SAR value:

Model	SHF34
FCC ID	APYHRO00255
At the Ear	0.58 W/kg
On the Body	0.84 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at <http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/> under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <http://www.fcc.gov/encyclopedia/radio-frequency-safety>.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

1. おサイフケータイ®対応サービスについて

1. おサイフケータイ®対応サービスとは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用い、おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップを利用したサービスです。NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー/ライター(R/W)機能、機器間通信(P2P)機能がご利用いただけます。
2. おサイフケータイ®対応サービスは、おサイフケータイ®対応サービス提供者(以下、SPといいます)が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ®対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等については、各SPIにご確認、お問い合わせください。
3. おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

2. FeliCaチップ内のデータの取り扱い等について

1. お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ®のFeliCaチップへのデータの書き込み及び書き換え、並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. FeliCaチップ内のデータ(電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、FeliCaチップ内データといいます)の使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
3. おサイフケータイ®の故障等により、FeliCaチップ内データの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行いません。お客さまは、当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ®をauショップもしくはPiPiItにお渡しいただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内のデータのバックアップ、移し替え等の措置(以下、SPバックアップ等といいます)については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPIに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内データのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに關して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
6. 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内データの再発行や復元、一時的な預かり、他のFeliCaチップへの移し替え等を行うことはできません。
7. その他NFC機能に対応したSPのサービス利用において生じた損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

3. FeliCaチップの固有の番号等の通知について

1. おサイフケータイ®対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップを特定するために、当該FeliCaチップ固有の番号が、おサイフケータイ®対応サービスを提供する当該SPIに送信される場合があります。
2. 当社は、SPがおサイフケータイ®対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ固有の番号と、FeliCaチップ内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップの廃棄処理情報について、当該SPIに通知する場合があります。
3. auショップもしくはPiPiItは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客さまの電話番号等をSPIに通知し、お客さまのFeliCaチップ内データについて当該SPIに問い合わせる場合があります。

4. 不正利用について

1. お客さまのおサイフケータイ®の紛失・盗難等により、FeliCaチップ内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一のおサイフケータイ®の紛失・盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書やauホームページ等をご確認ください。ただし、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
3. おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPIによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPIにお問い合わせください。

5. その他

1. おサイフケータイ[®]対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ及び他のau電話におサイフケータイ[®]をかざしておサイフケータイ[®]対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. おサイフケータイ[®]対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ[®]の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ[®]対応サービスのご利用及びお客さまご自身のFeliCaチップ内データの削除ができなくなることがあります。なお、当該おサイフケータイ[®]対応サービスのFeliCaチップ内のデータを削除する場合は、あらかじめauショップもしくはPiPitにより当該おサイフケータイ[®]に搭載されたFeliCaチップ内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
3. 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ[®]対応サービス及びNFC機能がご利用いただけません場合があります。
4. 機内モード設定中は、おサイフケータイ[®]対応サービス及びNFC機能がご利用いただけません場合があります。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
• microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- Bluetooth[®]ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、シャープ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。



- Wi-Fi[®]、Wi-Fi CERTIFIED[®]ロゴ、Wi-Fi Protected Setup[®]ロゴ、Wi-Fi Direct[®]、Miracast[®]はWi-Fi Alliance[®]の登録商標です。



- Wi-Fi CERTIFIED[™]、Wi-Fi Protected Setup[™]はWi-Fi Alliance[®]の商標です。
- Microsoft[®] Windows[®] の正式名称は、Microsoft[®] Windows[®] Operating System です。
- Microsoft[®]、Windows[®]、Microsoft[®] Excel[®]、Microsoft[®] PowerPoint[®]、Windows Media[®]、Exchange[®]は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft[®] Word、Microsoft[®] Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- ㊄は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- Google[™]、Google ロゴ、Android[™]、Android ロゴ、Google[™] 検索およびGoogle 検索 ロゴは、Google Inc.の商標です。
- [LINE]は、LINE株式会社の商標または登録商標です。
- 内蔵音声認識エンジンは、株式会社アドバンスト・メディアの**AmiVoice[®]**を使用しています。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。



- 「AQUOS/アクオス」「AQUOS」ロゴ「AQUOS K」「SHSHOW」ロゴ「タッチクルーザーEX」「ベールビュー/VeilView」「エスショイン/S-Shoin」「長エネスイッチ」「LCフォント/LCFONT」およびLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標または商標です。



- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2017 All Rights Reserved.
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2017 All Rights Reserved.
- Portions Copyright ©2004 Intel Corporation
- 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。
- TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。



- 「Suica」「モバイルSuica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。



- 「楽天Edy」は、楽天Edy株式会社の商標または登録商標です。
- ハローページはNTTの登録商標です。
- どこから電話はソースネクストの商標です。

■ モバイルSuica利用許諾契約

ご利用の前に必ず利用契約をお読み下さい。(必須)

■ 利用契約

お客さまが東日本旅客鉄道株式会社<お問い合わせ先:050-2016-5005>(以下「当社」といいます)が、KDDI株式会社が発売する携帯情報端末向けに提供するモバイルSuicaアプリケーション(以下「本アプリケーション」といいます)を利用するにあたっては、本利用契約の内容を承諾していただきます。

- (1) 本アプリケーションは、当社が提供するモバイルSuicaを携帯情報端末上でご利用いただく際、メールアドレス等のプロフィール情報を取得し、インターネットを介して当社が管理するサーバへ送信する場合があります。
- (2) 本アプリケーションに関する編集著作権等を含む一切の権利は、当社に帰属します。
- (3) お客さまは、本アプリケーションを、本アプリケーションがプリインストールされた又はダウンロードを行った携帯情報端末上のみでお使いいただけます。お客さまは、本アプリケーションを当社に無断で転載、複製、修正、蓄積、または転送してはいけません。
- (4) お客さまは、プリインストールされた本アプリケーションを携帯情報端末から削除した場合、KDDI株式会社の提供するコンテンツサーバからダウンロードし直すことができます。尚、本アプリケーションのダウンロードには、別途通信料がかかります。
- (5) お客さまは、本アプリケーションに関する当社の権利を侵害したり、またはそのおそれがあるような行動を一切行ってはならないものとします。
- (6) 当社は、お客さまが本利用契約に違反した場合、お客さまに対する本アプリケーションの提供を停止し又は本利用契約を解除することができるものとします。当該停止又は解除の日以降お客さまは本アプリケーションを利用してはいけません。
- (7) 当社は本アプリケーション及び本利用契約を予告なく改訂、追加、変更又は廃止することができるものとします。
- (8) お客さまは、本利用契約に係るいかなる権利又は義務も第三者に移転又は譲渡することはできません。
- (9) お客さまが本アプリケーションに関して損害を被った場合でも、当社は一切賠償の責任を負いません。
- (10) 本アプリケーションの内容、利用等に関しては、KDDI(株)及び沖縄セルラー電話(株)は一切の責任を負いません。
- (11) 本アプリケーション又は本利用契約に関してお客さまとの間で疑義又は争いが生じた場合には、誠意をもって協議することとしますが、それでもなお解決しない場合には「東京地方裁判所」又は「東京簡易裁判所」を専属の管轄裁判所とします。

—以上—

■ オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、待受画面で●→[設定]→[その他]→[端末情報]→[法的情報]→[オープンソースライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License(MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

■ License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2009 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows 10は、Microsoft® Windows® 10(Home, Pro, Enterprise, Education)の略です。
- Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1, Microsoft® Windows® 8.1 Pro, Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
- Windows 8は、Microsoft® Windows® 8, Microsoft® Windows® 8 Pro, Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter, Home Basic, Home Premium, Professional, Enterprise, Ultimate)の略です。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用するには、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り)を復号するライセンスが許諾されており、その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA. See <http://www.mpegla.com>.

This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC. See <http://www.mpegla.com> for additional details.

索引

数字 / アルファベット

1件あたりの録音時間	88
1件削除	
コンテンツ表示画面のサブメニュー	59
電話帳一覧画面 / グループ一覧画面のサブメニュー	40
発信履歴 / 着信履歴画面のサブメニュー	37
ユーザー辞書単語一覧画面のサブメニュー	33
2タッチ入力	32
24時間表示	84
au ICカードスロット	18
au ID 設定	82
au Wi-Fi接続ツール	68
au国際電話サービス	
国際電話をかける	38
差出人 / 宛先 / 件名 / 電話番号 / Eメールアドレス / URL	44
auシェアリンク	68
auスマートパス	62
au世界サービス	92
auナビウォーク	60
auネットワークサービス	86
Bluetooth	77
Bluetooth OFF	36
Bluetooth ON	36
Bluetooth®機能	
Bluetooth®機能	77
ご使用のお願い	15
Bluetooth送信	78
Eメールアドレスの変更	47
Eメール作成	44
Eメール情報	46
Eメール設定	
Eメール一覧画面のメニュー	45
Eメール設定	46
フォルダ一覧画面のメニュー	45
FCC Notice	101
FeliCa	78
GPS / Wi-Fi® / Bluetooth®アンテナ	18
HDR	57
HTMLメール規制	48
ISO感度	58
LED	
個別通知設定	47
通知設定	47
フォルダ着信通知	46
LINE	68
LISMO	68
mamorino Watchナビ	68
microSD	59
microSDカードスロット	18
microSD内データを消去	71
microSDのマウント解除	71
microSDへ移動	59
microSDへコピー	59
microSDメモリカード	
microSDメモリカードについて	70
保存領域について	70
microSDをマウント	71
MTPモード	72
My au	60
PINコード	16
PTPモード	72
P付加	36
SIMカードロック設定	83
SIMロック解除	98
SMS作成	
差出人 / 宛先 / 件名 / 電話番号 / Eメールアドレス / URL	44
ダイヤル画面のサブメニュー	36
発信メニュー	36
発信履歴 / 着信履歴画面のサブメニュー	37
TVリンク	64
URL入力・Web検索	52
URLリンク規制	48
URLをコピー	44
USBストレージをONにする	72
USB接続	
USB接続モード設定	72
ストレージ設定	71
Wi-Fi	
接続する	74
切断する	74
設定する	74
Wi-Fi Direct	
Wi-Fi Direct®設定	75

Wi-Fi®機能	
Wi-Fi®機能について	74
ご使用のお願い	15
Wi-Fiテザリングを設定	75
WPS PIN入力	75
WPSプッシュボタン	75

あ

アイコン	
サブディスプレイ	26
メインディスプレイ	25
相手先から本製品までの通話料	86
アカウント	
その他の設定メニュー	84
空き容量確認	39
アクセスポイント登録	75
アドレスコピー	44
アドレス帳引用	43
アドレス帳グループ引用	43
アドレス帳登録	44
アドレス帳登録外	
フォルダ振分条件	46
アドレス帳登録名表示	47
アドレス帳に登録	49
アドレス変更・その他の設定	46
アフターサービス	97
アプリ一覧	28
アプリケーション	84
アプリケーションについて	16
アプリ履歴画面	30
アラーム	66
アラーム音	66
暗証番号	16
一時解除の設定	83
位置情報	84
一括指定受信	48
移動	
Eメール一覧画面のメニュー	45
Eメール詳細表示画面のメニュー	45
移動・コピー	59
インターネット	52
インターネットアクセス	77
インフォメーション	25
引用・連携	33
ウイルスメール規制	48
英語ガイド	89
エニーキーアンサー	39
エフェクト	59
遠隔操作	88
遠隔操作サービス	
お留守番サービス	89
着信転送サービス	86
お預かりできる件数	88
お預かり(保存)する時間	88
応答時間設定	39
応答メッセージ設定	39
応答メッセージ録音 / 確認 / 変更	89
オートアンサー	39
オープン通話	39
オールリセット	84
お気に入り	25
おサイフケータイ	
マーク	18
お知らせ	26
オススメ一括設定をする	48
オススメの設定はこちら	48
音・バイブ	82
オプションサービス申込	39
オフタイマー設定	65
主な仕様	99
お留守番サービス総合案内	88
音楽	58
音声 / 字幕設定	64
音声操作設定	57
音声・伝言メモ	39
音声認識の使い方	37
音声発信	44
音声発信制限	83
音声発信制限設定	36
音声メモ	36
音量	82

か

カーソルキー	18
カードリーダーモード	72
回転	59

ガイド言語設定	39
外部接続端子	18
顔かくし	59
鏡	59
各種リセット	33
拡大鏡	24
拡大縮小	
Eメール詳細表示画面のメニュー	45
ブラウザ画面のサブメニュー	53
各部の名称と機能	18
画像	
画像編集	59
データフォルダのカテゴリ	58
画像編集	
コンテンツ表示画面のサブメニュー	58
データ表示画面のサブメニュー	59
画像保存	
Eメール詳細表示画面のメニュー	45
添付画像保存	44
画像保存モード	53
画像を登録	
コンテンツ表示画面のサブメニュー	58
データ表示画面のサブメニュー	59
壁紙・ディスプレイ	82
カメラキー	18
カメラ(静止画)	44
カメラ(動画)	44
カメラへ切替	57
カメラレンズ	18
画面回転	64
画面の明るさ	82
画面のロック	83
カレンダー	
カレンダーを表示する	66
予定を新規登録する	66
簡単設定	74
かんたん発信(音声認識)	
かんたん発信(音声認識)の設定	37
電話をかける	37
かんたん発信設定	37
管理者登録	61
管理者ページ	61
機内モード	83
基本通知設定	47
ギャラリー(静止画)	44
ギャラリー(動画)	44
休日設定	66
強制的に電源を切る	22
共通の操作	
キー操作	30
共通の操作	30
チェックボックス	30
今日へ移動	66
共有	45
拒否通知メール返信設定	48
拒否リスト登録	
Eメール一覧画面のメニュー	45
差出人/宛先/件名/電話番号/Eメールアドレス/URL	44
クイックオープンボタン	19
クイック起動キー	29
クイックサイレント	39
クイック返信	
着信中のサブメニュー	38
通話設定	39
空気抜き穴	18
クリアキー	18
繰り返し	66
グループ削除	40
グループ追加・編集	
グループ設定	40
電話帳一覧画面/グループ一覧画面のサブメニュー	40
グループ編集	40
クロス動作設定	65
月額使用料	
お留守番サービスEX	88
三者通話サービス	90
着信転送サービス	86
通話明細分計サービス	90
迷惑電話撃退サービス	90
割込通話サービス	90
圏外転送	
お留守番サービスEX	88
着信転送サービス	86
言語(Language)を選択	84
検索	66
検索設定	40
検索/フィルター	
Eメール一覧画面のメニュー	45

フォルダー一覧画面のメニュー	45
件名	46
高校生	61
公衆電話	39
更新通知設定	96
国際発信設定	39
故障とお考えになる前に	96
このリンク	53
コピー編集	
Eメール一覧画面のメニュー	45
Eメール詳細表示画面のメニュー	45
コピー他(範囲選択)	33
個別通知設定	47
コンテンツ一覧	59

さ

再起動	22
再スキャン	65
再送信	45
再振分け	45
再読み込み/停止	53
削除	
Eメール一覧画面のメニュー	45
Eメール詳細表示画面のメニュー	45
グループ設定	40
コンテンツ表示画面のサブメニュー	58
チャンネルリスト編集画面のサブメニュー	65
発信履歴/着信履歴画面のサブメニュー	37
作成	65
差出人名称	47
撮影サイズ	57
サブディスプレイ	
各部の名称と機能	18
壁紙・ディスプレイ設定	82
サブディスプレイの見かた	26
三者通話サービス	90
シークレット設定	83
時刻設定	84
辞書	33
指定番号	
着信拒否の設定	39
自動位置情報付加	57
自動再送信	47
自動転送先の設定へ	47
写真	
画像編集	59
データフォルダのカテゴリ	58
シャッターモード	58
充電	21
充電端子	18
充電/着信ランプ	18
周辺機器	98
受信済みファイルを表示	77
受信・表示設定	47
受信フィルター	50
受話口(レシーバー)/スピーカー	18
小学生	61
詳細情報	
コンテンツ表示画面のサブメニュー	58
データ表示画面のサブメニュー	59
詳細設定	
Wi-Fi®設定画面のサブメニュー	74
カメラの設定	57
迷惑メールフィルター設定	48
情報更新	71
署名	
送信・作成設定	47
書類	58
新規作成	43
新規タブ作成	53
新規登録	33
迷惑メールおまかせ規制	48
新着問合せ	45
シンプルメニュー	28
スクリーンショット	65
スクリーンセーバー	84
進む	53
ステータスバー	
待受画面の見かた	25
ステータスバー通知	47
ステータスパネル	26
ストップウォッチ	67
ストラップ取付部	18
ストレージ	
ストレージ設定	71
その他の設定メニュー	84
データ添付	44

スヌーズ設定	66
スピードダイヤル	37
スピードダイヤル登録	40
すべての登録を削除「1449」	90
スライド	24
スライドショー	58
静止画	
撮影する	56
静止画撮影画面の見かた	56
製品情報	65
セーフモード	22
世界時計	67
赤外線通信	76
赤外線ポート	18
セキュリティ	
Wi-Fi®テザリング設定	75
セキュリティ設定	83
セキュリティキー設定	83
接続	74
接続待ち時間	75
切断	74
設定	
Eメール設定	46
SMS設定	50
カレンダー画面のサブメニュー	66
コンテンツ表示画面のサブメニュー	58
設定メニュー表示	82
ダイヤル画面のサブメニュー	36
テレビ視聴画面のサブメニュー	64
テレビ設定	65
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー	37
ブラウザ画面のサブメニュー	53
ブラウザメニュー	52
設定確認／解除する	48
設定・管理	40
設定更新	46
設定にあたって	48
設定メニュー表示	82
セルフタイマー	58
セルフチェック	60
全員に返信	45
全件削除	
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー	37
ユーザー辞書単語一覧画面のサブメニュー	33
センターキー	18
選択削除	
コンテンツ表示画面のサブメニュー	59
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のサブメニュー	40
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー	37
選択受信	45
選択転送	
お留守番サービスEX	88
着信転送サービス	86
操作ガイド	64
送信	
Eメール一覧画面のメニュー	45
Eメール詳細表示画面のメニュー	45
コンテンツ表示画面のサブメニュー	58
データ表示画面のサブメニュー	59
電話帳一覧画面／グループ一覧画面のサブメニュー	40
送信・作成設定	47
送信時確認表示	47
送話口(マイク)	18
ソート	59
その他	
その他設定	84
データ添付	44
データフォルダのカテゴリ	58
ソフトウェア更新	
ソフトウェア更新	96
端末情報の設定	84
ソフトキーボード	84

た

耐衝撃性能	14
タイマー	67
タイムゾーンの自動設定	84
タイムゾーンの選択	84
ダイヤルキー	18
代理応答	38
ダウンロード	
ブラウザ画面のサブメニュー	53
ブラウザメニュー	52
タッチエリア	18
タッチクルーザーEX	
各部の名称と機能	18
タッチクルーザーEXを利用する	24

タップ	24
タブ一覧	53
ダブルタップ	24
端末情報	84
端末の状態	84
端末の名前を変更	77
着信お知らせサービス	86
着信音	
個別通知設定	47
通知設定	47
フォルダ着信通知	46
着信音・お知らせ音	82
着信拒否	39
着信拒否登録	37
着信転送	38
着信履歴	37
着信履歴保存	39
チャンネル一覧	64
チャンネル設定	64
チャンネルリスト名変更	65
中学生	61
ちらつき防止	58
追加	40
通知1件消去	26
通知アイコン	25
通知設定	
Eメール設定	46
通知全件消去	26
通知不可能	39
通知ポップアップ	
個別通知設定	47
通知設定	47
フォルダ着信通知	46
通話時間	39
通話中表示設定	39
通話明細分計サービス	90
通話料	
三者通話サービス	90
割込通話サービス	90
通話を追加	36
使い方が이드	83
使ってみよう ～タッチクルーザーEXのススメ～	52
提供元不明のアプリ	83
定型文入力	33
ディスプレイ	
サブディスプレイ	18
メインディスプレイ	18
データ移行	62
データお預かり	62
データ通信設定	83
データ通信料についてのご注意	16
データフォルダ	58
データ放送再読み込み	64
データ放送設定	65
データリセット	67
データローミング	92
テキストコピー	53
テザリング機能	75
手ぶれ軽減	58
テレビ	
テレビ画面の見かた	64
見る	64
テレビアンテナ	18
テレビ終了	64
電源／終話キー	18
電源を入れる	22
電源を切る	22
伝言お知らせ	89
伝言・ボイスメールの録音	88
伝言メモ	
再生する	39
着信中のサブメニュー	38
伝言メモリスト画面の見かた	39
伝言メモ設定	39
転送	
Eメール一覧画面のメニュー	45
Eメール詳細表示画面のメニュー	45
転送・お留守番サービス	
お留守番サービスEX	88
着信転送サービス	86
通話設定	39
電卓	68
電池パック	
同梱品一覧	1
取り付け／取り外しかた	19
電波障害自主規制	16
添付自動受信サイズ	47

電話	
電話をかける	36
発信履歴／着信履歴一覧画面の見かた	37
電話帳	
電話帳一覧画面の見かた	40
電話帳詳細画面の見かた	40
登録する	40
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー	37
電話帳キー	18
電話帳登録外	39
電話帳に登録	
ダイヤル画面のサブメニュー	36
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー	37
電話の音声	77
電話番号コピー	44
動画	
撮影する	57
データフォルダのカテゴリ	58
動画撮影画面の見かた	57
同梱品一覧	1
当日予定リスト	66
登録	59
特番付加	
ダイヤル画面のサブメニュー	36
発信メニュー	36
発信履歴／着信履歴画面のサブメニュー	37
特番付加 184	44
特番付加 186	44
特番へのダイヤル操作	88
ドメイン	46
取り扱い上のお願い	12
トリミング	59

な

内蔵アンテナ	18
名前を変更	77
並べ替え	40
なりすまし規制	48
日時の自動設定	84
日本語ガイダンス	89
入力設定	33
入力デバイス	77
入力補助・変換	33
認識対象の登録(スピードダイヤル)	37
ネットワーク設定	83
ネットワークを追加	74
ノーマルメニュー	27
のぞき見防止	82

は

バーコードリーダー	58
バイブレーション	
個別通知設定	47
通知設定	47
フォルダ着信通知	46
バイブレータ設定	66
背面カバー	18
パスワード	75
バックアップ・復元	46
バックライト点灯時間	82
発信	36
発信キー	18
発信者番号通知	87
発信番号表示サービス	87
発信履歴	37
貼り付け	
Eメール送信	43
文字入力のサブメニュー	33
貼り付け(履歴)	33
番組表	64
番号通知リクエストサービス	87
番号登録「1442」	90
番号付加設定	39
微速度撮影間隔	58
非通知	39
日付スタンプ	59
日付設定	84
日付と時刻	84
ビデオへ切替	57
表記方法	1
表示切替	59
表示方法切替	40
標準サービス	86
開く	44
ピンチ	24
フォーカス設定	58

フォルダ一覧	59
フォルダ削除	
フォルダ一覧画面のメニュー	45
ユーザーフォルダのサブメニュー	59
フォルダ作成	
Eメール	46
ユーザーフォルダのサブメニュー	59
フォルダ別設定	46
フォルダ編集	
Eメール一覧画面のメニュー	45
フォルダ一覧画面のメニュー	45
フォルダ名編集	59
フォルダロック	46
複数削除時暗証番号	40
不在通知	89
不正なメールアドレス	46
ブックマーク	52
ブックマーク一覧	53
ブックマークへ登録	53
プライバシー設定	46
ブラウザ	52
ブラウザ/アプリキー	18
フラグ	
Eメール一覧画面のメニュー	45
Eメール詳細表示画面のメニュー	45
フリック	24
振分け条件追加	46
振分け条件に追加	44
フル転送	
お留守番サービスEX	88
着信転送サービス	86
プロフィール	38
プロフィールアイコンを表示	47
プロフィール引用	43
ペア機能	37
ページ検索	53
ページ情報	53
ヘルプ	
カメラの設定	57
フォルダ一覧画面のメニュー	45
ブラウザ画面のサブメニュー	53
歩数計画面のサブメニュー	67
編集	
Eメール一覧画面のメニュー	45
Eメール詳細表示画面のメニュー	45
電話帳一覧画面/グループ一覧画面のサブメニュー	40
プロフィール編集	38
ユーザー辞書単語一覧画面のサブメニュー	33
編集キャンセル	33
編集して発信	37
返信	45
返信先アドレス	47
返信メール引用	47
ボイスメール	88
ボイスレコーダー	68
防塵性能	14
防水性能	14
法的情報	84
冒頭文	47
ホーム	53
ホームページ	52
保護/解除	45
保護/保護解除	
Eメール詳細表示画面のメニュー	45
SMS作成画面のサブメニュー	49
保証期間外	97
保証期間中	97
歩数計	67
歩数計設定	67
補正効果	59
保存先設定	58
ホワイトバランス	58
本製品から転送先までの通話料	86
本体	59
本体+microSD	59
本体へ移動	59
本体へコピー	59
本体メモリ	70
本文コピー	45
本文受信	45

ま

マイク	
各部の名称と機能	18
カメラ設定	58
待受画面	25
待受画面・壁紙	82

マナーキー	18
マナーモード設定	82
未登録番号追加	39
無応答転送	
お留守番サービスEX	88
着信転送サービス	86
無線LAN機能	
ご使用のお願い	15
無線LAN機能	74
名称	66
迷惑電話撃退サービス	90
迷惑メールおまかせ規制	48
迷惑メールフィルターの設定／確認へ	48
迷惑メール報告	
Eメール一覧画面のメニュー	45
Eメール詳細表示画面のメニュー	45
差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URL	44
メインディスプレイ	18
メールアドレス	46
メールキー	18
メール作成	37
メール受信時の画面点灯	
個別通知設定	47
通知設定	47
フォルダ着信通知	46
メール受信履歴引用	43
メール送信履歴引用	43
メールデータ復元	48
メディアの音声	77
メモ帳	65
メモリ使用状況	59
メモリ登録件数	40
メンバー登録	40
モード切替	57
目標設定	67
文字コード	45
文字サイズ変更	53
文字種変更	33
文字入力	31

や

ユーザー辞書	33
ユーザー辞書登録(英)	33
ユーザー辞書登録(日)	33
ユーザーフォルダ	
画像編集	59
データフォルダのカテゴリ	58
データを表示／再生	58
ユーザー補助	84
有料オプションサービス	86
予定を作成	66

ら

リサイズ	59
リモートサポート	61
利用できるデータの種類	99
履歴	
ブラウザ画面のサブメニュー	53
ブラウザメニュー	52
履歴参照	
ダイヤル画面のサブメニュー	36
通話中画面のサブメニュー	36
累積データ	67
レシーバー	18
連絡先シークレット設定	83
ロングタッチ	24

わ

話中転送	
お留守番サービスEX	88
着信転送サービス	86
割込通話開始	90
割込通話サービス	90
割込通話設定	39
割込通話停止	90
ワンセグ	64

お客様各位

■ お詫びと訂正 ■

このたびは、AQUOS K SHF34をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
「取扱説明書」の記載内容に誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに以下訂正させていただきます。

【訂正箇所】

■第1.1版での改訂

100ページ「Frequency range of supported bands in EU」表内

誤	LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5MHz Rx 2112.5 to 2167.5MHz
正	削除	

100ページ「Maximum transmit power」表内

誤	LTE Band 1	+23dBm(Power Class3)
正	削除	

■第1.2版での改訂

36ページ「電話番号を入力して電話をかける」のmemo欄

誤	◎「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぶりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
正	削除

auのお客さまサポート

料金・操作・設定などのご確認や各種お手続きができます。
スマートフォンをご利用ならアプリが便利です。

My au	パソコン・スマートフォン	3G ケータイ
WEB 版	https://www.au.com/support/	EZ ボタン>トップメニューまたは auポータルトップ>My au
アプリ版	au Market もしくは App Store から 「My au」で検索	—

お客さまセンター（年中無休 / 通話料無料）	au携帯電話(スマホ/ケータイ)	au携帯電話以外/一般電話	左記番号がつかない場合
総合案内（受付 9:00~20:00）	局番なし 157	 0077-7-111	 0120-977-033 [沖縄の方は]  0120-977-699
盗難・紛失（24時間受付）	局番なし 113	 0077-7-113	 0120-925-314

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone.
※ ご契約内容の変更や照会の場合には、ご利用の「au 携帯電話番号」と「暗証番号」が必要です。
※ 音声応答メニューのご利用料金照会、回線停止、再開手続きは 24 時間ご利用いただけます（メンテナンス時を除く）。


故障紛失サポートセンター（年中無休 / 通話料無料）	au携帯電話(スマートフォン/ケータイ) / 一般電話
盗難・紛失・故障（受付 9:00~20:00）	 0120-925-919

※ 上記の電話番号がつかない場合があります。



濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、
ブランド・メーカーを問わず  マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

【LINEに関するお知らせ】

2020年3月31日以降、LINEアプリを起動していない間に受け取ったメッセージの通知、および無料通話の着信通知を受け取ることができません。アプリを起動すると、メッセージ受信や着信履歴を確認できます。

©本お知らせの記載内容は、2020年3月1日現在のものです。予告なく変更することがあります。